

平成15年度版

環境の概要

公害編

厚木市環境部

目 次

1. 公害行政の概要	
(1) 公害の行政機構	1
①組織の推移	1
②主要測定機器等整備状況	2
③環境関係法令の体系	3
(2) 公害関係法令に基づく届出等の状況	4
①神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく届出等の状況	4
②騒音規制法に基づく届出状況	6
③振動規制法に基づく届出状況	7
④水質汚濁防止法に基づく届出状況	8
(3) 環境影響評価制度	9
①制度の概要	9
②環境影響評価条例に基づく事務の状況	10
(4) 合併処理浄化槽整備事業	12
(5) 広報・啓発	13
①かながわ環境月間	13
②厚木市冬期自動車交通量対策	13
(6) 公害苦情の状況	14
①平成14年度の概況	14
②公害苦情の発生状況	15
③平成14年度公害苦情の被害・処理状況	18
2. 大気汚染	
(1) 概況	19
(2) 県による大気汚染監視測定結果	20
①硫黄酸化物	22
②一酸化炭素	23
③浮遊粒子状物質	24
④二酸化窒素	25
⑤光化学オキシダント	26
⑥市内測定点の項目別経年変化表（1時間値の年平均値）	27
(3) 市の自動測定機による光化学オキシダント濃度調査結果	28
①玉川中学校におけるオキシダント濃度調査結果	28
②北小学校におけるオキシダント濃度調査結果	30
③上荻野小学校におけるオキシダント濃度調査結果	32
・オキシダント経年変化	34
・自動測定機によるオキシダント濃度測定結果	35
(4) 市の自動測定機による窒素酸化物濃度調査結果	36
①不燃物処理場跡地における窒素酸化物濃度調査結果	36
②緑ヶ丘小学校における窒素酸化物濃度調査結果	39
・窒素酸化物経年変化	41
・自動測定機による窒素酸化物濃度測定結果	42
(5) 光化学スモッグ	43

①光化学スモッグ注意報発令状況	43
②平成14年度光化学スモッグ注意報発令状況（県央地域）	44
③光化学スモッグ対策	45
(6) ダイオキシン類環境調査	47
(7) 有害大気汚染モニタリング調査結果	48
(8) 廃棄物焼却施設排煙調査結果	50
3. 水質汚濁	
(1) 概況	51
①水質規制の概要	51
②水質汚濁に関する環境基準	52
(2) 河川常時監視	54
(3) 河川水質調査	64
(4) 恩曾川及び小鮎川の連続水質調査結果	85
①恩曾川連続水質調査	85
②小鮎川連続水質調査	88
(5) 工場排水調査結果	91
(6) 地下水水質調査結果	98
①内陸工業団地周辺地下水水質調査	98
②内陸工業団地周辺地下水水質調査（2回目）	100
③油流出事故に伴う周辺地下水水質調査	102
④旭町地区地下水水質調査	104
(7) ダイオキシン類環境調査	106
4. 騒音・振動	
(1) 概況	111
(2) 騒音・振動に係る規制基準値	112
①騒音規制法・振動規制法に基づく規制基準値	112
②県生活環境の保全等に関する条例に基づく規制値	116
③騒音に係る環境基準	118
(3) 環境騒音調査結果	120
(4) 国道129号道路交通騒音調査結果	123
5. 地盤沈下の状況	
(1) 概況	142
(2) 地盤沈下の構造	144
(3) 地下水採取規制地域の地質	145
(4) 地盤変動量調査	145
6. 悪臭	
(1) 概要	150
(2) 規制基準	150
①悪臭防止法による規制基準	150
②神奈川県生活環境の保全等に関する条例による規制基準	152
(3) 指導基準	153
(4) 悪臭物質と主要発生源	154
7. 土壌汚染	
(1) 概要	155

①土壌汚染の概要.....	155
②土壌環境基準	155
③土壌汚染対策法に基づく届出状況.....	155
(2) 神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく土壌環境の保全.....	157
(3) ダイオキシン類環境調査.....	157
公害関係用語説明（あいうえお順）.....	158

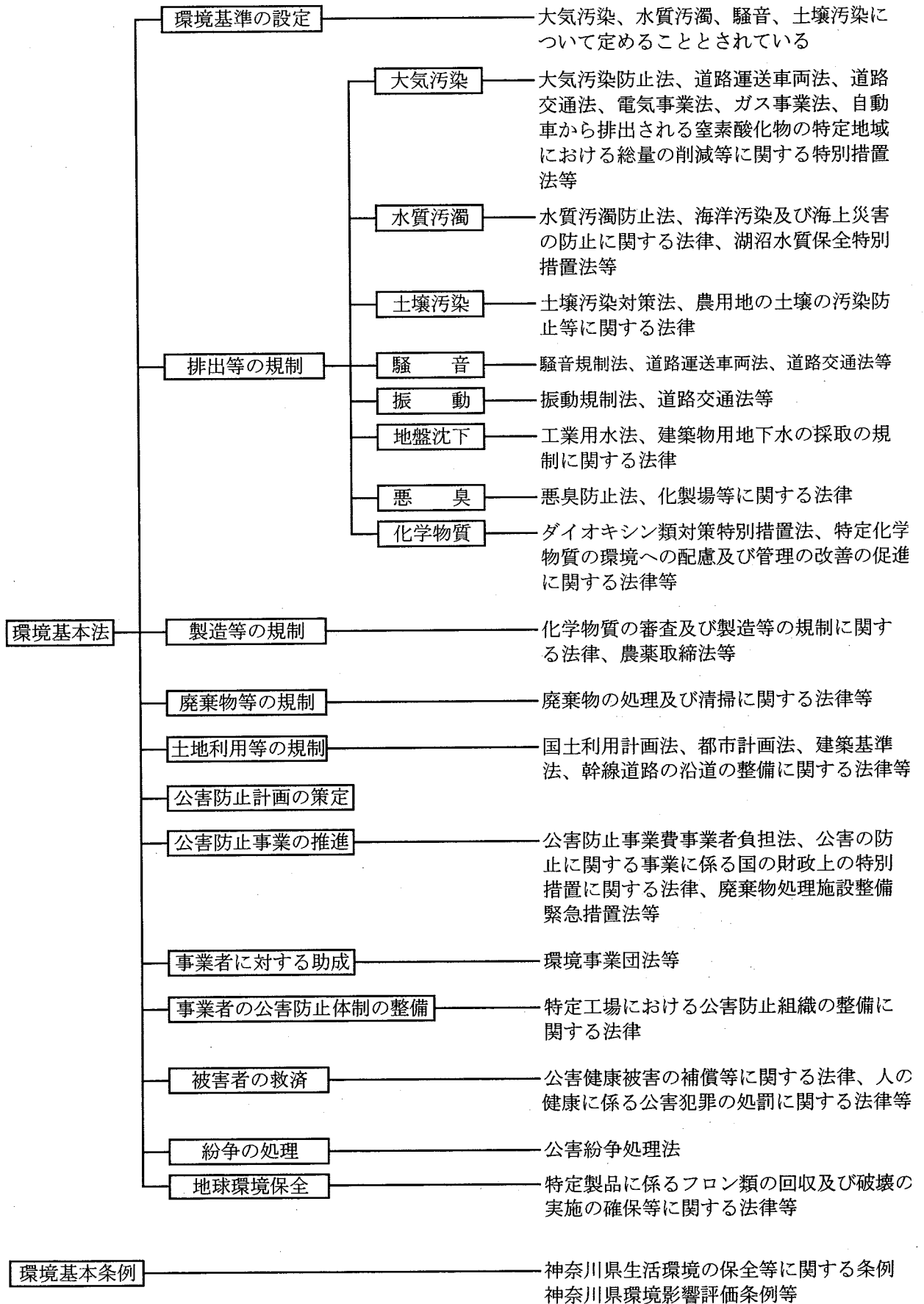
② 主要測定機器等整備状況

平成15年3月31日現在

	機器名	数量	型式	購入年月
騒音・振動	インパルス精密騒音計	1	NA-61	61.2
	マイクロホン延長コード100m	2	EC-04E100m	61.2
	マイクロホン延長コード50m	2	EC-04E50m	61.2
	オクターブフィルタ	1	NX-01A	61.7
	プリンタユニット	1	CP-01	61.7
	積分騒音計	1	NA-10A	61.7
	雑音発生器	1	SF-05	62.5
	チャートワインダー	1	LB-16	62.5
	スピーカー	1	SS-02	62.5
	3チャンネル振動レベル計	1	VM-16	63.3
	振動レベル計	1	VM-52A	12.8
	チャートワインダー	1	LB-16	1.5
	振動レベル計用ピックアップ	1	VM	56.5
	振動レベル計用ピックアップ	2	EC-02E	63.6
	オクターブフィルタユニット	1	NX-01A	1.5
	チャートワインダー	1	LB-16	1.5
	デジタル騒音計	1	NA32	2.6
	携帯実音モニター	1	XT-10SWS-03	12.3
	レベルレコーダー	1	LR-07	12.3
	騒音計	3	NL-06	12.3
大気	ガスクロマトグラフ式	1	島津GC-8APF	61.3
	大気オキシダント測定装置(上荻野小)	1	電気化学計器GXH-73M	2.5
	悪臭物質簡易測定機	1	ポータブル型においセンサー	2.6
	大気採取用フレックスポンプ	1	近江オドエアーDCI-NA	15.2
	環境大気用オゾン測定機	2	島津UVAD-1000A	12.2
	環境大気用窒素酸化物測定機	2	島津CLAD-1000A	12.2/15.3
水質	ケルタール窒素分解装置	1	6連式	59.3
	原子吸光光度計	1	日立Z-6000	59.8
	pHメーター	1	ホリバH-7AD	61.6
	溶存酸素計	1	東芝UC-100M	61.6
	ウォーターバス	1	BS-65	61.9
	有機塩素系溶剤簡易測定機	1	荏原実業	2.5
	pH-ORPメーター	1	セントラル科学	2.7
	pHメーター	1	ホリバ	3.5
その他の	超音波洗浄機	1	ヤマト2型	50.7
	薬品戸棚	1		53.3
	資料保冷庫	1		55.2
	顕微鏡	1	ウチダ115-0130	56.2
	顕微鏡写真撮影装置	1	島津115-320	56.2
	ホットプレート	1	HK41	57.4
	分光光度計	1	日立ダブルビーム	58.7
	電子天秤	1	メトラーAE-100型	59.8
	電子上皿天秤	1	島津EB-H200OS	59.11
	超音波ピペット洗浄機	1	シャープUT-55	60.1
	エッペンドルフピペット	2	4780	60.3
	エッペンドルフピペット	3	10~100ml用	60.3
	定温恒温槽	1	サンヨーMIR-251	61.10
	冷蔵庫	1	東芝GR316AZV	61.6
	遠心分離器	1	トミーLC-30	61.6
	機具乾燥機	1	ヤマトDG-81	61.6
スイングローター	1	TS-7	61.9	

③環境関係法令の体系

(図-1)



(2) 公害関係法例に基づく届出等の状況

公害関係法例の体系は図-1のとおりであり、昭和42年8月に制定された公害対策基本法（現在は環境基本法）を基に、騒音規制法（昭和43年）、大気汚染防止法（昭和43年）、水質汚濁防止法（昭和45年）、悪臭防止法（昭和46年）、振動規制法（昭和51年）が立法化され、規制強化されてきた。また、平成14年5月29日には土壌汚染対策法が公布され、平成15年2月15日から施行されている。

当市においては、騒音規制法、振動規制法に係る届出事務を行っているほか、平成9年10月に改正された神奈川県生活環境の保全等に関する条例に係る申請届出事務を行っている。また、平成14年4月には、特例市への移行に伴い水質汚濁防止法に係る事務が委譲され、平成15年2月からは新たに土壌汚染対策法に係る事務を取り扱っている。

①神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく届出状況

平成14年度の届出件数は238件あり、内訳は表-1のとおりである。

新たに設置許可を申請をし、許可された事業所数は4社あり、事業所の廃止届出が10件あった。

平成14年3月末日現在の指定事業所数は528社となっている。

・神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく届出件数 指定事業所関係

(表-1)

	届出等の種類	県条例	件数
指 定 事 業 所	設置許可申請書	第3条	4
	事業開始届出書	第7条	4
	変更許可申請書	第8条	17
	変更完了届出書	第8条	12
	変更計画中止届出書	第8条	0
	変更計画届出書	第9条	1
	変更届出書	第10条	48
	地位承継届出書	第11条	10
	廃止等届出書	第12条	10
	変更計画早期着手申請書	規則第15条	0
	現況届出書	第15条	0
	指定事業所既設届出書	規則附則第17項	0
	環境管理事業所認定申請書	第18条	0
	環境管理事業所変更届出書	第21条	15
	環境配慮書	第16条	18
	ポリエステル樹脂塗布作業開始届出書	第51条	0
	ポリエステル樹脂塗布作業変更届出書	第51条	0
	ポリエステル樹脂塗布作業中止届出書	第51条	0
	不飽和ポリエステル樹脂塗布作業既設届出書	規則附則第6項	0
	小 計		

地盤沈下・地下水採取関係

	届出等の種類	県条例	件数
地 盤 沈 下	地下水採取許可申請書	第75条	0
	地下水採取開始届出書	第77条	0
	地下水採取に係る変更許可申請書	第78条	1
	地下水採取に係る変更完了届出書	第78条	1
	地下水採取に係る変更計画中止届出書	第78条	0
	地下水採取に係る変更届出書	第79条	10
	地下水採取に係る地位承継届出書	第80条	0
	地下水採取現況届出書	第81条	0
	地下水採取廃止届出書	第82条	0
	地下水採取量及び水位測定結果報告書	第85条	38
	特別水位測定結果報告書	第85条	38
	地下水採取量測定結果報告書	第85条	11
	非常応急処置等完了報告	第113条	0
	地下水採取既設届出書	規則附則第21項	0
		小計	
	計		238

②騒音規制法に基づく届出状況（平成15年3月31日現在）

- ・特定工場数334社
- ・特定施設別届出数

(表-2)

特定施設の種類	施設数	工場等実数
金属加工機械	868	70
空気圧縮機、送風機	2,567	184
土石用破碎機等	77	14
織機	4	1
建設用資材製造機械	5	1
穀物用製粉機	0	0
木材加工機械	62	24
抄紙機	0	0
印刷機械	98	26
合成樹脂用射出成形機	129	14
鋳造型機	0	0
計	3,810	334

- ・平成14年度騒音規制法に基づく届出件数

(表-3)

届出の種類	騒音規制法	件数
特定施設設置届	第6条	6
数等の変更届	第8条	15
騒音の防止の方法変更届	第8条	0
氏名等の変更届	第10条	23
使用全廃届	第10条	2
承継届	第11条	1
特定建設作業届出	第14条	53
計		100

③振動規制法に基づく届出状況（平成15年3月31日現在）

- ・ 特定工場数223社
- ・ 特定施設別届出数

(表-4)

特定施設の種類	施設数	工場等実数
金属加工機械	951	89
圧縮機	419	90
破碎機等	66	8
織機	5	1
コンクリートブロックマシン等	2	1
木材加工機械	2	2
印刷機械	53	14
ゴム練用又は合成樹脂練用ロール機	7	2
合成樹脂用射出成形機	176	16
鋳造型機	0	0
計	1,681	223

- ・ 平成14年度振動規制法に基づく届出件数

(表-5)

届出の種類	振動規制法	件数
特定施設設置届	第6条	5
数等の変更届	第8条	19
振動の防止の方法変更届	第8条	0
氏名等の変更届	第10条	18
使用全廃届	第10条	2
承継届	第11条	1
特定建設作業実施届出書	第14条	30
計		75

④水質汚濁防止法に基づく届出状況（平成15年3月31日現在）

- ・ 特定工場数312社
- ・ 特定施設別届出数

(表-6)

特定施設の種類（施行令別表・業種別）	施設数（のべ数）	工場等実数
1の2 畜産農業又はサービス業	12	12
2 畜産食料品製造業	58	5
10 飲料製造業	31	5
17 豆腐又は煮豆の製造	6	6
19 紡績業又は繊維製品製造業	13	1
23の2 新聞業、出版業、印刷業、製版業	17	5
27 無機化学製品製造業	9	1
54 セメント製品製造業	13	2
55 生コンクリート製造業	8	7
59 砕石業	7	2
60 砂利採取業	16	5
62 非鉄金属製造業	15	1
63 金属製品製造業、機械器具製造業	109	11
65 酸又はアルカリによる表面処理施設	356	17
66 電気めっき施設	46	-
66の2 旅館業	486	45
67 洗濯業	140	54
68 写真現像業	15	5
68の2 病院	317	4
71 自動式車両洗浄施設	69	67
71の2 研究、試験、検査又は専門教育	2,004	28
71の3 一般廃棄物処理施設	6	2
71の5 トリクロエチレン等による洗浄施設	11	2
その他	59	25
計	3,823	312

- ・ 平成14年度水質汚濁防止法に基づく届出件数

(表-7)

届出の種類	水質汚濁防止法	件数
特定施設設置届	第5条	29
既設届	第6条	1
構造等変更届	第7条	3
使用廃止届出	第10条	25
氏名等の変更届	第10条	40
承継届	第11条	14
計		112

(3) 環境影響評価制度

① 制度の概要

環境影響評価（環境アセスメント）は、大規模な開発事業が行われる際、それが周辺の環境にどのような影響を及ぼすかを事前に調査、予測、評価し、さらにその結果を地域住民に周知し、事業者、住民、行政が意見を出し合い環境を守ることを目的としている。

神奈川県では、昭和56年7月に環境影響評価条例を制定し、事務を進めてきたが、環境影響予測評価実施計画書を作成する前段階の周知や、事業完成後に事後調査を行う等の改正が平成10年7月に行われ、表-1に示す事業について手続きが必要となった。

国においては、環境影響評価法が平成11年6月12日に施行され県条例で定める事業より規模の大きな開発事業が対象となっている。

本市は、アセスメント対象事業に対する、調査方法、予測方法、評価方法について意見を求められるため、県への意見回答や縦覧場所の提供などを行っている。

・環境影響評価条例対象事業

(表-1)

事業の種類	規模など	事業の種類	規模など
1 道路の建設	高速自動車国道…全事業 自動車専用道路…全事業 林道…幅員5m以上かつ 延長10km以上 その他の道路 …4車線以上かつ延長5km以上	8 研究所の建設	敷地面積3ha以上
		9 高層建築物の建設	高さ100m以上かつ延床面積 5万㎡以上
		10 廃棄物処理施設の 建設	敷地面積3ha以上又は焼却・ 溶融の処理能力200t/日以上
		11 下水道終末処理場の 建設	敷地面積10ha以上
		12 都市公園の建設	敷地面積50ha以上
2 鉄道、軌道の建設	線路の延長1km以上	13 工業団地の造成	施行区域の面積10ha以上
3 鋼索鉄道、索道の建設	全事業	14 研究所団地の造成	施行区域の面積10ha以上
4 操車場、検車場の建設	敷地面積10ha以上	15 流通団地の造成	施行区域の面積10ha以上
5 飛行場の建設	敷地面積1ha以上	16 ダムの建設	堤高15m以上
6 工場、事業場の建設	敷地面積3ha以上又は排水 量1万m ³ /日以上若しくは燃 料使用量4kl/時以上	17 取水堰の建設	堤長200m以上
		18 放水路の建設	土地形状変更面積20ha以上
7 電気工作物の建設	変電所…敷地面積3ha以上 発電所 ①一般電気事業、卸電気事業 水力発電所…出力2万kW以上 火力発電所…出力10万kW以上 地熱発電所…出力7千kW以上 原子力発電所…全事業 ②特定電気事業、特定規模 電気事業、卸供給 …敷地面積3ha以上又は燃 料使用量4kl/時以上 送電線 …電圧17万ボルト以上の架 空送電線で自然公園地域等 に設置されるもの	19 土石の採取	採取場の面積10ha以上
		20 発生土処分場の建設	処分場の面積20ha以上
		21 墓地、墓園の造成	施行区域の面積20ha以上
		22 住宅団地の造成	施行区域の面積20ha以上
		23 学校用地の造成	施行区域の面積20ha以上
		24 レクリエーション 施設用地の造成	施行区域の面積20ha以上
		25 浄水施設及び配水 施設用地の造成	施行区域の面積20ha以上
		26 土地区画整理事業	施行区域の面積40ha以上
		27 公有水面の埋立て	埋立区域の面積15ha以上
		28 宅地の造成	施行区域の面積20ha以上
		29 前各号に掲げるもののほか、これらに準ずるもの として規則で定める事業	

②環境影響評価条例に基づく事務の状況

平成14年度は次の2事業について、環境影響評価条例に基づく事務を行った。

○ 相模興業採石場増設事業（事業者 相模興業株式会社）

- H14. 11. 18 相模興業採石場増設事業に係る周知計画書に関する県から市へ意見照会
- H14. 11. 29 相模興業採石場増設事業に係る周知計画書に関する市から県へ意見回答
- H14. 12. 4 相模興業採石場増設事業に係る環境影響予測評価書案の写しの県から市へ縦覧依頼
- H14. 12. 4 相模興業採石場増設事業に係る周知計画書の承認
- H15. 1. 23 相模興業採石場増設事業に係る環境影響予測評価書案に関する意見書の県から市へ通知
- H15. 3. 25 相模興業採石場増設事業に係る環境影響予測評価書案についての意見・見解書の写しの県から市へ縦覧依頼

○ 日産先行開発センター建設事業（事業者 日産自動車株式会社）

- H14. 10. 11 (仮称) 日産自動車株式会社先行開発センター建設事業に係る実施計画周知書に関する県から市へ意見照会
- H14. 10. 23 (仮称) 日産自動車株式会社先行開発センター建設事業に係る実施計画周知書に関する市から県へ意見回答
- H14. 10. 24 (仮称) 日産自動車株式会社先行開発センター建設事業に係る実施計画周知書の県から市へ承認通知
- H14. 10. 24 (仮称) 日産自動車株式会社先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価実施計画書の写しの県から市へ縦覧依頼
- H14. 12. 27 (仮称) 日産自動車株式会社先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価実施計画書に関する実施計画意見書について県から市へ通知
- H14. 12. 27 (仮称) 日産自動車株式会社先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価実施計画書に関する県から市へ意見照会
- H15. 1. 30 (仮称) 日産自動車株式会社先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価実施計画書に関する市から県へ意見回答

継続中の事業

○ 相模興業採石場増設事業（事業者 相模興業株式会社）

- H11. 11. 25 相模興業採石場増設事業実施計画周知書に対する県から市へ意見照会
- H11. 12. 3 相模興業採石場増設事業実施計画周知書意見照会に対する県へ回答
- H11. 12. 15 相模興業採石場増設事業に係る実施計画周知書の県から市へ承認通知
- H11. 12. 15 相模興業採石場増設事業に係る実施計画周知書の県から市へ縦覧依頼
- H12. 2. 10 相模興業採石場増設事業に係る実施計画周知書に対する市民等意見の内容、県から市へ通知
- H12. 3. 2 相模興業採石場増設事業に係る実施計画周知書に関する県から市へ意見照会
- H12. 3. 24 相模興業採石場増設事業に係る実施計画周知書に関する市から県へ意見回答
- H12. 6. 21 相模興業採石場増設事業に係る環境影響予測計画書に対する実施計画審査意見書の県から市へ通知

神奈川県環境影響評価条例が制定されてからの当市に関連する事業は次のとおりです。

事業名	事業者	手続開始	完了年度
神奈川県産業技術総合研究所	神奈川県	平成3年	継続
相模原都市計画地区画整理事業しおだ 土地地区画整理事業	神奈川県	平成3年	継続
相模取水施設建設事業	県広域水道企業団	平成3年	継続
さがみ縦貫道路事業	神奈川県	平成3年	継続
第2東名自動車道事業	日本道路公団	平成5年	継続
厚木秦野道路 (一般国道246号バイパス) 事業	神奈川県	平成5年	継続
第一東海自動車道(厚木-大井松田) 事業	日本道路公団	平成6年	平成7年

※相模取水施設建設事業は平成11年度に完成したが、5年間の事後調査が必要となる。

神奈川県産業技術研究所も同じ扱いとなる。

(4) 合併処理浄化槽整備事業

公共用水域の水質汚濁源として大きな割合を占める生活排水対策として、「厚木市合併処理浄化槽整備事業補助金交付制度」を平成元年度に発足させ、し尿と生活排水を併せて処理する合併処理浄化槽の普及に努めている。

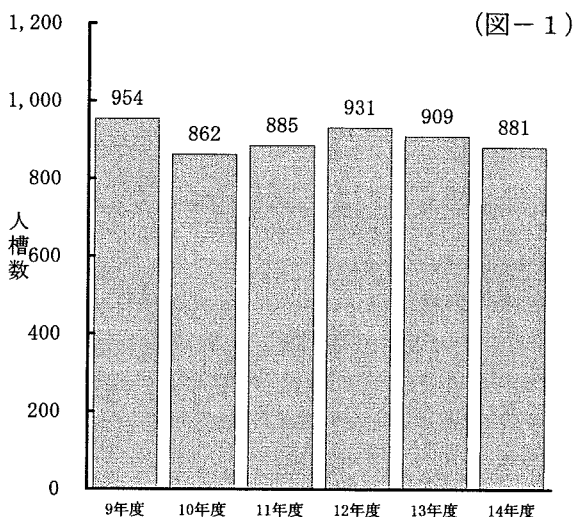
この制度は公共下水道処理予定区域外を対象とし、合併処理浄化槽の設置者にその費用の一部を補助するもので、平成14年度の実施状況は表-1及び図-1、図-2のとおりである。

・平成14年度補助件数

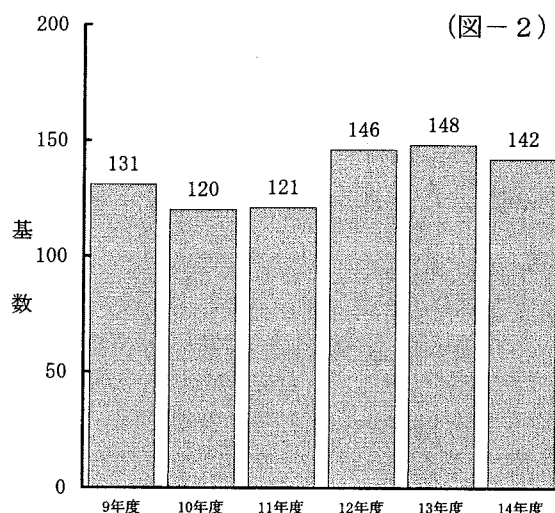
(表-1)

区分	補助基数	人槽数	補助金額(円)
合計	142	881	70,480,000

合併処理浄化槽年度別補助人槽数



合併処理浄化槽年度別補助基数



・年度毎合併処理浄化槽(設置基数)地区別実績

(表-2)

地区	年度						元年度～14年度 までの合計 ()は人槽数	
	9	10	11	12	13	14		
依知	16	7	13	13	11	9	94	(661)
睦合	33	26	38	50	45	33	338	(2,363)
荻野	27	26	20	34	34	31	309	(2,057)
小鮎	28	27	25	20	32	38	319	(2,313)
南毛利	7	9	9	6	4	4	95	(715)
玉川	17	22	13	20	21	25	235	(1,795)
相川	3	3	3	3	1	2	42	(310)
合計	131	120	121	146	148	142	1,432	(10,214)

(5) 広報・啓発

① かながわ環境月間

1972年6月スウェーデンの首都ストックホルムで開催された国連人間環境会議において、環境の汚染、資源の枯渇、開発途上国の開発といった数多くの問題が協議され、人間環境の保全と改善について積極的に努力することが決議された。

また、国連人間環境会議が開催された6月5日を記念して、その日を「世界環境デー」と定め、各国政府、国連機関が環境保全のための啓発活動を展開しようという決議が、同12月の国際会議で決定されるに至った。

我が国においては、平成5年に制定された環境基本法の中で、6月5日を「環境の日」と定め、環境省所管の下に6月の1箇月間を「環境月間」と定め、全国的な啓発活動を展開している。

また、神奈川県においても「かながわ環境月間」を定め、環境問題に対する意識の啓発のため、各種事業を実施している。これを受けて、本市においても次のような啓発活動を実施した。

平成14年度「かながわ環境月間」に伴う啓発活動

(表-1)

行事名称	行事内容	実施数	実施主体
工場・事業場立入調査	新たに指定施設となった廃棄物焼却炉を設置する事業所の施設の運転管理や構造基準に合致するかどうか調査した。	5社	神奈川県 厚木市
相模川クリーン キャンペーン	市民ボランティア団体等に参加を呼びかけ、清掃活動を通じて河川美化意識の高揚を図る。	5月26日	厚木市 関係団体

※環境総務課扱いに限る。

② 厚木市冬期自動車交通量対策

本市における窒素酸化物による大気汚染が、依然として高レベル傾向にあることから、二酸化窒素濃度が高くなる冬期に自動車の使用の抑制、マイカー通勤の自粛などを行い、自動車からの窒素酸化物排出量の削減を全市、全庁的に行った。

期間中の毎週水曜日(12日間)を自動車の使用の抑制日とし、市内事業所、商店会等に自動車使用抑制の協力依頼及びポスターの配布等を行った。また、市役所として職員のマイカー通勤の自粛、庁用車両の使用の抑制を行った。

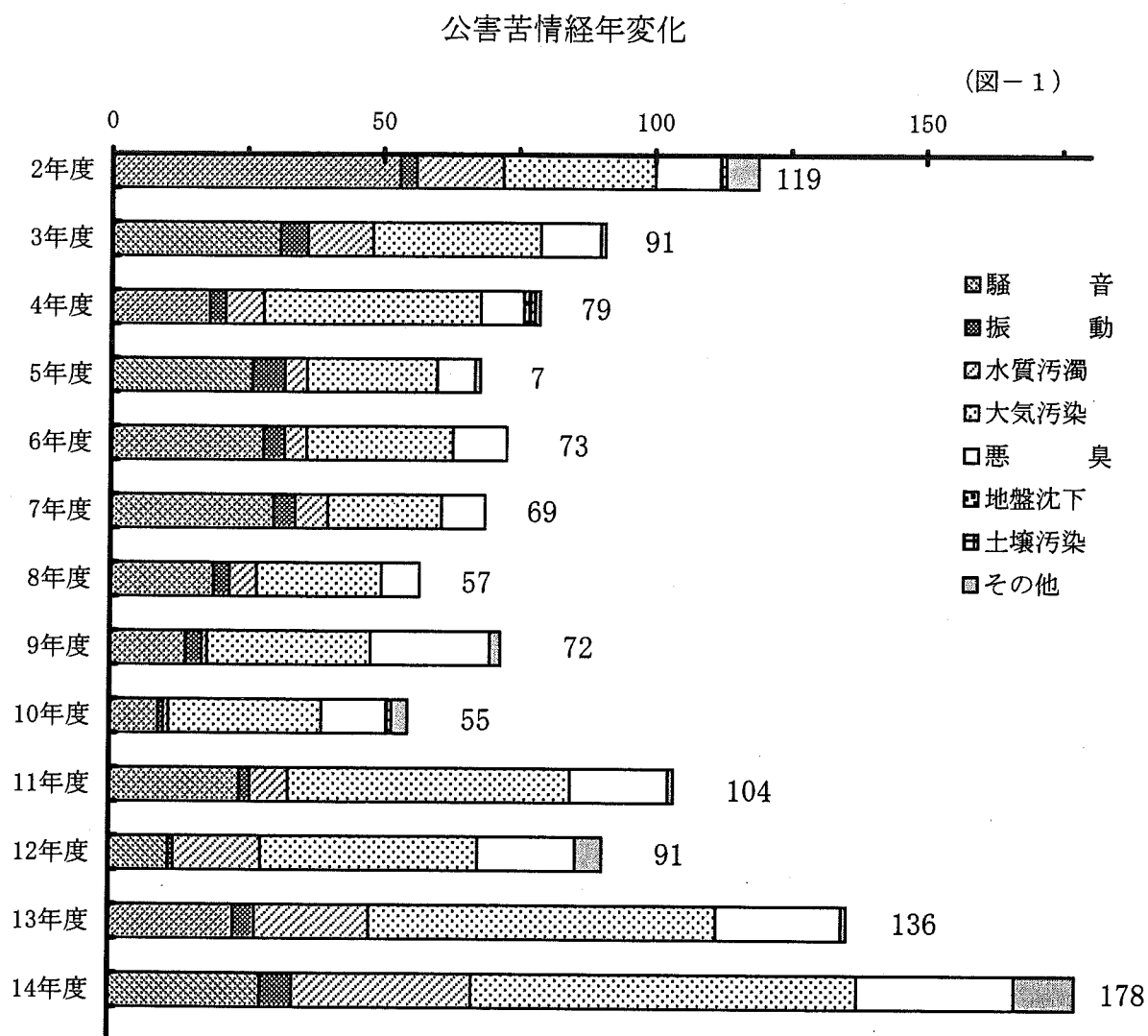
・実施期間 平成14年11月1日から平成15年1月31日までの3箇月間

(6) 公害苦情の状況

① 平成14年度の概況

公害苦情の受付件数は、昭和63年度に過去最高の141件を記録した後減少傾向にあったが、全国的にダイオキシン類の問題が提起されたこともあり、平成11年度以降焼却炉からのばい煙の苦情や野焼きの苦情が増大し、14年度の総苦情件数は178件と過去最高となった。

14年度の苦情を種類別にみると、焼却炉からのばい煙や野焼きに関する苦情相談が最も多く寄せられた。



②公害苦情の発生状況

・年度別公害苦情の発生状況

(表-1)

種類		年度													
		元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
騒音		45	53	31	18	26	28	30	19	14	9	24	11	23	27
振動		9	3	5	3	6	4	4	3	3	1	2	1	4	6
水質汚濁		12	16	12	7	4	4	6	5	1	1	7	16	21	32
大気汚染	ばい煙	14	25	25	35	21	22	19	17	29	26	51	36	60	61
	粉じん	4	3	6	5	3	5	2	6	0	1	1	3	4	7
	ガス	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1
悪臭		18	12	11	8	7	10	8	7	22	12	18	18	23	31
地盤沈下		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土壌汚染		3	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
その他		1	6	1	1	0	0	0	0	2	3	1	5	1	13
計		106	119	91	79	67	73	69	57	72	55	104	91	136	178

・平成14年度公害苦情の月別発生件数

(表-2)

種類		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
騒音		3	3	2	5	2	2	3	1	1	2	2	1	27
振動		2	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	6
水質汚濁		2	3	4	2	0	4	5	3	2	2	3	2	32
大気汚染	ばい煙	7	10	6	6	5	3	4	4	6	3	5	2	61
	粉じん	1	0	0	1	0	2	1	0	1	0	1	0	7
	ガス	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
悪臭		1	5	6	4	0	1	1	4	1	2	2	4	31
地盤沈下		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土壌汚染		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		1	2	5	2	0	0	0	0	2	0	0	1	13
計		17	23	23	20	7	13	15	13	15	9	13	10	178

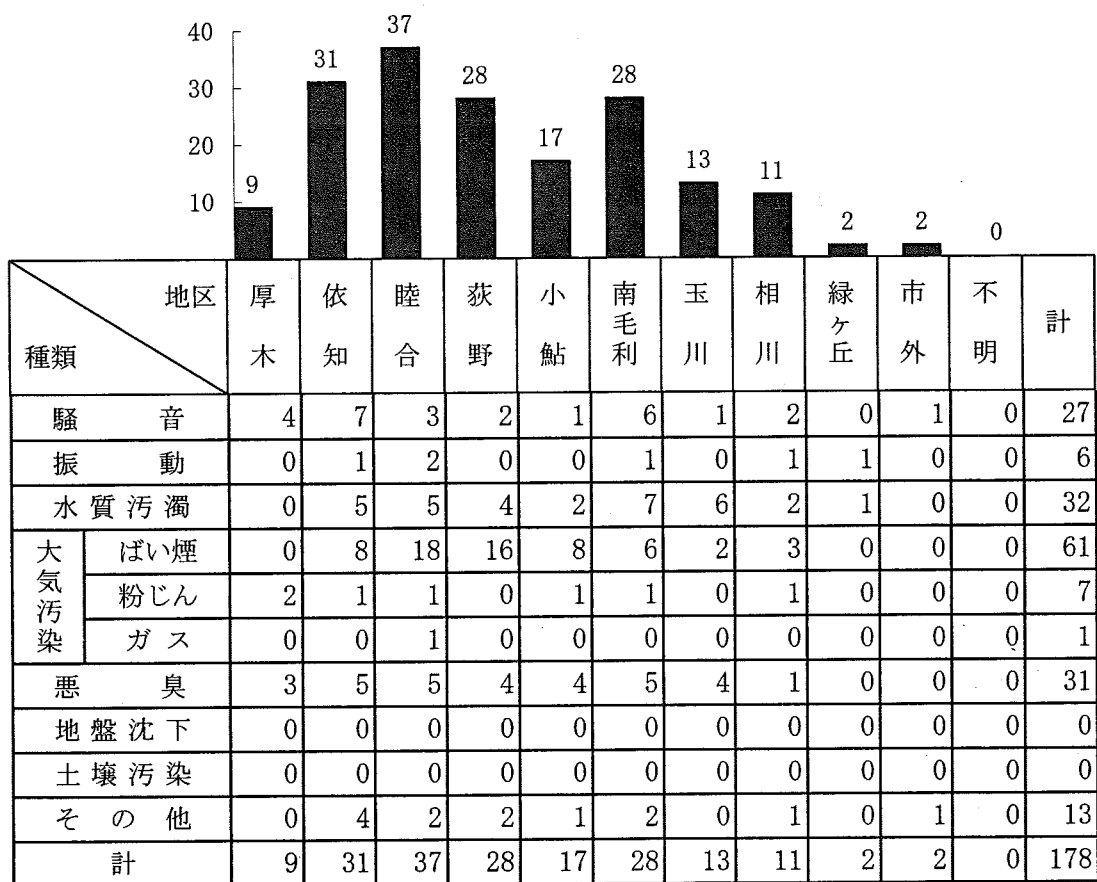
・平成14年度公害苦情業種別発生源

(表-3)

業 種	大 気 汚 染	水 質 汚 濁	騒 音	振 動	悪 臭	そ の 他	合 計
農業	8	0	1	1	3	0	13
林業	0	0	0	0	0	0	0
漁業	0	0	0	0	0	0	0
鉱業	0	0	0	0	0	0	0
建設業	29	2	11	4	4	4	54
製造業	5	2	6	0	5	1	19
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0	0
運送・通信業	4	2	3	0	0	0	9
卸売・小売業・飲食店	0	1	2	0	2	0	5
サービス業	9	4	3	1	6	1	24
公務	0	3	0	0	0	0	3
家庭生活	8	0	0	0	0	0	8
事務所	0	0	0	0	0	0	0
道路	0	1	1	0	0	0	2
空地	0	0	0	0	0	0	0
公園	0	0	0	0	0	0	0
神社・寺院等	2	0	0	0	0	0	2
その他	2	0	0	0	0	1	3
不明	4	18	1	0	9	4	36
合 計	71	33	28	6	29	11	178

・平成14年度公害苦情の地区別発生状況

(表-4)



・公害苦情の用途地域別発生状況 (平成14年度受付分)

(表-5)

発生源に係る用途地域			被害等に係る用途地域		
用途地域	件数	割合(%)	用途地域	件数	割合(%)
第一種低層住居専用	2	1.1	第一種低層住居専用	3	1.7
第一種中高層住居専用	8	4.5	第一種中高層住居専用	16	9.0
第二種中高層住居専用	4	2.2	第二種中高層住居専用	5	2.8
第一種住居	13	7.3	第一種住居	19	10.7
第二種住居	7	3.9	第二種住居	5	2.8
準住居	1	0.6	準住居	0	0.0
近隣商業	0	0.0	近隣商業	0	0.0
商業	4	2.2	商業	3	1.7
準工業	15	8.4	準工業	16	9.0
工業	11	6.2	工業	10	5.6
工業専用	5	2.8	工業専用	3	1.7
市街化調整	76	42.7	市街化調整	60	33.7
市外	1	0.6	市外	2	1.1
不明	31	17.4	不明	36	20.2
合計	178	100.0	合計	178	100.0

③平成14年度公害苦情の被害状況

(表-6)

生 命	財 産	動物・植物	感覚・心理	そ の 他	不 明	計
1(0.6%)	1(0.6%)	2(1.1%)	174(97.7%)	0(0%)	0(0%)	178(100%)

()内数字は構成割合 (%) を示す。

生命・身体 … 体に直接被害を受けている場合、又は、精神的なもので医療を受けた場合をいう。

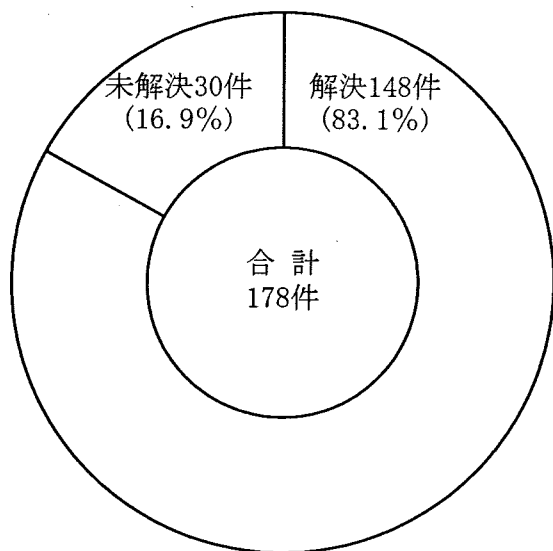
財 産 … 家具や生活品の破損、汚れ等による被害をいう。

動物・植物 … 家畜、愛がん用動物、米麦、野菜及び植物等の動植物被害並びに自然界に生育する動物の生育環境の悪化による被害をいう。

感覚・心理 … うるさい、くさい、汚い、不快だ等の感覚的・心理的被害で心身の健康を害する程度に害する程度に至らない程度のものをいう。

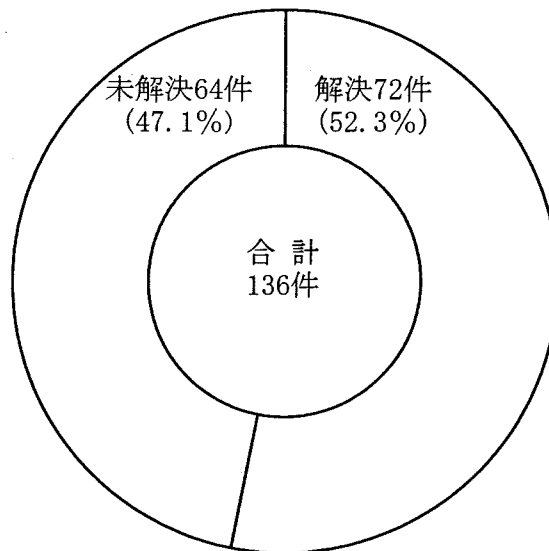
・平成14年度公害苦情の処理状況

(図-2)



・前年度繰越し苦情処理状況

(図-3)



・平成14年度公害苦情解決方法

(表-7)

解決の種類	平成14年度受付分の解決件数	前年度の繰越分の解決件数	合計	割合 (%)
工場の移転	2	0	2	0.9
工場の改善	1	0	1	0.5
機械施設の改善	16	6	22	10.0
故障の修理・復旧	0	0	0	0.0
作業・操業方法等の改善	34	6	40	18.2
操業時間の改善	1	0	1	0.5
操業行為の中止	77	39	116	52.7
その他	17	21	38	17.3
合計	148	72	220	100.1

2. 大気汚染の状況

(1) 概況

大気汚染は、事業所等の活動や自動車の走行により排出される汚染物質によって引き起こされるものであり、昭和43年に大気汚染防止法が制定された。

その後、昭和44年に二酸化硫黄の環境基準が定められ、次いで一酸化炭素、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダントの順で5物質が定められ、平成9年度にはベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンの3物質の環境基準が定められた。さらに、平成11年度にダイオキシン類の環境基準が定められ、現在は9物質について大気環境基準が定められている。

大気汚染の監視事業については、大気汚染防止法に基づいて県の事務となっている。昭和46年6月には、市庁舎屋上に二酸化窒素など当時環境基準が定められた5物質の測定局（一般環境大気測定局、一般局）が、厚木市寿町1丁目に自動車排出ガス測定局（自排局）が設置された。寿町の自排局は、平成5年度から金田神社（厚木市金田）に移転され現在に至っている。また、平成14年度には厚木市水引1丁目に国設（環境省）の自排局が設置され、二酸化窒素や浮遊粒子状物質等を測定している。

その後、平成9年度から市役所屋上において神奈川県による有害大気汚染モニタリング調査が開始され、平成10年度から市内においてダイオキシン類の調査が開始された。

当市における大気汚染については、昭和40年代前半まで市内にばい煙発生施設が少ないこともあり、ほとんど問題となることはなかった。しかし、昭和46年7月に光化学スモッグによるものと思われる被害が発生し、昭和49年7月4日には厚木市林において酸性雨による被害が発生した。

このため、昭和53年7月から市独自に自動測定機による方法で、玉川中学校（厚木市七沢）において光化学オキシダントの調査を実施し、その後自動車排出ガスに係る窒素酸化物などの調査を市内5箇所で行っている。

また、平成11年度からは大規模廃棄物焼却炉を設置している事業所のばいじん等の調査を実施し、大気汚染防止対策事業の推進に努めている。

平成14年度の一般局及び市独自の測定結果では、光化学オキシダントと、二酸化窒素が環境基準を上回っているが、他の物質は環境基準を下まわっている。

自排局の結果では、金田神社において浮遊粒子状物質が環境基準を上まわり、不燃物処理場跡地（厚木市船子）の測定局においても二酸化窒素が環境基準を上まわった。

●大気汚染に係る環境基準について

大気汚染に係る環境上の条件について、人の健康を保護する上で維持することが望ましい基準。物質及び環境上の条件は表-1のとおりである。

大気汚染に係る環境基準 (表-1)

物質	二酸化硫黄	一酸化炭素	浮遊粒子状物質	二酸化窒素	光化学オキシダント
環境上の条件	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	1時間値が0.06ppm以下であること。

物質	ベンゼン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ダイオキシン類
環境上の条件	年平均値が0.003mg/m ³ 以下であること。	年平均値が0.2mg/m ³ 以下であること。	年平均値が0.2mg/m ³ 以下であること。	年平均値が0.06pg-TEQ/m ³ 以下であること。

環境基準の達成評価方法 (長期的評価)

物質	二酸化硫黄	一酸化炭素	浮遊粒子状物質	二酸化窒素	光化学オキシダント
環境上の条件	年間の1日平均値のうち、測定値の高い方から2%の範囲にあるものを除外した後の最高値を環境基準と比較する。ただし、環境基準を超える日が2日以上連続した場合は、不適合と評価する。			年間の1日平均値のうち、測定値の低い方から98%に相当するものを環境基準と比較する。	1時間値が0.06ppm以下であること。

(2) 県による大気汚染監視測定結果

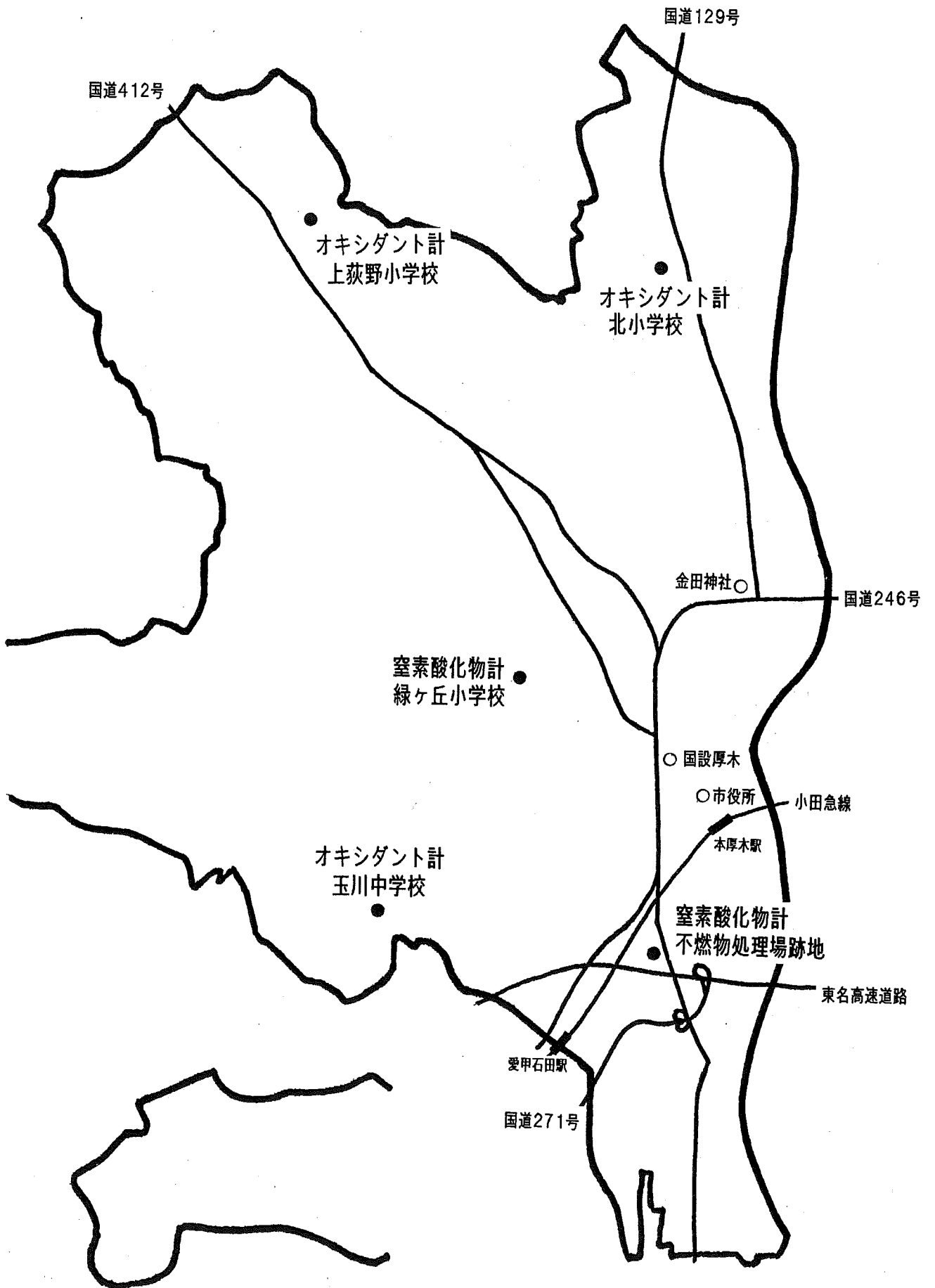
大気汚染の状況を監視するため、神奈川県環境科学センターを中心に県下の測定局がテレメータ化され、大気汚染の常時監視が行われている。

本市においては、図-1のとおり一般環境大気測定局(一般局)が市庁舎屋上に、自動車排出ガス測定局(自排局)が金田神社に設置されている。

市庁舎屋上では、硫黄酸化物、窒素酸化物、浮遊粒子状物質、光化学オキシダントのほか気象等の測定をしており、金田神社では、窒素酸化物、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、気象の常時監視を行っている。また、国設厚木についても、同様の監視を行なっている。

大気汚染の自動測定点

(図-1)



①硫黄酸化物 (SO_x)

硫黄酸化物とは重油などの硫黄分を含む燃料が燃えて生じた二酸化硫黄、三酸化硫黄などの物質をいい、人体に対して慢性気管支炎・ぜん息性気管支炎などの影響を与える代表的な大気汚染物質である。

環境基準は二酸化硫黄について「1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ1時間値が0.1ppm以下であること」と定められており、市庁舎屋上が測定場所となっている。

平成14年度の結果は、表-2に示すように「1時間値が0.1ppm」を超えた時間はなかった。

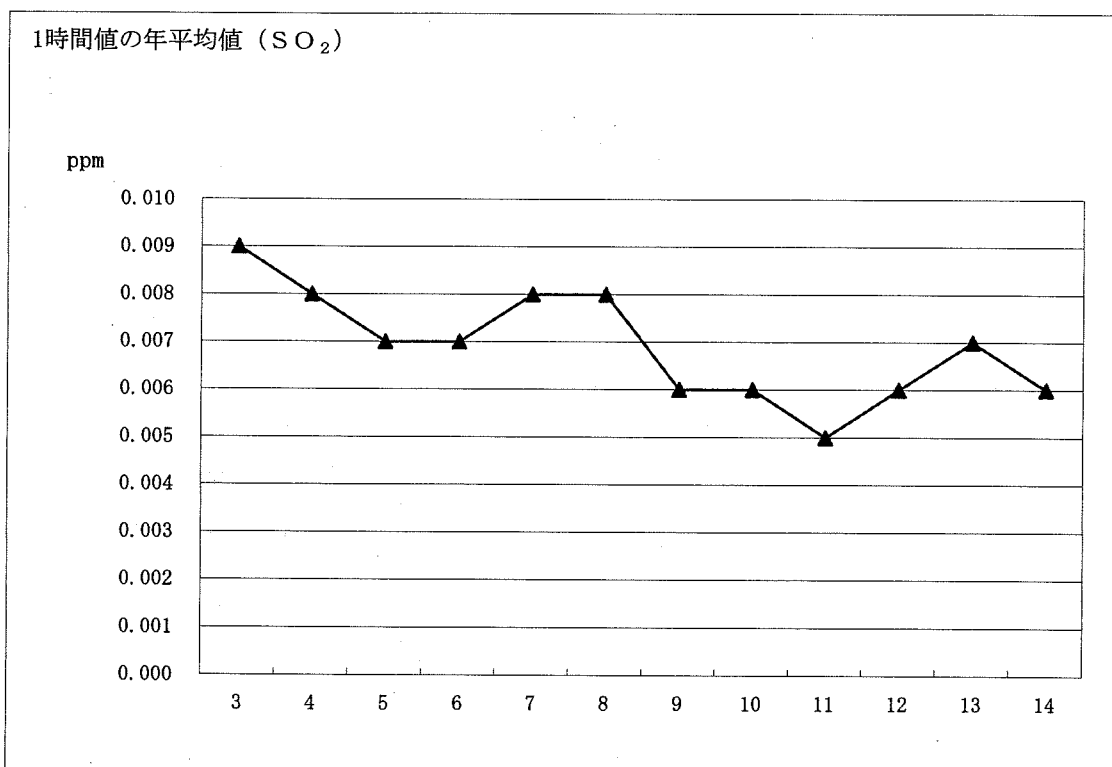
二酸化硫黄 (SO₂)

(表-2)

測定場所	市庁舎屋上
有効測定日数	356日
測定時間	8575時間
1時間値の年平均値	0.006ppm
1時間値が0.1ppmを越える時間数と割合	0時間(0.0%)
1時間値の1日平均が0.04ppmを越える日数と割合	0日(0.0%)
日平均値が0.04ppmを越えた日が2日以上連続した日の有無	無

市庁舎屋上SO₂経年変化

(図-1)



年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
一時間値の年平均値	0.009	0.008	0.007	0.007	0.008	0.008	0.006	0.006	0.005	0.006	0.007	0.006

②一酸化炭素（CO）

一酸化炭素は、血液中のヘモグロビンと結びついて体内の酸素交換を妨げるなどの影響を与える物質である。

環境基準は、「1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること」と定められている。

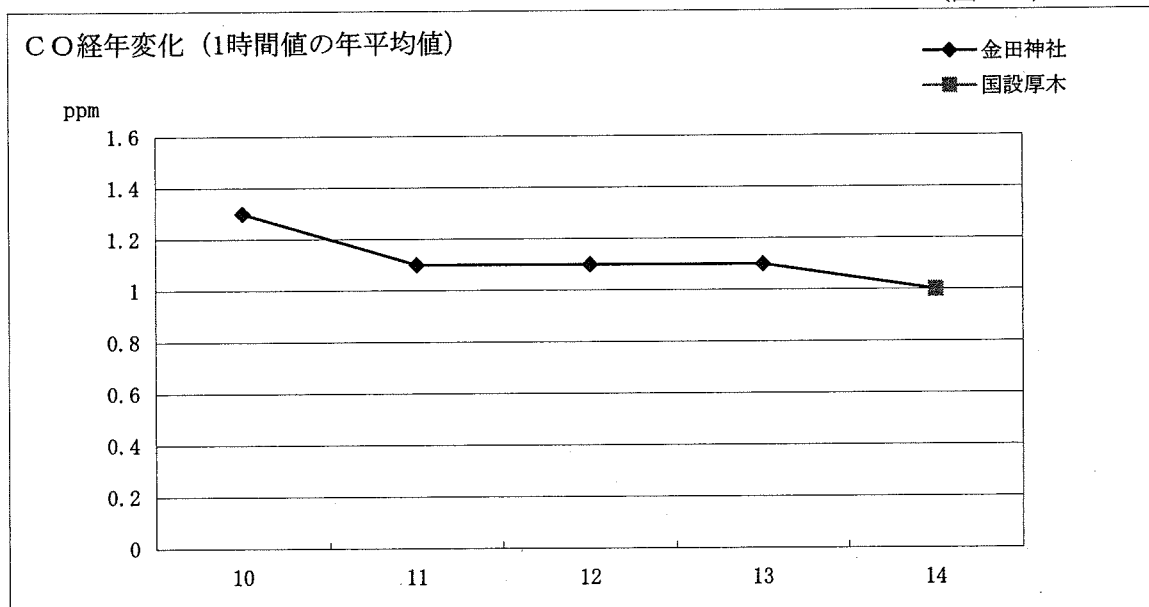
金田神社で測定を行っているほか、平成14年度からは国設厚木でも調査を行うこととなった。

平成14年度の結果は表-3に示すように環境基準を満足しており、これは、昭和48年から始まった自動車排出ガス規制やその後の排出ガス対策の技術革新によるものと思われる。

(表-3)

測定場所	金田神社	国設厚木
有効測定日数	365日	287日
測定時間数	8629時間	6806時間
1時間値の年平均値	1.0ppm	1.0ppm
8時間平均値20ppmを超える回数と割合	0回(0%)	0回(0%)
日平均値が10ppmを超える日数と割合	0回(0%)	0回(0%)
1時間値の最高値	3.5ppm	4.0ppm

(図-3)



年度	10	11	12	13	14
金田神社	1.3	1.1	1.1	1.1	1.0
国設厚木	—	—	—	—	1.0

③浮遊粒子状物質（SPM）

浮遊粒子状物質は、粉じん、ばいじん等を総称して呼び、環境基準では粒径 $10\mu\text{m}$ （ミクロン）以下のものを浮遊粒子状物質と定めている。過去に厚木市に設置されていた測定局では、粒径 $10\mu\text{m}$ 以上のものも測定していたため、環境基準との比較はできなかった。そのため、市庁舎屋上で昭和62年から、金田神社で平成5年から、環境基準に基づいた測定方法に変更された。また、平成14年からは、国設厚木でも測定が始まった。

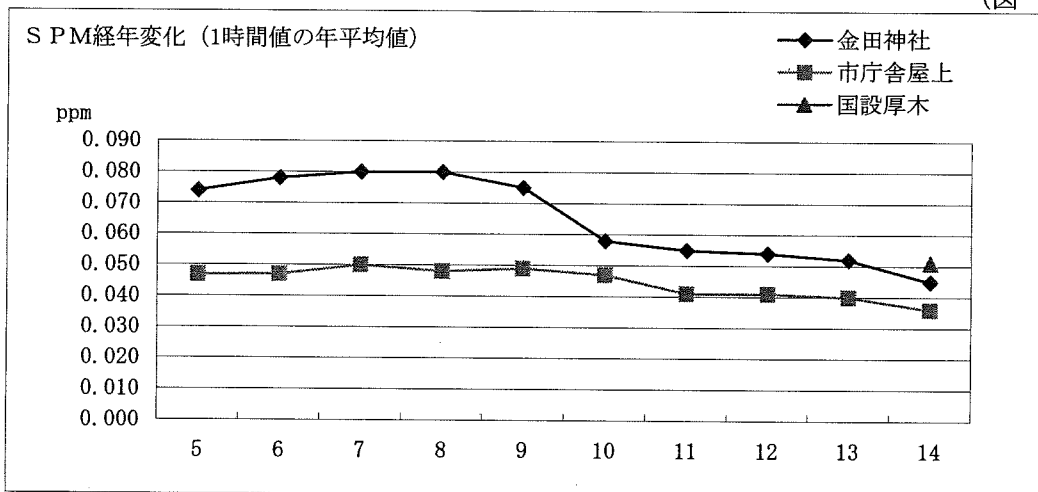
14年度の測定結果は、表-4に示すとおりである。環境基準「1時間値が $0.2\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であること」に対して、基準を超える値が金田神社では3時間、国設厚木では3時間記録された。市役所屋上では基準を超える時間はなかった。昨年度と比較すると、市庁舎屋上は7時間、金田神社は15時間減少したことになる。

もう一つの環境基準「日平均値の2%除外値が $0.1\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であること」に対しては、基準超過日数が市庁舎屋上では4日、金田神社では9日、国設厚木では12日となった。

(表-4)

測定場所	市庁舎屋上	金田神社	国設厚木
有効測定日数	361日	341日	362日
1時間値の年平均値	$0.036\text{mg}/\text{m}^3$	$0.045\text{mg}/\text{m}^3$	$0.051\text{mg}/\text{m}^3$
1時間値が $0.2\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数と割合	0時間(0.0%)	3時間(0.0%)	3時間(0.0%)
日平均値が $0.1\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数と割合	4日(1.1%)	9日(2.6%)	12日(3.3%)
日平均値の2%除外値	$0.092\text{mg}/\text{m}^3$	$0.106\text{mg}/\text{m}^3$	$0.119\text{mg}/\text{m}^3$

(図-4)



1時間値の年平均値 (mg/m^3)

	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
金田神社	0.074	0.078	0.080	0.080	0.075	0.058	0.055	0.054	0.052	0.045
市庁舎屋上	0.047	0.047	0.050	0.048	0.049	0.047	0.041	0.041	0.040	0.036
国設厚木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.051

日平均値の2%除外値 (mg/m^3)

年度	6	7	8	9	10	11	12	13	14
金田神社	0.061	0.162	0.140	0.164	0.115	0.105	0.106	0.110	0.106
市庁舎屋上	0.106	0.113	0.092	0.104	0.099	0.084	0.084	0.089	0.092
国設厚木	—	—	—	—	—	—	—	—	0.119

④二酸化窒素 (NO₂)

二酸化窒素は、工場・事業場の燃料の焼却や廃棄物の焼却の他、特に幹線道路周辺の自動車排出ガスにより発生する。

環境基準は、「1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmのゾーン内又は、それ以下であること」と定められている。

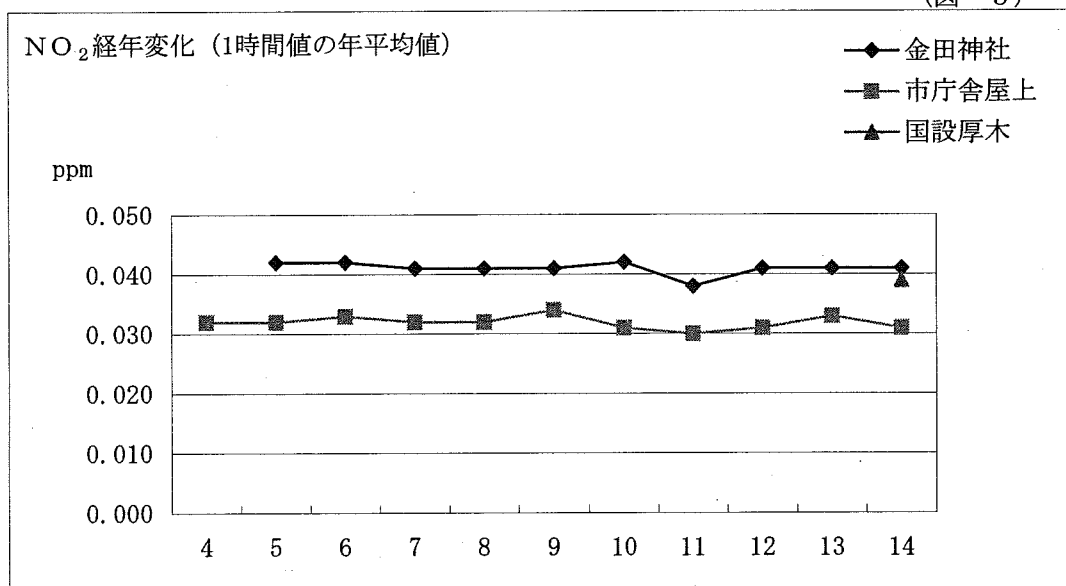
14年度の測定結果は表-5に示すように、市庁舎屋上及び国設厚木において、98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日はなかったが、金田神社では7日記録された。

また、98%評価値が0.04~0.06ppmの範囲日数は、市庁舎屋上が昨年より16日、金田神社が7日減少した。

(表-5)

測定場所	市庁舎屋上	金田神社	国設厚木
有効測定日数	339日	359日	346日
測定時間数	8165時間	8596時間	8210時間
1時間値の年平均値	0.031ppm	0.041ppm	0.039ppm
1時間値の日平均値が0.04~0.06ppmの日数と割合	71日(20.9%)	192日(53.5%)	176日(50.9%)
1時間値の日平均値が0.06ppmを超える日数と割合	1日(0.3%)	14日(3.9%)	2日(0.6%)
98%値評価による日平均値が0.06ppmを超える日数	0日	7日	0日

(図-5)



	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
金田神社	—	0.042	0.042	0.041	0.041	0.041	0.042	0.038	0.041	0.041	0.041
市庁舎屋上	0.032	0.032	0.033	0.032	0.032	0.034	0.031	0.030	0.031	0.033	0.031
国設厚木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.039

⑤光化学オキシダント (Ox)

光化学オキシダントは、工場・事業場の燃焼施設や自動車の排出ガスなどに含まれている窒素酸化物と、ガス状の炭化水素系の物質が紫外線を受けて光化学反応を起こして生成される光化学スモッグの原因物質といわれている。

この物質は、濃度が高くなると、目やのどに対して刺激を与えたり、植物を枯らす等の被害を与えることで知られている。

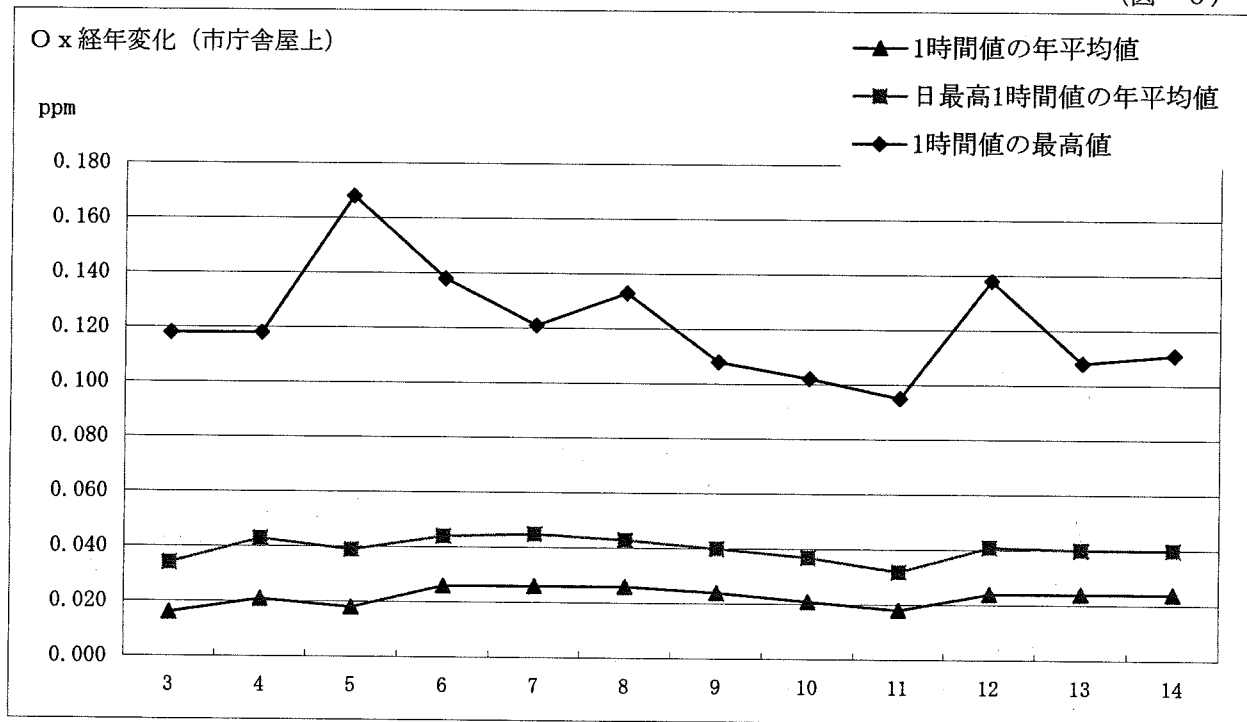
環境基準は、「1時間値が0.06ppm以下であること」と定められている。

14年度の測定結果（午前5時から午後8時の報告）は表-6に示すように、市庁舎屋上において環境基準を超えたのは49日、196時間であり、昨年より増加した。また、光化学スモッグ注意報の発令基準である0.12ppmを超えた日数及び時間はなく、昨年と同様であった。

(表-6)

昼間の1時間値	
測定場所	市庁舎屋上
有効測定日数	364日
測定時間数	5295時間
日最高1時間値の年平均値	0.024ppm
1時間値が0.06ppmを超えた日数及び時間とその割合	49日、196時間
1時間値が0.12ppmを超えた日数及び時間	0日、0時間
1時間値の年最高値	0.111ppm

(図-6)



年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1時間値の年平均値	0.016	0.021	0.018	0.026	0.026	0.026	0.024	0.021	0.018	0.024	0.024	0.024
日最高1時間値の年平均値	0.034	0.043	0.039	0.044	0.045	0.043	0.040	0.037	0.032	0.041	0.040	0.040
1時間値の最高値	0.118	0.118	0.168	0.138	0.121	0.133	0.108	0.102	0.095	0.138	0.108	0.111

	測定項目 [単位]	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
市庁舎屋上	二酸化硫黄 (SO ₂) [ppm]	0.008	0.008	0.009	0.008	0.007	0.007	0.008	0.008	0.006	0.006	0.005	0.006	0.007	0.006
	一酸化炭素 (CO) [ppm]	0.8	0.8	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	—	—	—	—	—
	浮遊粒子状物質 (SPM) [mg/m ³]	0.059	0.051	0.053	0.049	0.045	0.047	0.050	0.048	0.049	0.047	0.041	0.041	0.040	0.036
	二酸化窒素 (NO ₂) [ppm]	0.031	0.031	0.032	0.032	0.032	0.033	0.032	0.032	0.034	0.031	0.030	0.031	0.033	0.031
	オキシダント (Ox) [ppm]	0.015	0.014	0.016	0.021	0.018	0.021	0.022	0.021	0.020	0.018	0.018	0.024	0.024	0.024
金田神社	一酸化炭素 (CO) [ppm]	中央通りから測定局移設				1.5	1.4	1.4	1.4	1.2	1.3	1.1	1.1	1.1	1.0
	浮遊粒子状物質 (SPM) [mg/m ³]					0.075	0.078	0.080	0.080	0.075	0.058	0.055	0.054	0.052	0.045
	二酸化窒素 (NO ₂) [ppm]					0.042	0.042	0.041	0.041	0.041	0.042	0.038	0.041	0.041	0.041
国設厚木	一酸化炭素 (CO) [ppm]													1.0	
	浮遊粒子状物質 (SPM) [mg/m ³]													平成14年度に新設	0.051
	二酸化窒素 (NO ₂) [ppm]														0.039

⑥ 市内測定点の項目別経年変化表（1時間値の年平均値）

（表-7）

※ —は調査を終了した。

(3) 市の自動測定機によるオキシダント濃度調査

①玉川中学校におけるオキシダント濃度調査

調査期間 平成14年4月1日～平成15年3月31日

調査場所 厚木市小野301番地の10 市立玉川中学校

測定方法 島津製作所製UVAD-1000Aによる乾式方法で測定した。この測定局は、昭和59年7月から湿式による測定を開始し、平成12年2月から乾式の測定機器による方法に切替えた。

調査結果 14年度のオキシダント濃度を環境基準と比較すると、表-1に示すように0.06ppmを超えた時間数が322時間あった。全測定時間数8266時間に対する割合は3.9%で、昨年度の5.5%と比べ減少した。1時間値が0.06ppmを超えた日数は62日あり、昨年の75日と比べ減少した。

また、注意報発令基準の0.12ppmを超えた日は2日あり、1時間値が0.12ppmを超えた時間数は6時間あった。

なお、1時間値の年平均値は0.023ppmで、昨年より低い結果であった。

最高値は7月4日午後4時の0.144ppmであった。

(表-1)

測定場所	玉川中学校
有効測定日数	346日
測定時間数	8266時間
日最高1時間値の年平均値	0.046ppm
1時間値が0.06ppmを超えた日数及び時間とその割合	62日(17.9%)、322時間(3.9%)
1時間値が0.12ppmを超えた日数及び時間とその割合	2日(0.6%)、6時間(0.1%)
1時間値の年平均値	0.023ppm

オキシダント測定結果(玉川中学校)

(表-2)

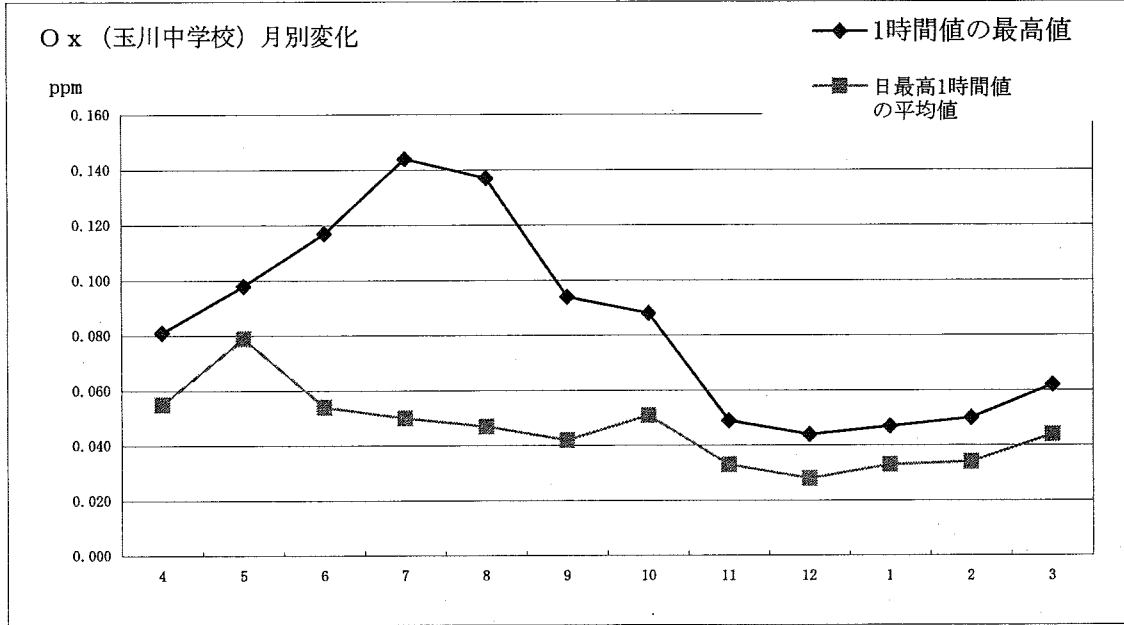
項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	全期間
1時間値の平均値	0.035	0.040	0.028	0.018	0.020	0.020	0.026	0.016	0.014	0.018	0.017	0.028	0.023
1時間値の最高値	0.081	0.098	0.117	0.144	0.137	0.094	0.088	0.049	0.044	0.047	0.050	0.062	0.144
全測定時間	674	356	714	733	740	713	737	714	740	740	666	739	8266
0.06ppmを超える測定時間数	31	61	71	40	51	16	51	0	0	0	0	1	322
割合(%)	4.6	17.1	9.9	5.5	6.9	2.2	6.9	0	0	0	0	0.1	3.9
0.12ppmを超える測定時間数	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6
昼間(5時～20時)の時間数	418	221	444	454	461	444	458	444	461	461	414	460	5140
0.06ppmを超える測定時間数	31	60	68	40	48	16	51	0	0	0	0	1	315
割合(%)	7.4	27.1	15.3	8.8	10.4	3.6	11.1	0	0	0	0	0.2	6.1
0.12ppmを超える測定時間数	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6

玉川中学校におけるオキシダント濃度経年変化

単位ppm (表-3)

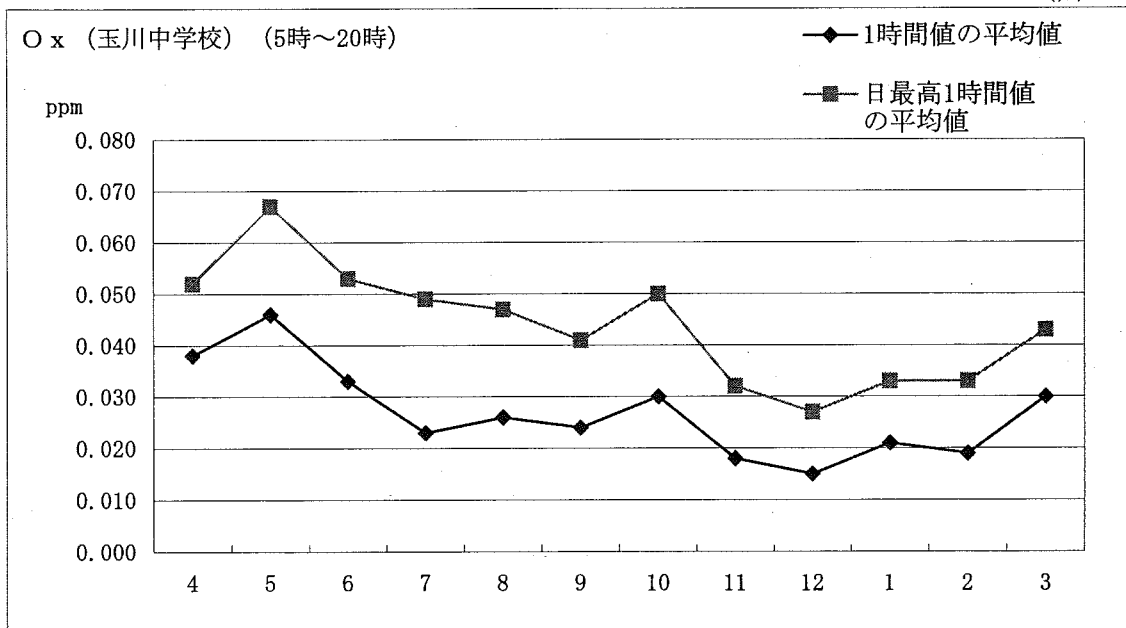
年度	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1時間値の 年平均値	0.025	0.020	0.020	0.018	0.023	0.024	0.025	0.024	0.023	0.018	0.020	0.025	0.024	0.023
4月～10月の 1時間値平均値	0.028	0.027	0.023	0.016	0.024	0.025	0.026	0.027	0.023	0.018	0.019	0.030	0.028	0.027

(図-1)



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の最高値	0.081	0.098	0.117	0.144	0.137	0.094	0.088	0.049	0.044	0.047	0.050	0.062
日最高1時間値の平均値	0.055	0.079	0.054	0.050	0.047	0.042	0.051	0.033	0.028	0.033	0.034	0.044

(図-2)



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の平均値	0.038	0.046	0.033	0.023	0.026	0.024	0.030	0.018	0.015	0.021	0.019	0.030
日最高1時間値の平均値	0.052	0.067	0.053	0.049	0.047	0.041	0.050	0.032	0.027	0.033	0.033	0.043

②北小学校におけるオキシダント濃度調査

調査期間 平成14年4月1日～平成15年3月31日

調査場所 厚木市山際658番地 市立北小学校

測定方法 島津製作所製UVAD-1000Aによる乾式方法で測定した。この測定局は、の測定局は、昭和54年9月から湿式による測定を開始し、平成12年2月から乾式の測定機器による方法に切替えた。

調査結果 14年度のオキシダント濃度を環境基準と比較すると、表-4に示すように0.06ppmを超えた時間数は278時間あった。全測定時間数7699時間に対する割合は3.6%で、昨年度の4.8%と比べ減少した。1時間値が0.06ppmを超えた日数は55日あり、昨年度の79日と比べ減少した。

また、注意報発令基準の0.12ppmを超えた日は4日あり、1時間値の年平均値は0.016ppmとほぼ例年と同じ濃度であった。

最高値は7月4日午後3時の0.149ppmであった。

(表-4)

測定場所	北小学校
有効測定日数	312日
測定時間数	7699時間
日最高1時間値の年平均値	0.045ppm
1時間値が0.06ppmを超えた日数及び時間とその割合	55日(17.6%)、278時間(3.6%)
1時間値が0.12ppmを超えた日数及び時間とその割合	4日(1.3%)、9時間(0.1%)
1時間値の年平均値	0.016ppm

オキシダント測定結果(北小学校)

(表-5)

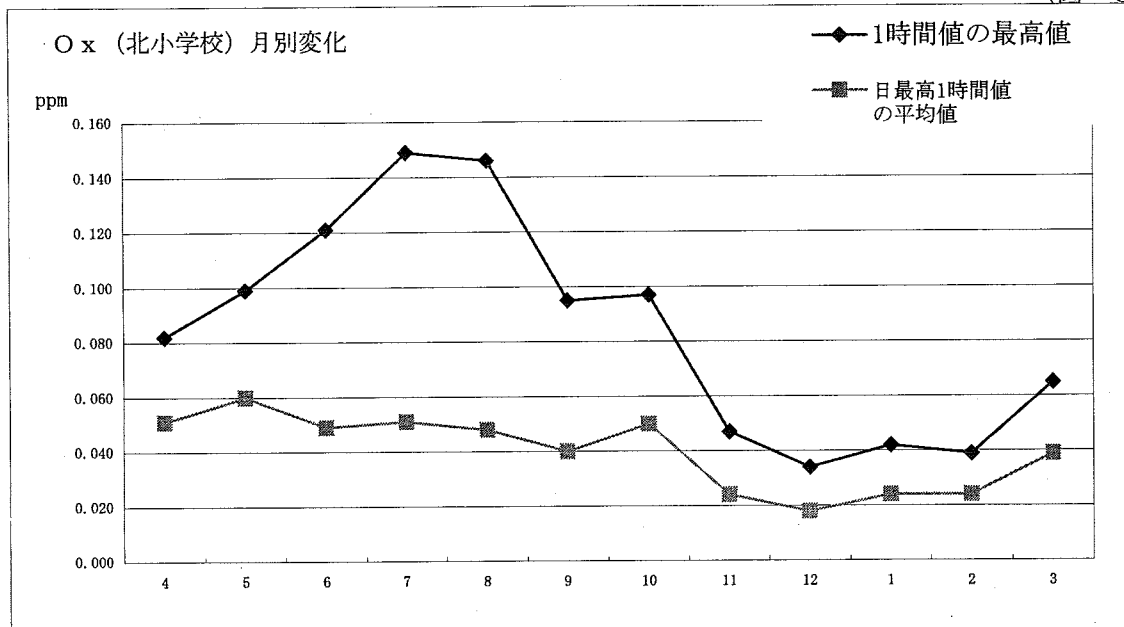
項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	全期間
1時間値の平均値	0.028	0.028	0.023	0.015	0.017	0.014	0.017	0.006	0.005	0.010	0.014	0.020	0.016
1時間値の最高値	0.082	0.099	0.121	0.149	0.146	0.095	0.097	0.047	0.034	0.042	0.039	0.065	0.149
全測定時間	714	653	715	696	680	698	547	671	699	740	148	738	7699
0.06ppmを超える測定時間数	33	65	67	27	38	19	23	0	0	0	0	6	278
割合(%)	4.6	10	9.4	3.9	5.6	2.7	4.2	0	0	0	0	0.8	3.6
0.12ppmを超える測定時間数	0	0	1	3	5	0	0	0	0	0	0	0	9
昼間(5時～20時)の時間数	444	408	445	431	424	433	337	420	436	461	92	459	4790
0.06ppmを超える測定時間数	33	61	64	27	36	19	23	0	0	0	0	6	269
割合(%)	7.4	15.0	14.4	6.3	8.5	4.4	6.8	0	0	0	0	1.3	5.6
0.12ppmを超える測定時間数	0	0	1	3	5	0	0	0	0	0	0	0	9

北小学校におけるオキシダント濃度経年変化

単位ppm (表-6)

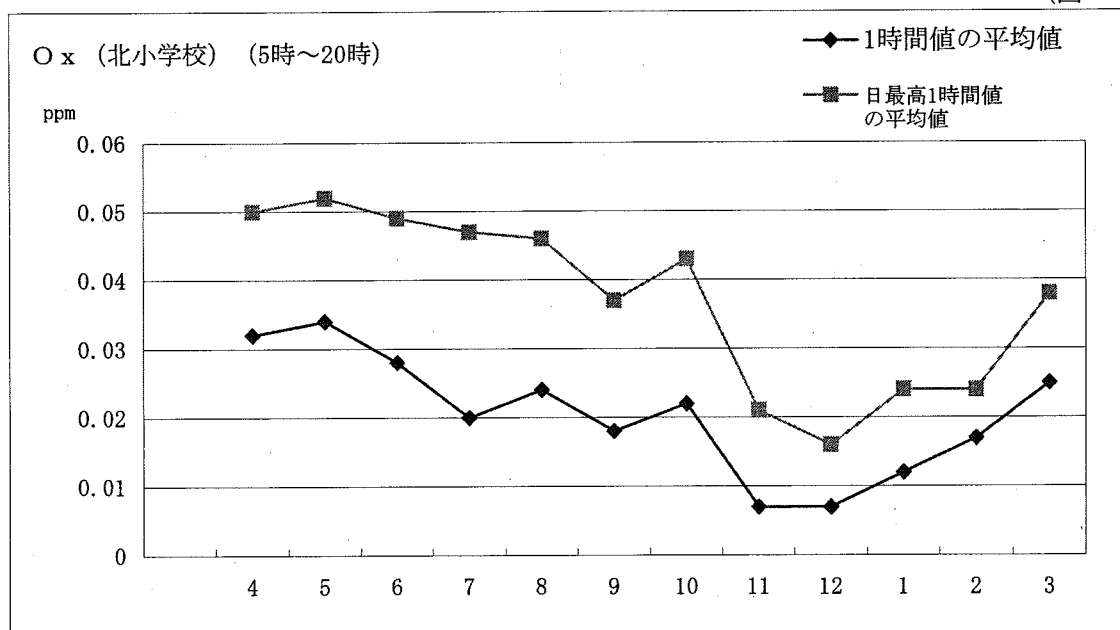
年度	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1時間値の 年平均値	0.017	0.017	0.016	0.018	0.015	0.013	0.015	0.016	0.015	0.012	0.012	0.016	0.019	0.016
4月～10月の 1時間値平均値	0.019	0.020	0.017	0.021	0.016	0.015	0.019	0.017	0.018	0.013	0.014	0.020	0.023	0.020

(図-3)



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の最高値	0.082	0.099	0.121	0.149	0.146	0.095	0.097	0.047	0.034	0.042	0.039	0.065
日最高1時間値 の平均値	0.051	0.060	0.049	0.051	0.048	0.040	0.050	0.024	0.018	0.024	0.024	0.039

(図-4)



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の平均値	0.032	0.034	0.028	0.020	0.024	0.018	0.022	0.007	0.007	0.012	0.017	0.025
日最高1時間値 の平均値	0.050	0.052	0.049	0.047	0.046	0.037	0.043	0.021	0.016	0.024	0.024	0.038

③上荻野小学校におけるオキシダント濃度調査

調査期間 平成14年4月1日～平成15年3月31日

調査場所 厚木市上荻野1429番地 市立上荻野小学校

測定方法 電気化学計器製GXH-72M型全オキシダント自動測定機を使用し、中性ヨウ化カリウム反応液による吸光光度法にて測定。

調査結果 この測定局は、昭和54年9月から測定を開始し、平成2年5月に機器を更新して、現在に至っている。

14年度のオキシダント濃度を環境基準と比較すると、表-7に示すように0.06ppmを超えた時間数が147時間あった。全測定時間数8118時間に対する割合は1.8%で、昨年度の1.6%と比べやや増加した。1時間値が0.06ppmを超えた日数は37日あり、昨年度と同じ日数であった。

また、注意報発令基準の0.12ppmを超えた日数及び時間はなく、昨年と変わっていない。

最高値は8月6日午後3時及び10月5日午後2時の0.102ppmであった。

(表-7)

測定場所	上荻野小学校
有効測定日数	352日
測定時間数	8118時間
日最高1時間値の年平均値	0.036ppm
1時間値が0.06ppmを超えた日数及び時間とその割合	37日(10.5%)、147時間(1.8%)
1時間値が0.12ppmを超えた日数及び時間とその割合	0日(0.0%)、0時間(0%)
1時間値の年平均値	0.020ppm

オキシダント測定結果(上荻野小学校)

(表-8)

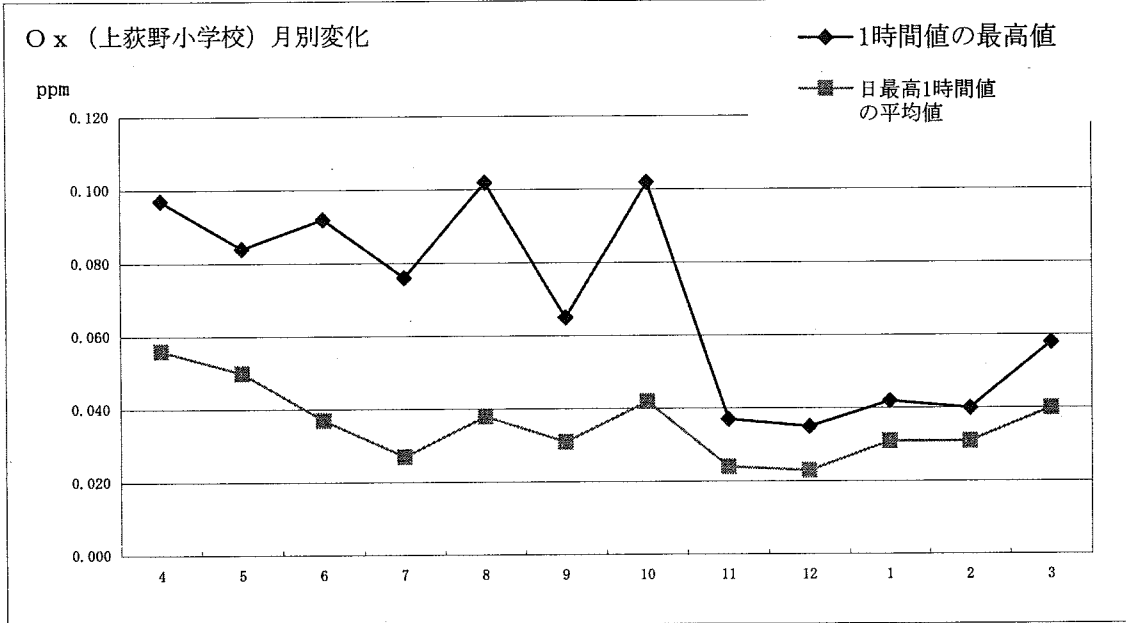
項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	全期間
1時間値の平均値	0.036	0.031	0.020	0.011	0.014	0.016	0.022	0.014	0.013	0.019	0.018	0.027	0.020
1時間値の最高値	0.097	0.084	0.092	0.076	0.102	0.065	0.102	0.037	0.035	0.042	0.040	0.058	0.102
全測定時間	681	702	677	702	543	681	701	683	702	705	637	704	8118
0.06ppmを超える測定時間数	55	31	23	5	9	7	17	0	0	0	0	0	147
割合(%)	8.1	4.4	3.4	0.7	1.7	1.0	2.4	0	0	0	0	0	1.8
0.12ppmを超える測定時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昼間(5時～20時)の時間数	441	454	437	454	350	441	453	443	454	457	413	456	5253
0.06ppmを超える測定時間数	51	31	23	5	9	7	17	0	0	0	0	0	143
割合(%)	11.6	6.8	5.3	1.1	2.6	1.6	3.8	0	0	0	0	0	2.7
0.12ppmを超える測定時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

上荻野小学校におけるオキシダント濃度経年変化

単位ppm (表-9)

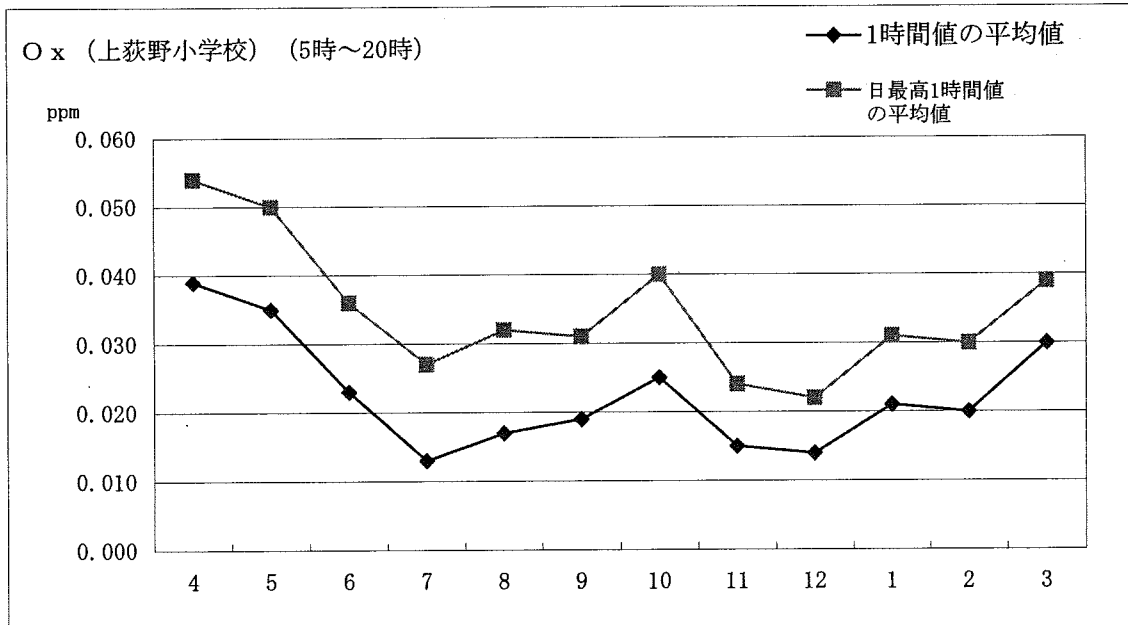
年度	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1時間値の年平均値	0.027	0.027	0.024	0.024	0.021	0.025	0.026	0.025	0.023	0.022	0.024	0.023	0.023	0.020
4月～10月の1時間値平均値	0.029	0.028	0.027	0.028	0.028	0.024	0.027	0.028	0.024	0.020	0.027	0.026	0.023	0.021

(図-5)



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の最高値	0.097	0.084	0.092	0.076	0.102	0.065	0.102	0.037	0.035	0.042	0.040	0.058
日最高1時間値の平均値	0.056	0.050	0.037	0.027	0.038	0.031	0.042	0.024	0.023	0.031	0.031	0.040

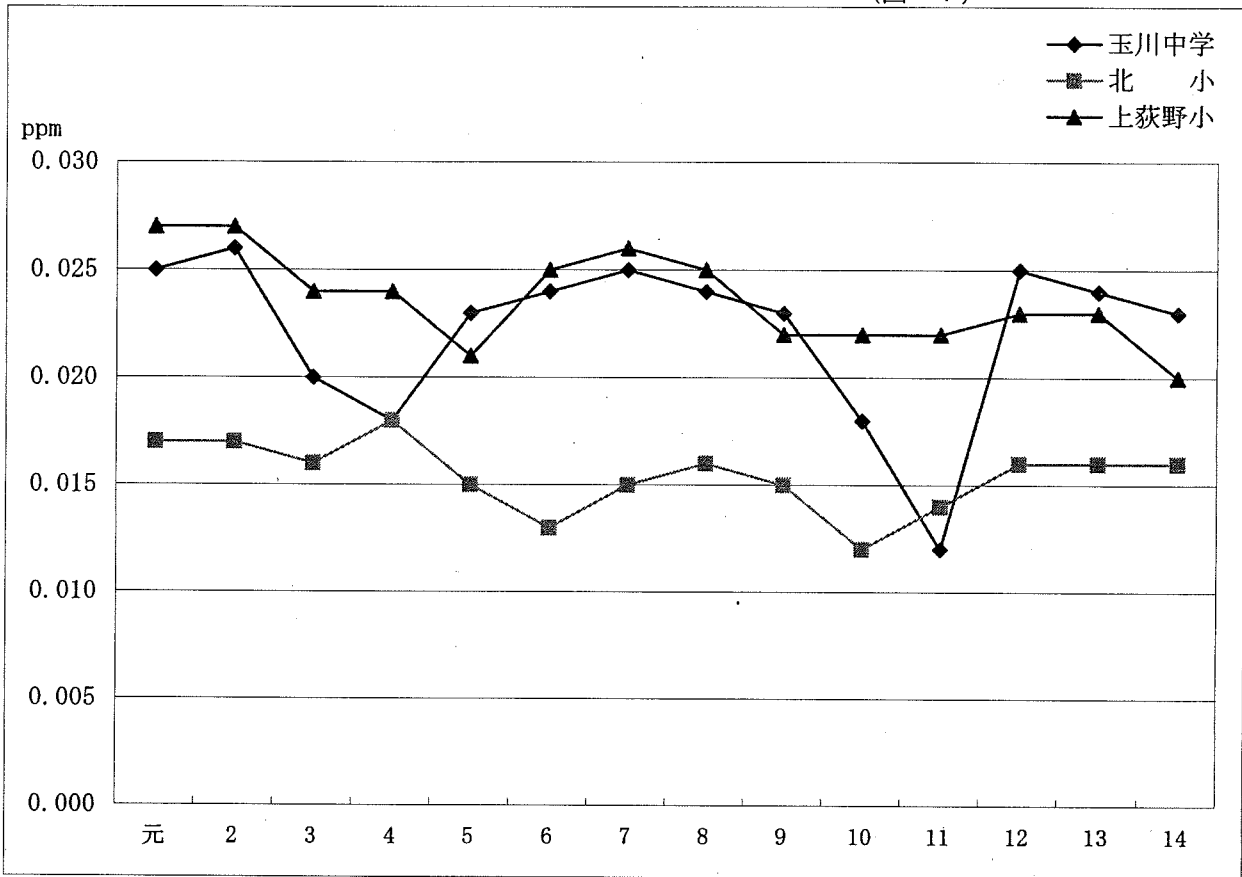
(図-6)



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の平均値	0.039	0.035	0.023	0.013	0.017	0.019	0.025	0.015	0.014	0.021	0.020	0.030
日最高1時間値の平均値	0.054	0.050	0.036	0.027	0.032	0.031	0.040	0.024	0.022	0.031	0.030	0.039

○ x 経年変化 (1時間値の年平均値)

(図-7)



年度	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
玉川中学	0.025	0.026	0.020	0.018	0.023	0.024	0.025	0.024	0.023	0.018	0.012	0.025	0.024	0.023
北小	0.017	0.017	0.016	0.018	0.015	0.013	0.015	0.016	0.015	0.012	0.014	0.016	0.016	0.016
上荻野小	0.027	0.027	0.024	0.024	0.021	0.025	0.026	0.025	0.022	0.022	0.022	0.023	0.023	0.020

測定局名		測定月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	全期間
玉川中学校	1時間値の最高値	0.081	0.098	0.117	0.144	0.137	0.094	0.088	0.049	0.044	0.047	0.050	0.062	0.144	
	1時間値の平均値	0.035	0.040	0.028	0.018	0.020	0.020	0.026	0.016	0.014	0.018	0.017	0.028	0.023	
	日最高1時間値の平均値	0.055	0.079	0.054	0.050	0.047	0.042	0.051	0.033	0.028	0.033	0.034	0.044	0.046	
	環境基準を超えた日数	5	11	12	11	7	5	10	0	0	0	0	1	62	
上荻野小学校	1時間値の最高値	0.097	0.084	0.092	0.076	0.102	0.065	0.102	0.037	0.035	0.042	0.040	0.058	0.102	
	1時間値の平均値	0.036	0.031	0.020	0.011	0.014	0.016	0.022	0.014	0.013	0.019	0.018	0.027	0.020	
	日最高1時間値の平均値	0.056	0.050	0.037	0.027	0.038	0.031	0.042	0.024	0.023	0.031	0.031	0.040	0.036	
	環境基準を超えた日数	10	9	4	3	4	4	3	0	0	0	0	0	37	
北小学校	1時間値の最高値	0.082	0.099	0.121	0.149	0.146	0.095	0.097	0.047	0.034	0.042	0.039	0.065	0.149	
	1時間値の平均値	0.028	0.028	0.023	0.015	0.017	0.014	0.017	0.006	0.005	0.010	0.014	0.020	0.016	
	日最高1時間値の平均値	0.051	0.060	0.049	0.051	0.048	0.040	0.050	0.024	0.018	0.024	0.024	0.039	0.045	
	環境基準を超えた日数	6	11	12	8	6	5	5	0	0	0	0	2	55	

自動測定機によるオキシダント濃度測定結果

(表-10)

(4) 市の自動測定機による窒素酸化物濃度調査

①不燃物処理場跡地における窒素酸化物濃度調査

調査期間 平成14年4月1日～平成15年3月31日

調査場所 厚木市船子262番地 厚木市不燃物処理場跡地

測定方法 島津製作所製CLAD-1000Aによる乾式測定方法で測定した。

この測定局は、昭和55年9月から湿式による測定を開始し、平成12年2月から乾式の測定機器による方法に切替えた。

測定結果 14年度の測定結果は表-1に示すように、98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数は7日であり、昨年より1日増加した。

また、1時間値の年平均値は0.038ppmであり、環境基準の0.4ppm～0.6ppmのゾーンを下回った。

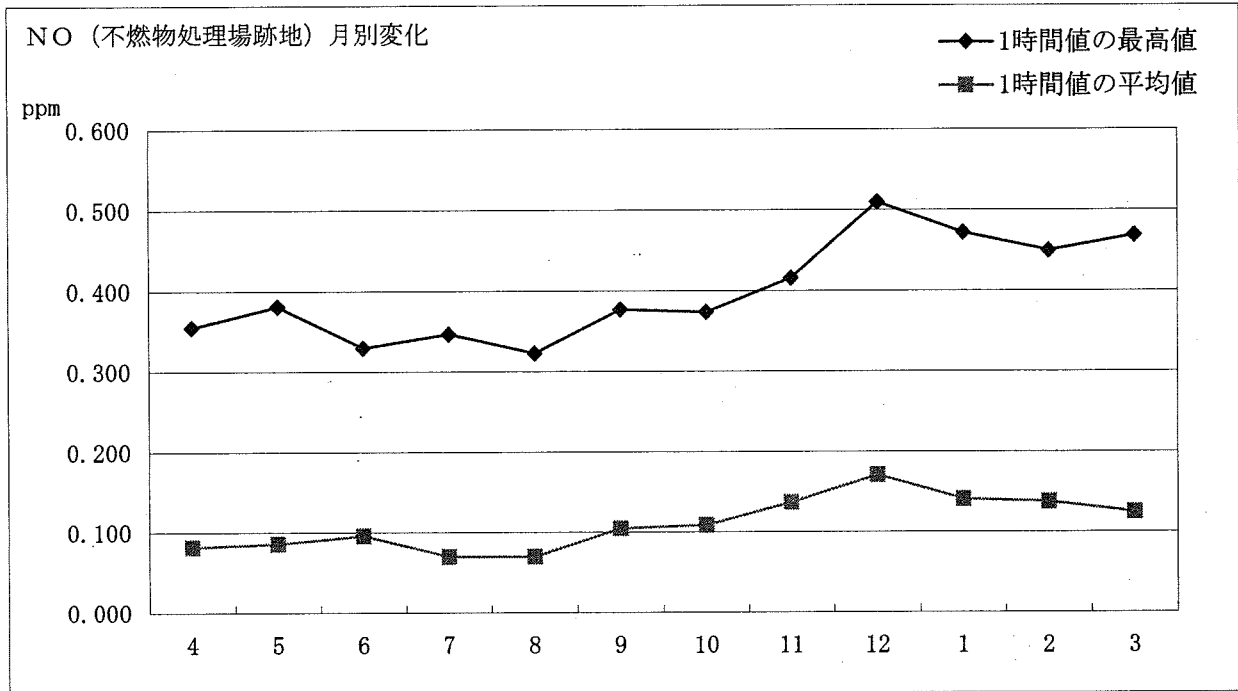
一酸化窒素については環境基準の設定がないが、14年度の1時間値の年平均値は0.111 ppmであり、昨年度と比べわずかに上昇した。

二酸化窒素測定結果 (不燃物処理場跡地)

(表-1)

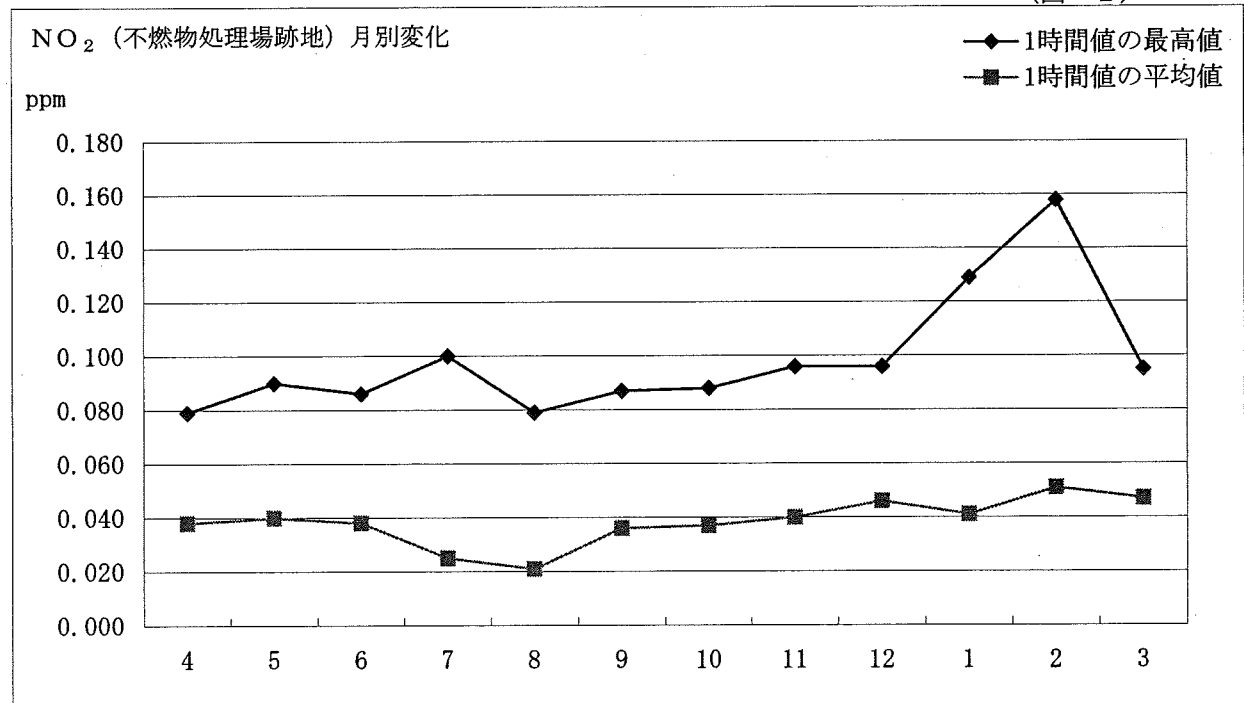
項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	全期間
	1時間値の平均値		0.038	0.040	0.038	0.025	0.021	0.036	0.037	0.040	0.046	0.041	0.051	0.047
1時間値の最高値		0.079	0.090	0.086	0.100	0.079	0.087	0.088	0.096	0.096	0.129	0.158	0.095	0.158
日平均値の98%値		0.052	0.053	0.050	0.046	0.046	0.058	0.047	0.055	0.058	0.062	0.063	0.059	0.054
全測定	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	(時間数)	713	738	714	736	733	711	738	715	738	739	662	738	8675
日平均値0.06ppmを超えた日数		0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	7
割合 (%)		0	0	0	0	0	0	0	0	3.2	6.5	10.7	3.2	1.9

(図-1)



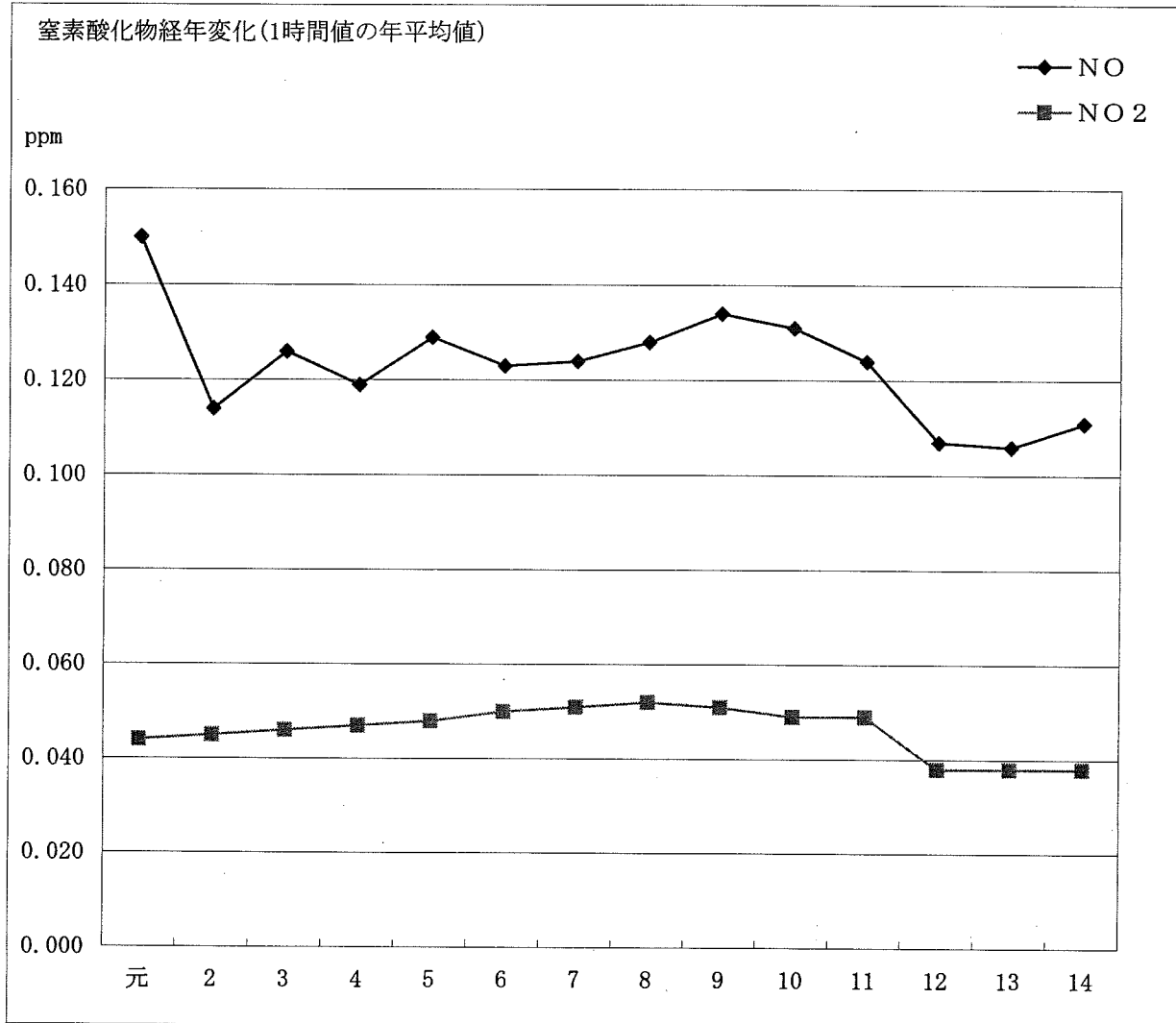
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の最高値	0.355	0.381	0.330	0.347	0.323	0.377	0.374	0.416	0.510	0.472	0.450	0.469
1時間値の平均値	0.082	0.086	0.096	0.070	0.070	0.105	0.109	0.137	0.171	0.141	0.138	0.125

(図-2)



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の最高値	0.079	0.090	0.086	0.100	0.079	0.087	0.088	0.096	0.096	0.129	0.158	0.095
1時間値の平均値	0.038	0.040	0.038	0.025	0.021	0.036	0.037	0.040	0.046	0.041	0.051	0.047

(図-3)



年度	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
NO	0.150	0.114	0.126	0.119	0.129	0.123	0.124	0.128	0.134	0.131	0.124	0.107	0.106	0.111
NO ₂	0.044	0.045	0.046	0.047	0.048	0.050	0.051	0.052	0.051	0.049	0.049	0.038	0.038	0.038

②緑ヶ丘小学校における窒素酸化物濃度調査

調査期間 平成14年4月1日～平成15年3月31日

調査場所 厚木市緑ヶ丘4-1-1 市立緑ヶ丘小学校

測定方法 電気化学計器製GPH-74M-1型窒素酸化物自動測定機を使用し、ザルツマン試薬を用いる吸光光度法にて測定した。

この測定局は、昭和60年9月から測定を開始し、平成4年8月に機器の更新を行い、現在に至っている。

測定結果 14年度の測定結果は表-2に示すように、98%値評価による日平均値が0.06ppmを超える日数は1日もなく、昨年と同様、環境基準を満足する状況であった。また、1時間値の年平均値は0.020ppmであり、昨年と同値であった。

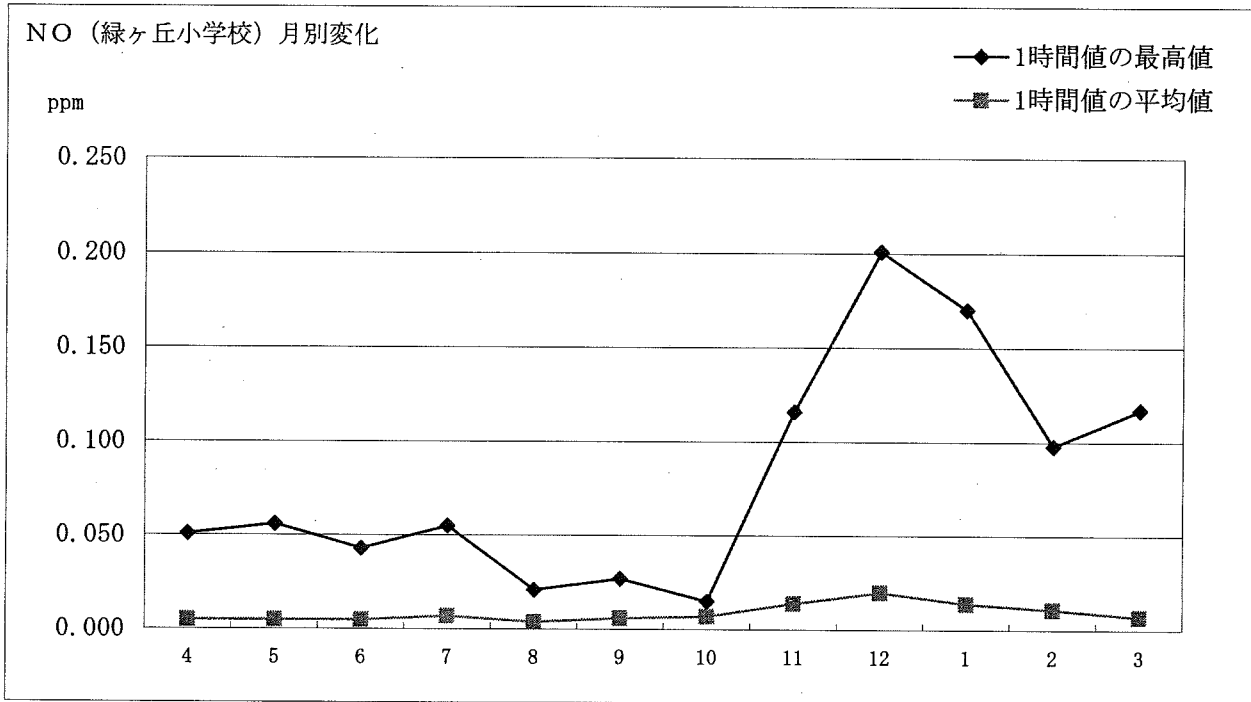
一酸化窒素については環境基準の設定がないが、14年度の1時間値の年平均値は0.009ppmであり、昨年と変わらない結果であった。

二酸化窒素測定結果（緑ヶ丘小学校）

(表-2)

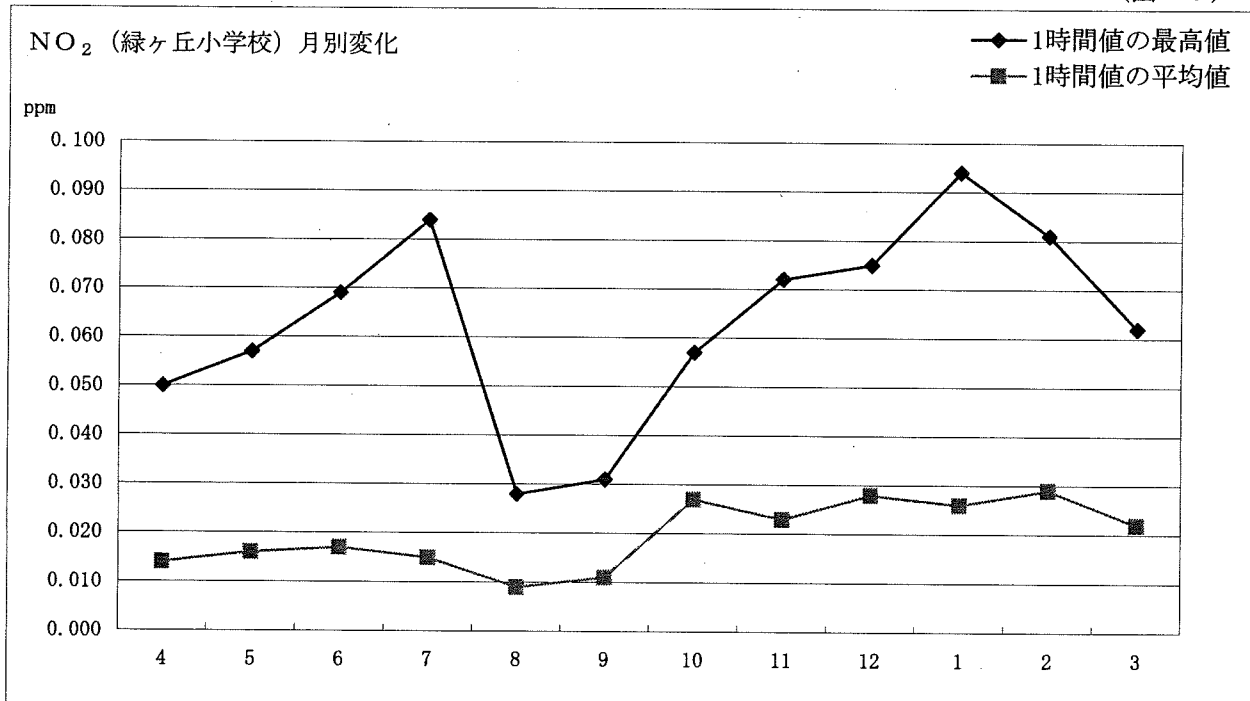
項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	全期間
	1時間値の平均値		0.014	0.016	0.017	0.015	0.009	0.011	0.027	0.023	0.028	0.026	0.029	0.022
1時間値の最高値		0.050	0.057	0.069	0.084	0.028	0.031	0.057	0.072	0.075	0.094	0.081	0.062	0.094
日平均値の98%値		0.025	0.031	0.030	0.034	0.016	0.020	-	0.037	0.038	0.042	0.044	0.035	0.032
全測定	日数	30	31	30	31	22	7	0	30	31	31	28	29	300
	(時間数)	716	737	713	737	552	165	7	715	740	740	667	712	7201
日平均値0.06ppmを超えた日数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
割合 (%)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(図-4)



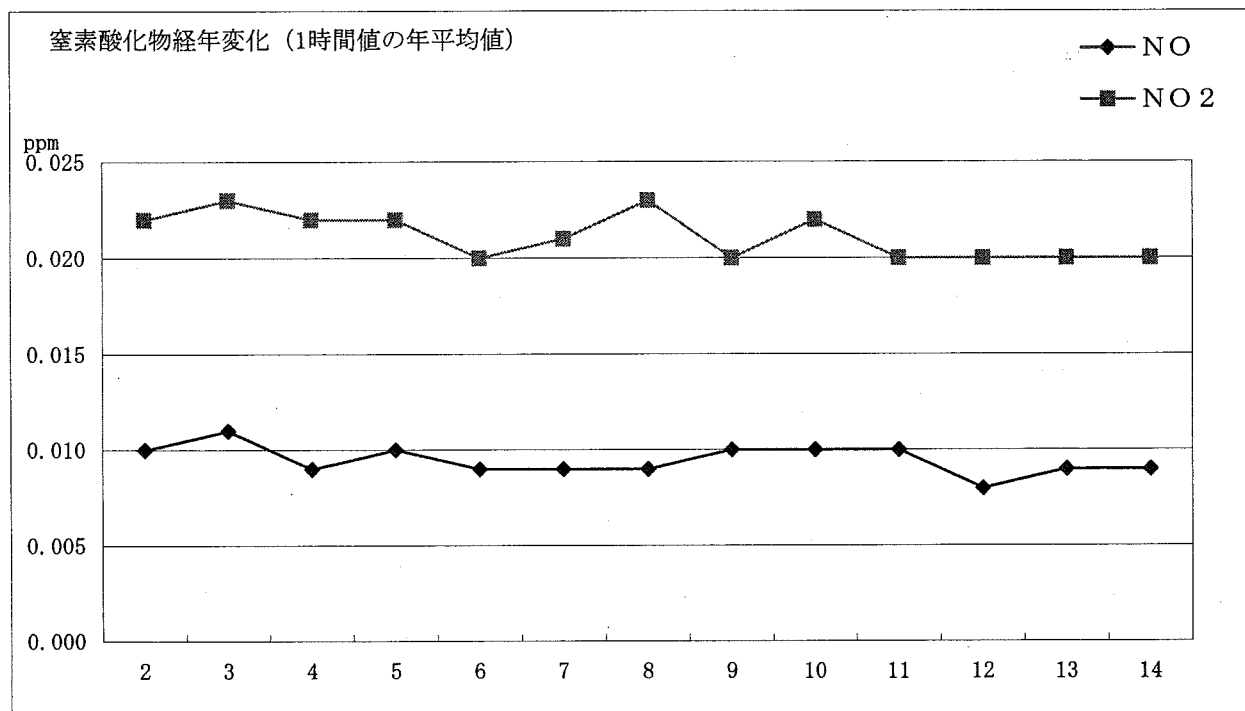
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の最高値	0.051	0.056	0.043	0.055	0.021	0.027	0.015	0.116	0.201	0.170	0.098	0.117
1時間値の平均値	0.005	0.005	0.005	0.007	0.004	0.006	0.007	0.014	0.020	0.014	0.011	0.007

(図-5)



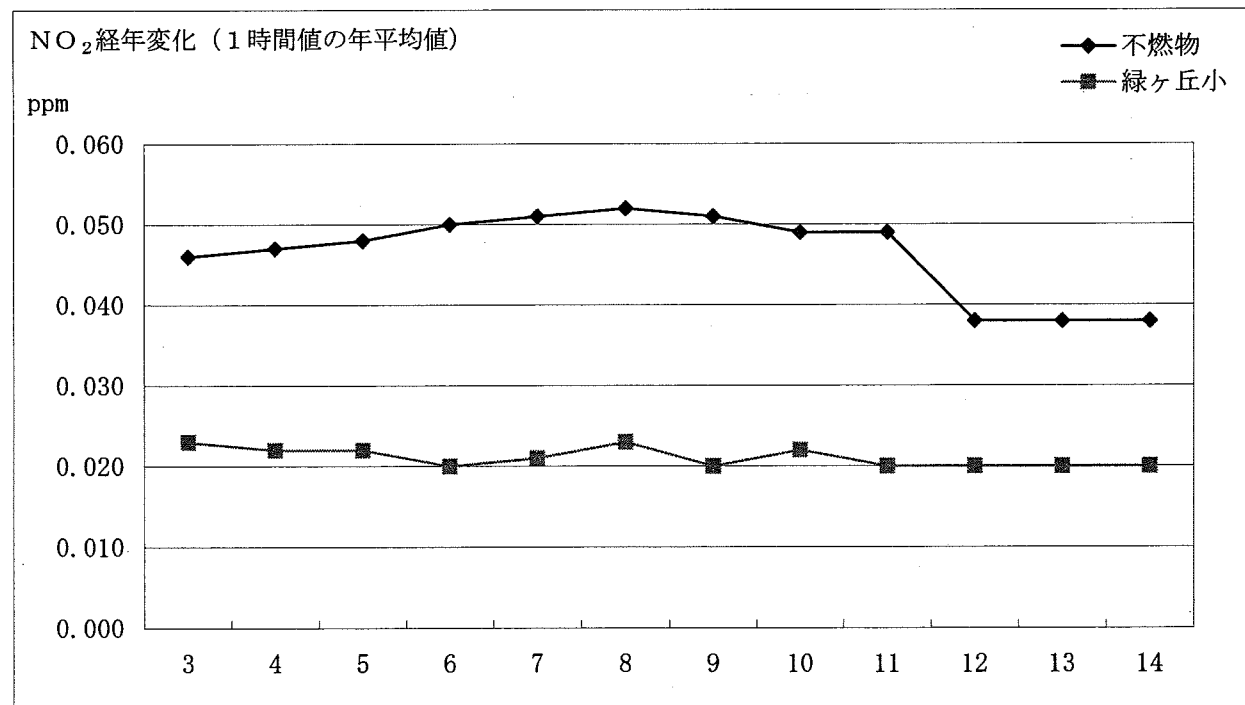
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の最高値	0.050	0.057	0.069	0.084	0.028	0.031	0.057	0.072	0.075	0.094	0.081	0.062
1時間値の平均値	0.014	0.016	0.017	0.015	0.009	0.011	0.027	0.023	0.028	0.026	0.029	0.022

(図-6)



年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
NO	0.010	0.011	0.009	0.010	0.009	0.009	0.009	0.010	0.010	0.010	0.008	0.009	0.009
NO ₂	0.022	0.023	0.022	0.022	0.020	0.021	0.023	0.020	0.022	0.020	0.020	0.020	0.020

(図-7)



年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
不燃物	0.045	0.046	0.047	0.048	0.050	0.051	0.052	0.051	0.049	0.049	0.038	0.038	0.038
緑ヶ丘小	0.022	0.023	0.022	0.022	0.020	0.021	0.023	0.020	0.022	0.020	0.020	0.020	0.020

測定局名		測定月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	全期間
		不燃物処理場跡地	1時間値の最高値	0.079	0.090	0.086	0.100	0.079	0.087	0.088	0.096	0.096	0.129	0.158	0.095
1時間値の平均値	0.038		0.040	0.038	0.025	0.021	0.036	0.037	0.040	0.046	0.041	0.051	0.047	0.038	
日平均値の最高値	0.052		0.053	0.050	0.046	0.046	0.058	0.047	0.055	0.058	0.062	0.063	0.059	0.064	
日平均値 0.06ppm を超えた日数	0		0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	7	
緑ヶ丘小学校	1時間値の最高値	0.050	0.057	0.069	0.084	0.028	0.031	0.057	0.072	0.075	0.094	0.081	0.062	0.094	
	1時間値の平均値	0.014	0.016	0.017	0.015	0.009	0.011	0.027	0.023	0.028	0.026	0.029	0.022	0.020	
	日平均値の最高値	0.025	0.031	0.030	0.034	0.016	0.020	-	0.037	0.038	0.042	0.044	0.035	0.051	
	日平均値 0.06ppm を超えた日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

自動測定機による窒素酸化物濃度測定結果 (二酸化窒素) (表-3)

(5) 光化学スモッグ

昭和45年東京都に発生した光化学スモッグは、翌昭和46年、厚木市立玉川中学校の生徒にも被害が発生し、全国的に大きな社会問題となった。

光化学スモッグ発生メカニズムは十分解明されたとは言えないが、工場や自動車の排ガスなどに含まれている窒素酸化物と、ガス状の炭化水素系物質が太陽の紫外線のもとで光化学反応を起こして二次的産物である光化学オキシダントを生成し、これが光化学スモッグの原因となって目やのどに対する刺激や、植物が枯れる等の被害が発生すると言われている。

光化学スモッグの発生は気象条件に左右されやすく、次のような条件が重なる夏期は特に発生しやすい。

- ・天候が晴れで日射量が多い
- ・風速が3m/秒未満
- ・視界が悪く4~6km以下
- ・最高気温が25℃以上

光化学スモッグ緊急時の発令基準

(表-1)

予 報			注 意 報	警 報	重大緊急時警報
前 日 (午後5時)	当 日 (午前10時)	特 別 (随時)			
注意報の発令基準の程度に汚染するおそれがあると予測した時			1時間値0.12ppm以上である大気汚染の状態になった時	1時間値0.24ppm以上である大気汚染の状態になった時	1時間値0.4ppm以上である大気汚染の状態になった時

①光化学スモッグ注意報発令状況

神奈川県では4月から10月までの7ヶ月間を光化学スモッグの発令期間としている。

平成14年度は県下に11回緊急時措置(注意報)が発令され、うち厚木市の属する県央地域には4回発令された。

県下における発令回数は減少傾向にあったが、平成12年度に急増した。

なお、平成4年度以降は、市内において被害者は出ていない。

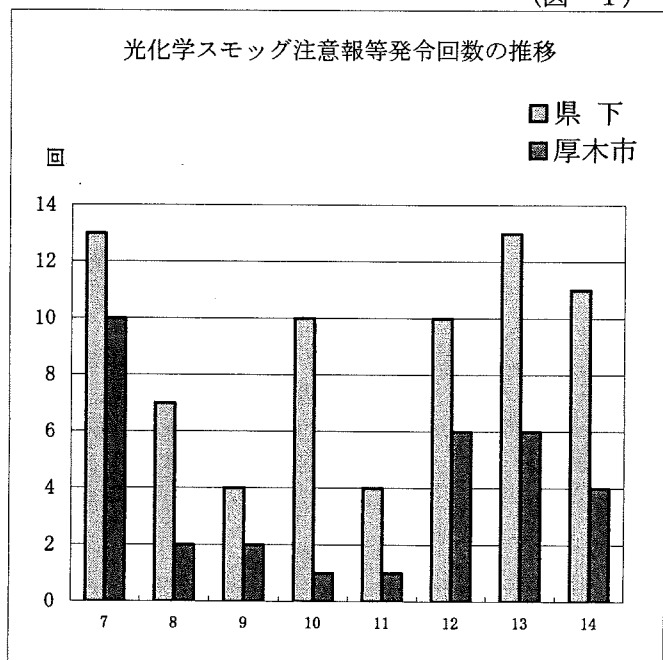
※ 県央地域とは、厚木市・相模原市・座間市・大和市・伊勢原市・秦野市・海老名市・綾瀬市・愛川町の区域を示す。

②平成14年度光化学スモッグ注意報発令状況（県央地域）

(表-2)

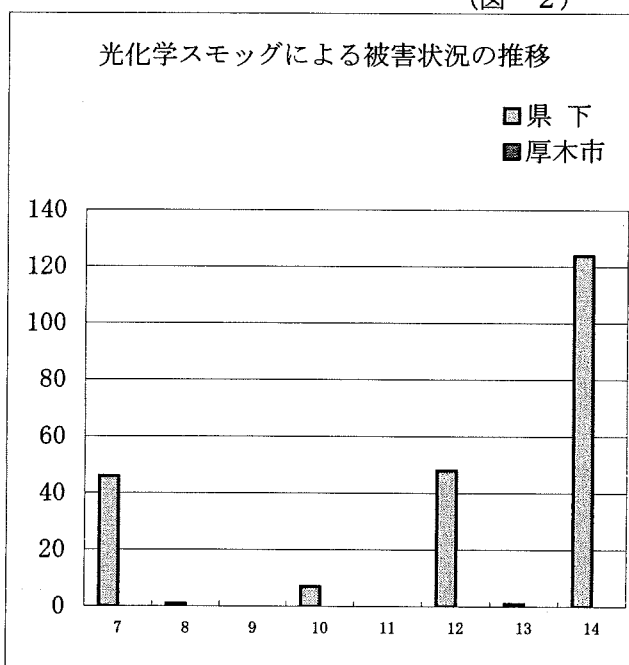
回数	発令日	発令時刻 ～解除時刻	発令場所	Ox最高濃度	
				(ppm)	時間
1	7月4日(水)	14:30～17:00	相模原市橋本	0.155	15:00
2	7月23日(火)	15:20～16:30	相模原市田名	0.124	15:00
3	8月5日(月)	14:20～17:00	相模原市相模台	0.134	15:00
4	8月6日(火)	13:20～17:00	相模原市相模台	0.175	15:00

(図-1)



年度	7	8	9	10	11	12	13	14
県下	13	7	4	10	4	10	13	11
厚木市	10	2	2	1	1	6	6	4

(図-2)



年度	7	8	9	10	11	12	13	14
県下	46	1	0	7	0	48	1	124
厚木市	0	0	0	0	0	0	0	0

③光化学スモッグ対策

光化学スモッグによる被害防止のため、神奈川県では、昭和46年5月に「光化学公害緊急時の暫定措置要綱」を定め、緊急時の体制を整備するとともに、47年6月には「神奈川県大気汚染緊急時措置要綱」を制定施行した。厚木市においても、昭和46年7月に「厚木市光化学スモッグ公害対策実施要綱」を定めた。その後、更にこの体制を強化するため、昭和58年4月に全面改正を行ない、新たに「厚木市光化学スモッグ緊急時対策実施要綱」とし、県から注意報等の緊急措置が発令された際の被害防止の措置を定めている。

光化学スモッグによる被害防止対策として、県からの注意報発令等の情報を、次のような方法で周知している。

●防災行政無線による放送

市内267箇所に設置された、無線網を使用する。昭和57年度から運用を開始した。

●インターネットによる情報公開 (URL <http://www.city.atsugi.kanagawa.jp/>)

厚木市のホームページ「マイタウンあつぎ情報システム」に光化学スモッグ注意報発令情報を掲載する。

●表示板の掲示

市内35箇所に「光化学スモッグ注意報発令中」等の表示板を掲出する。

掲出場所：市庁舎・第二庁舎、市消防本部、総合福祉センター、保健センター・女性センター、市役所駅連絡所（本厚木駅）、愛甲石田駅連絡所、文化会館、七沢自然教室、中央図書館、市立公民館（15館）、荻野運動公園、市営グラウンド、市営玉川野球場、及川球技場、南毛利テニスコート、資源化センター、勤労福祉センター

●神奈川県テレホンサービス（電話番号：0463-24-3322）

4月から10月までの期間、注意報発令情報等を自動音声により毎日提供している。

●報道機関に対する情報提供

注意報等が発令された場合に、神奈川県環境農政部大気水質課が記者発表を行なう。

●小・中学校への周知

環境総務課から市教育委員会保健給食課を通じて周知する。なお、市内の高校へは、県大気水質課が緊急時連絡網によって周知する。

●保育園・保育所

環境総務課から児童福祉課を通じて周知する。

●幼稚園

環境総務課から周知する。

緊急時等の措置

(表-3)

予 報		注 意 報	警 報	重大緊急時 警 報
前 日	当日及び特別			
<p>1. ばい煙排出者に対し、 (1) ばい煙発生施設の燃焼管理を徹底し、不要不急の燃焼を中止すること (2) 翌日午前6時から通常燃料使用量の削減若しくは、同程度の措置、燃焼を伴わずに窒素酸化物が発生する作業の自粛及び炭化水素系物質を取り扱っている場合は、その排出防止に努めること について協力を要請する。</p> <p>2. 一般県民に対し (1) 自動車の使用の自粛 (2) 学童、生徒の特に過激な運動の自粛 について協力を要請する。</p>	<p>1. 主要ばい煙排出者に対し、ばい煙減少計画の注意報段階の措置を実施することについて協力を要請する。</p> <p>2. 1以外のばい煙排出者に対し、 (1) ばい煙発生施設の燃焼管理を徹底すること (2) 不要不急の燃焼を中止すること について協力を要請する。</p> <p>3. 一般県民に対し (1) 自動車の使用の自粛 (2) 学童、生徒の特に過激な運動の自粛 について協力を要請する。</p>	<p><第一種措置></p> <p>1. 主要ばい煙排出者に対し、 (1) 原則として、通常燃料使用量の20%減若しくは、それと同程度の効果を有する措置をとること (2) 燃料の燃焼を伴わず、窒素酸化物が発生する施設の場合にあっては、その施設の作業を自粛すること (3) 炭化水素系物質を取り扱っている場合（貯蔵を含む。）は、その排出防止に努めること を勧告する。</p> <p>2. 1以外のばい煙排出者に対し、 (1) ばい煙発生施設の燃焼管理を徹底すること (2) 不要不急の燃焼を中止すること を勧告する。</p> <p>3. 自動車使用者に対し、必要に応じ発令地域を通過しないことを要請する。</p> <p>4. 一般県民に対し (1) 自動車の使用、外出の自粛 (2) 学童、生徒の過激な運動の自粛 を要請する。</p>	<p><第二種措置></p> <p>1. 主要ばい煙排出者に対し、 (1) 原則として、通常燃料使用量の25%減若しくは、それと同程度の効果を有する措置をとること (2) 燃料の燃焼を伴わず、窒素酸化物が発生する施設の場合にあっては、その施設の作業を自粛すること (3) 炭化水素系物質を取り扱っている場合（貯蔵を含む。）は、その排出防止に努めること を勧告する。</p> <p>2. 1以外のばい煙排出者に対し、 (1) ばい煙発生施設の燃焼管理を徹底すること (2) 不要不急の燃焼を中止すること を勧告する。</p> <p>3. 自動車使用者に対し、必要に応じ発令地域を通過しないことを要請する。</p> <p>4. 一般県民に対し (1) 自動車の使用、外出の自粛 (2) 学童、生徒の過激な運動の中止 を要請する。</p>	<p><第三種措置></p> <p>1. 主要ばい煙排出者に対し、 (1) 原則として、通常燃料使用量の40%減若しくは、それと同程度の効果を有する措置をとることを命令する。 (2) 燃料の燃焼を伴わず、窒素酸化物が発生する施設の場合にあっては、その施設の作業中止を勧告する。 (3) 炭化水素系物質を取り扱っている場合（貯蔵を含む。）は、その作業の中止を勧告する。</p> <p>2. 必要に応じ公安委員会に対し、道路交通法の規定による措置をとることを要請する。</p> <p>3. 一般県民に対し (1) 自動車の使用、外出の自粛 (2) 学童、生徒の屋外運動の中止 を要請する。</p>

(6) ダイオキシン類環境調査

物を燃やしたり、塩素を含む有機化合物を製造する過程等で、副生成物として自然に生成されてしまうダイオキシン類は、特に廃棄物の焼却施設から大気中に放出されるものが最大の要因とされている。

煙などと一緒に空気中に排出されたダイオキシンは、次第に地面に落ち、土砂とともに強い雨などにより河川や海に流出し、プランクトンから始まる食物連鎖を通じて、次第に魚介類の体内に蓄積されるものと考えられている。また、ダイオキシンが植物の葉に付着する場合があります、これらをえさとする動物の体の中にも取り込まれるものと考えられている。このような結果、ダイオキシンを含む食品を食べたり、ダイオキシンを含む空気を吸ったりすることにより人体に取込まれるものと考えられている。

ダイオキシン類対策特別措置法は平成11年7月に制定され、大気、水質、土壌に係る環境基準が定められ、平成12年1月15日から基準が適用されることとなった。

市内における大気中のダイオキシン濃度は平成10年度から調査を開始し、表-1に示すように14年度の平均値は、 $0.11\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ であり、大気環境基準値 $0.60\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ を下回る結果であった。

(表-1)

14年度 単位：pg-TEQ/m³

調査月	調査場所：厚木市役所
14年5月	0.092
14年8月	0.10
14年11月	0.14
15年2月	0.12
平均値	0.11

13年度

調査月	調査場所：厚木市役所
13年5月	0.14
13年8月	0.15
13年11月	0.75
14年2月	0.35
平均値	0.35

12年度

調査月	調査場所：厚木市役所
12年5月	0.29
12年8月	0.17
12年11月	0.12
13年2月	0.23
平均値	0.20

11年度

調査月	調査場所：厚木市役所
11年5月	0.39
11年8月	0.17
11年11月	0.55
12年2月	0.10
平均値	0.30

(7) 有害大気汚染モニタリング調査結果

有害大気汚染物質は、「継続的に摂取されると、人の健康を損なう恐れがある物質で大気汚染の原因となるもの」（大気汚染防止法第2条第9項）と定義されるもので、この有害大気汚染物質による健康被害の未然防止を目的として改正された大気汚染防止法が平成9年4月1日から施行されたことにより、平成9年度から調査が実施された。

平成14年度は一般環境調査地点11箇所、固定発生源周辺7箇所、沿道5箇所の合計22箇所の調査を神奈川県等が実施した。

厚木市は、市役所屋上が一般環境調査地点となっており、14年度は表-1に示すようにベンゼンを含め19物質の調査が年12回行われ、環境基準値の定められている4物質は基準を満足している結果であった。

なお、環境基準値の定めのない15物質については、県内他の調査場所とほぼ同じかやや上回る濃度であった。

単位… $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (表-1)

物質名	14年度結果	14年度県内平均	環境基準	13年度結果
ベンゼン	2.1	2.2	3	2.5
トリクロロエチレン	1.2	1.3	200	1.2
テトラクロロエチレン	0.68	0.86	200	0.7
ジクロロメタン	4.7	4.2	150	5.0
アクリロニトリル	0.069	0.097	—	0.055
塩化ビニルモノマー	0.048	0.065	—	0.064
クロロホルム	0.18	0.22	—	0.28
1,2-ジクロロエタン	0.085	0.099	—	0.11
1,3-ブタジエン	0.25	0.26	—	0.40
アセトアルデヒド	3.6	2.8	—	4.6
ホルムアルデヒド	4.7	3.5	—	5.2
水銀及びその化合物	2.3	2.1	—	0.9
ニッケル化合物	8.3	5.3	—	5.5
ヒ素及びその化合物	2.6	1.5	—	1.5
ベリリウム及びその化合物	0.052	0.047	—	0.018
マンガン及びその化合物	41	35	—	27
クロム及びその化合物	8.5	5.0	—	4.4
ベンゾ [a] ピレン	0.58	0.34	—	0.34
酸化エチレン	0.11	0.098	—	0.076

重金属類および、ベンゾ [a] ピレンの単位は ng/m^3

●有害大気汚染物質について

物質名	用途	毒性
ベンゼン	有機合成原料、絶縁油、染料・合成ゴム、スチレンモノマー等原料、溶剤	麻酔作用、造血機能障害 発ガン性
トリクロロエチレン	金属脱脂洗浄、各種溶剤、殺虫剤、羊毛脱脂洗浄	麻酔作用、神経障害
テトラクロロエチレン	脱脂洗浄剤、ドライクリーニング溶剤、香料、各種溶剤	めまい、頭痛、肝機能障害
ジクロロメタン	ペイントはく離剤、金属脱脂洗浄剤、冷媒、抽出溶剤	麻酔作用、めまい、吐き気
アクリロニトリル	アクリル系合成繊維、合成ゴム、合成樹脂原料、塗料	めまい、嘔吐、中枢神経系麻痺、腹痛、下痢、皮膚炎
塩化ビニルモノマー	ポリ塩化ビニル原料	麻酔作用、発ガン性
クロロホルム	フッ素系冷媒・樹脂原料、溶剤、有機合成原料、血液防腐剤、麻酔剤等	麻酔作用、肝機能障害、消化器障害
1,2-ジクロロエタン	塩化ビニルモノマー原料	肝・腎・副腎障害、中枢神経抑制作用、消化器障害
1,3-ブタジエン	合成ゴム原料、ABS樹脂原料、ナイロン66原料	頭痛、めまい、耳鳴り、意識障害
アセトアルデヒド	有機合成原料、防腐剤、写真現像溶液、燃料配合剤	結膜炎、気管支炎、肺浮腫、麻酔作用
ホルムアルデヒド	合成樹脂原料、界面活性剤、農薬、消毒剤、防腐剤、有機合成原料	皮膚炎、気管支炎、ぜん息様症状
水銀及びその化合物	蛍光灯、体温計、触媒、医薬品、分析試薬	腎障害、中枢神経障害、催奇形性
ニッケル化合物	電気メッキ、電鍍、触媒、着色剤	金属熱、気管支炎、皮膚炎、発ガン性
ヒ素及びその化合物	高純度半導体、防腐剤、農薬、染料、原料、触媒	体重減少、悪心、皮膚の色素沈着、肝障害、発ガン性
ベリリウム及びその化合物	工業用製品原料 (X線窓、航空機部品等)	皮膚炎、結膜炎、気管支炎、ベリリウム肺、発ガン性
マンガン及びその化合物	乾電池、酸化剤、フェライト、マッチ原料、ガラス着色剤、アンチノック剤	精神障害、呼吸器障害
六価クロム化合物	研磨剤、顔料、皮なめし剤、写真製版	発ガン性
ベンゾ〔a〕ピレン	非意図的生成物質	発ガン性、変異原性
酸化エチレン (エチレンオキシド)	有機合成原料、界面活性剤、顔料、燻蒸、消毒、殺菌剤	催奇形性、変異原性、強い全身刺激性あり

用途については、PRTRパイロット事業中間報告—環境汚染物質排出・移動量集計結果—（環境庁環境保険部環境安全課、平成10年5月）から引用

毒性については、環境科学辞典（第1版、1985年（株）東京化学同人）及びPRTRパイロット事業中間報告—環境汚染物質排出・移動量集計結果—（環境庁環境保険部環境安全課、平成10年5月）等から引用

(8) 廃棄物焼却施設排煙調査結果

神奈川県生活環境の保全等に関する条例に排煙に関する規制基準が定められており、平成12年4月1日からばいじんの規制が強化されたことから市内7事業場のばいじん及び塩化水素の調査を実施した。

調査結果については、表-1に示すように、7事業場のうち3事業場が排出基準値を超えたため、改善の指導を行なった。

調査期間 平成14年12月25日から平成15年3月14日まで

調査事業場数 7社

施設の概要

事業所名	所在地	施設の能力
A	厚木市金田	廃棄物焼却炉 能力 3,000 kg/h
B	厚木市金田	廃棄物焼却炉 能力 860 kg/h
C	厚木市緑ヶ丘	廃棄物焼却炉 能力 120 kg/h
D	厚木市及川	廃棄物焼却炉 能力 1,250 kg/h
E	厚木市上古沢	廃棄物焼却炉 能力 170 kg/h
F	厚木市下古沢	廃棄物焼却炉 能力 186 kg/h
G	厚木市下荻野	廃棄物焼却炉 能力 60 kg/h

調査結果

(表-1)

事業所名	ばいじん量	基準	塩化水素濃度	基準	調査年月日
	g/h	g/h	mg/Nm ³	mg/Nm ³	
A	2,500	3,295	40未満	700	H15.1.30
B	2,800	2,177	830		H15.1.10
C	110	475	60未満		H15.1.20
D	720	1,393	82		H15.1.16
E	350	298	82未満		H15.1.9
F	180	177	87未満		H15.1.22
G	61	394	35未満		H15.2.3

3. 水質汚濁

(1) 概況

①水質規制の概況

昭和46年12月に水質汚濁に係る環境基準が制定され、現在まで「人の健康の保護に関する基準」26項目、「生活環境の保全に関する基準」5項目が定められている。

市内を北から南に流下する相模川は「生活環境の保全に関する基準」のA類型に指定されており、相模大堰や寒川取水堰で飲料水として取水され、内水面漁業なども行われているため、工場・事業所排水については厳しい規制を行なっている。

平成14年度には、厚木市が特例市になったことに伴い、これまで神奈川県が取扱っていた水質汚濁防止法に基づく事務権限が市に移譲され、従来の神奈川県生活環境の保全等に関する条例と併せて、市内事業所の監視・指導等を行なっている。

また、規制が緩やかな家庭排水の浄化対策として、市独自に補助金制度を設け、平成元年度から合併処理浄化槽の普及促進に努めるなど、水質浄化事業に取り組んでいる。

水質汚濁防止法の権限移譲に伴い、従前は県が実施していた相模川等4河川の水質調査が市の事務に組み込まれたため、毎月、一日2回の河川常時監視事業を実施している。

河川常時監視の結果、環境基準が設定されている相模川については「人の健康の保護に関する環境基準項目」は、すべて環境基準を満足していた。「生活環境の保全に関する環境基準項目」についても、大腸菌群数を除き基準を満足していた。

相模川以外の、環境基準が定められていない一級河川や準用河川、その他水路などについても市独自に14河川、24箇所調査を実施している。

工場・事業場の排水については、県生活環境の保全等に関する条例に基づき32社の調査を実施し、7社に基準を上回る結果が記録された。

②水質汚濁に係る環境基準

水質汚濁に係る環境基準（昭和46年環境庁告示第59号）のうち、人の健康の保護に関する環境基準は23項目定められていたが、平成11年2月22日付け、環境庁告示第14号により、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素、ふっ素、ほう素の3項目が追加された。その後、ダイオキシン類対策特別措置法が制定され平成12年1月15日からダイオキシン類についても環境基準が適用されることとなった。

●人の健康の保護に関する基準（健康項目）

（表-1）

項 目	基 準 値	項 目	基 準 値
カドミウム	0.01 mg/l以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/l以下
全シアン	検出されないこと	トリクロロエチレン	0.03 mg/l以下
鉛	0.01 mg/l以下	テトラクロロエチレン	0.01 mg/l以下
六価クロム	0.05 mg/l以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/l以下
砒素	0.01 mg/l以下	チウラム	0.006 mg/l以下
総水銀	0.0005 mg/l以下	シマジン	0.003 mg/l以下
アルキル水銀	検出されないこと	チオベンカルブ	0.02 mg/l以下
P C B	検出されないこと	ベンゼン	0.01 mg/l以下
ジクロロメタン	0.02 mg/l以下	セレン	0.01 mg/l以下
四塩化炭素	0.002 mg/l以下	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	あわせて 10 mg/l以下
1,2-ジクロロメタン	0.004 mg/l以下	ふっ素	0.8 mg/l以下
1,1-ジクロロエチレン	0.02 mg/l以下	ほう素	1 mg/l以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/l以下	ダイオキシン類	1 pg-TEQ/g以下
1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/l以下		

生活環境の保全に関する環境基準は、①河川、②湖沼、③海域の3種類について、9項目の基準値が定められており、その水域の利用目的の適応性別に類型が定められている。本市東側を流れる相模川は、表-2に示すように①河川のA類型に指定されている。

●生活環境の保全に関する基準 相模川中流（城山ダムから寒川取水堰まで）

（表-2）

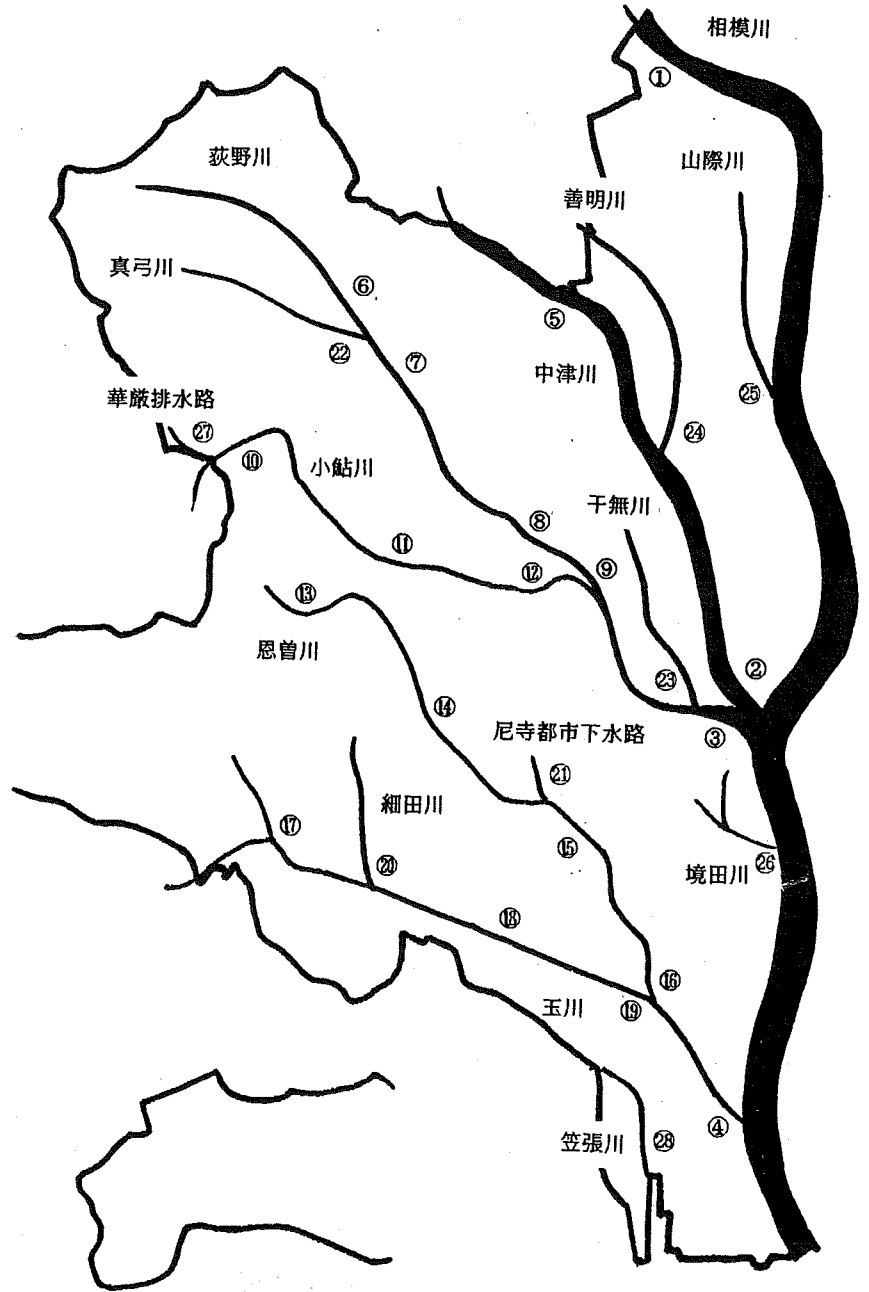
類型	水素イオン 濃度(pH)	生物化学的酸素 要求量(BOD)	浮遊物質 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
A	6.5以上 8.5以下	2mg/l以下	25mg/l以下	7.5mg/l以上	1,000 MPN/100ml以下

※本市にかかわる水域に限定

河川水質調査採水地点図

(図-1)

採水地点		種類
No	採水箇所名	
1	相模川	市内河川水質調査
2	中津川	
3	小鮎川	
4	玉川	
5	中津川上流	
6	荻野川上流	
7	荻野川中流 1	
8	荻野川中流 2	
9	荻野川下流	
10	小鮎川上流	
11	小鮎川中流 1	
12	小鮎川中流 2	
13	恩曾川上流	
14	恩曾川中流 1	
15	恩曾川中流 2	
16	恩曾川下流	
17	玉川上流	
18	玉川中流 1	
19	玉川中流 2	
20	細田川	
21	尼寺排水路	
22	真弓川	
23	干無川	
24	善明川	
25	山際川	
26	境田川	
27	華嚴排水路	
28	笠張川	



(2) 河川常時監視

平成14年度から、厚木市が水質汚濁防止法の権限事務を取扱うこととなったため、水質汚濁防止法第15条に基づき新規事業として、相模川等4河川について毎月調査を実施した。

調査日（採水日） 平成14年4月から平成15年3月までの期間で、各月1回

採水場所

NO	調査箇所名	種類	場所名	流入河川名
1	相模川	一級河川	厚木市上依知字鬼ヶ谷2924番地東（昭和橋）	—
2	中津川	一級河川	厚木市妻田東1丁目5番4号東（第一鮎津橋）	相模川
3	小鮎川	一級河川	厚木市妻田東1丁目3番2号南（第二鮎津橋）	相模川
4	玉川	一級河川	厚木市酒井2088—40番地南（相川水位観測所）	小鮎川

調査結果

○相模川（さがみがわ）〔一級河川〕 ～昭和橋

相模川は源を遠く富士山麗の山中湖に発しており、山梨県南部から神奈川県に入り、津久井湖を経て相模川となる。厚木市内で山際川、中津川、小鮎川、玉川と合流し平塚市を経て相模湾に流入している。本市域を流下する延長距離は約16kmであり、上水道、農業用水、レクリエーション等多方面に利用されている。特に県民の水ガメとして相模湖、津久井湖で取水するほかに市内相模大堰や下流の寒川で飲料水用として取水しているため、水質の保全が必要とされている。

相模川についての調査は、上依知地区の1箇所（昭和橋）を実施したが、人の健康の保護に関する環境基準項目は全ての測定で満足しており、良好な結果であった。

また、生活環境の保全に関する基準との比較では、大腸菌群数について基準よりも高い値を記録することがあるほかは、生物化学的酸素要求量（BOD）、浮遊物質（SS）及び溶存酸素量（DO）は概ね良好な結果であった。

※ 環境基準は日間平均値で定められている。

○中津川（なかつがわ）〔一級河川〕 ～第一鮎津橋

中津川は丹沢山塊の唐沢堰、布川、本谷川、塩水川、青藤沢、矢田沢、川音川、宮ヶ瀬金沢、早戸川等の集水を源としており、宮ヶ瀬湖から清川村、愛川町を経て厚木市に入り、途中で善明川を合流し厚木市の相模大橋の上流地点で相模川に合流する延長32.8kmの河川である。このうち、市内を流れる区間は約7.5kmであり、相模川支流の中では最も水量が豊富で、水質状況も良好なため、漁業や農業用水等に利用されている。

調査は、妻田地区（第一鮎津橋・下流）の2箇所を実施したが、人の健康の保護に関する項目は上下流ともすべて基準を満足していた。

生活環境の保全に関する調査結果は、良好な結果であるが、大腸菌群数は水温が上がる夏に比較的高い値を記録している。

※ 環境基準は相模川に設定されているものであるが、当市の河川は多くが相模川に流入しているため、環境基準を目標値として比較したもの。以下同じ。

○小鮎川（こあゆがわ）〔一級河川〕 ～第二鮎津橋

小鮎川は清川村の三峰山塊の8箇所の沢と、谷太郎川、柿の木平川、法論川の3河川を源として東に流下して厚木市に入り、途中荻野川、干無川と合流して相模川へ流入する延長13.8kmの河川で、その名の示すように昔からたくさんの鮎が棲むきれいな川であった。

大正元年には、当市初の水力発電が飯山5115番地付近尾台橋下流で行われていた。当時は、農業水や生活用水、木材を運ぶ水路などに活用されていたが、現在は主に農業用水に使用されている。公共下水道の処理区域以外の区域を流下しており、有機性の水質汚濁が見受けられる。

調査は、妻田地区（第二鮎津橋・下流）で実施した。

人の健康の保護に関する項目は、すべて環境基準を満足する良好な結果であった。

生活環境の保全に関する項目については、大腸菌群数が夏をはじめとして四季を通じて高く、有機性汚濁の指標として有効なBODも比較的高い状況にある。

○玉川（たまがわ）〔一級河川〕 ～相川水位観測所

玉川は厚木市の二の足沢、山の神沢を源に七沢川となり、七沢の奨学橋付近で大山北部からの日向川、玉川地区で細田川と合流、愛甲を経て相川地区の八木間で恩曾川と合流し、下流の酒井橋下で相模川に流入する約8kmの河川であり、主に農業用水として利用されるほか小野橋付近では、アヒルの放し飼いが行われるなど、観光地に近い憩いの場として親しまれている。

調査は酒井地区（相川水位観測所・下流）の1箇所で実施している。

人の健康の保護に関する調査結果は良好な結果であった。

生活環境の保全に関する調査結果は、大腸菌群数以外ではすべて良好な状況にあるが、BOD濃度が高くなっており、公共下水道未接続の事業所排水などによる影響があるものと考えられる。

項目	河川名	相 模 川											
	測定地点	昭和橋											
	年月日	14.4.16	14.5.8	14.6.4	14.7.2	14.8.6	14.9.3	14.4.16	14.5.8	14.6.4	14.7.2	14.8.6	14.9.3
項目	環境基準 ^{*1}	8:45	20:45	9:00	21:00	9:00	21:00	9:30	21:30	9:00	21:00	9:00	21:00
水温 (°C)	—	20.2	20.5	15.0	17.6	18.5	19.5	20.5	20.0	24.0	24.5	22.9	25.1
透視度 (cm)	—	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
pH	6.5以上8.5以下	7.8	7.8	7.7	7.5	8.0	8.0	7.8	7.7	8.0	7.8	7.7	7.6
BOD (mg/l)	2以下	1.4	1.4	1.8	1.7	2.0	1.7	1.7	2.1	1.1	1.5	1.2	2.4
COD (mg/l)	—	1.7	1.6	2.2	2.0	1.9	1.5	2.4	1.7	1.7	1.7	1.8	2.3
SS (mg/l)	25以下	4	5	5	3	4	2	4	4	4	5	7	9
DO (mg/l)	7.5以上	10.6	9.9	10.1	9.1	10.4	8.8	9.1	8.5	9.4	7.8	9.0	7.6
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	2.3×10 ²	—	3.3×10 ²	—	3.3×10 ²	—	3.3×10 ²	—	4.6×10 ²	—	1.1×10 ³	—
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.5	—	—	—
全りん (mg/l)	—	0.054	—	0.059	—	0.050	—	0.056	—	0.044	—	0.073	—
りん酸性りん (mg/l)	—	0.030	—	—	—	0.023	—	—	—	0.026	—	—	—
全窒素 (mg/l)	—	1.6	—	1.4	—	1.2	—	1.2	—	1.3	—	1.6	—
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.05	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	—	—	—
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—
硝酸性窒素 (mg/l)	—	1.4	—	1.3	—	1.0	—	1.1	—	1.1	—	1.3	—
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
銅 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	0.1	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	1.4	—	1.3	—	1.0	—	1.1	—	1.1	—	1.3	—
塩化物イオン (mg/l)	—	5	—	5	—	4	—	3	—	3	—	3	—
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—

項目	河川名	相 模 川											
	測定地点	昭和橋											
	年月日	14.10.16		14.11.6		14.12.3		15.1.8		15.2.4		15.3.5	
項目	環境基準 ^{*1}	9:00	21:00	9:00	21:00	9:00	21:00	9:00	21:00	9:00	21:00	9:00	21:00
水温 (°C)	—	19.1	17.5	13.5	14.3	11.3	12.0	6.8	7.1	5.9	7.0	5.0	7.0
透視度 (cm)	—	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
pH	6.5以上8.5以下	7.7	7.6	7.7	8.0	7.9	7.7	7.7	7.6	7.4	7.7	7.8	7.6
BOD (mg/l)	2以下	0.8	1.1	0.7	0.9	1.1	1.5	0.9	1.4	1.6	1.5	1.4	1.5
COD (mg/l)	—	1.6	1.3	1.3	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.8	1.4	1.5	1.7
SS (mg/l)	25以下	14	11	3	2	3	3	2	3	3	2	4	9
DO (mg/l)	7.5以上	10.0	9.3	10.9	10.0	11.3	10.1	11.7	11.5	12.2	11.2	12.4	11.3
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	2.2×10 ¹	—	3.3×10 ²	—	3.3×10 ²	—	2.4×10 ²	—	2.4×10 ²	—	4.9×10 ²	—
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.5	—	—	—
全りん (mg/l)	—	0.067	—	0.039	—	0.051	—	0.069	—	0.059	—	0.077	—
りん酸性りん (mg/l)	—	0.054	—	—	—	0.041	—	—	—	0.048	—	—	—
全窒素 (mg/l)	—	1.6	—	1.6	—	1.7	—	2.0	—	1.6	—	1.8	—
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	<0.04	—	—	—	<0.04	—	—	—	<0.04	—	—	—
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—
硝酸性窒素 (mg/l)	—	1.5	—	1.5	—	1.5	—	1.7	—	1.4	—	1.5	—
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
銅 (mg/l)	—	0.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	0.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—	0.1	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	1.5	—	1.5	—	1.5	—	1.7	—	1.4	—	1.5	—
塩化物イオン (mg/l)	—	3	—	4	—	5	—	6	—	5	—	5	—
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—

項目	河川名	中 津 川											
	測定地点	第一鮎津橋											
	年月日	14.4.16	14.5.8		14.6.4		14.7.2		14.8.6		14.9.3		
環境基準 ^{*)}	10:54	21:30	10:30	22:30	10:20	22:20	11:00	22:30	10:20	22:00	10:00	22:00	
水温 (°C)	—	16.0	14.5	15.9	17.5	19.6	19.5	19.0	19.6	24.0	24.5	23.7	24.2
透視度 (cm)	—	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
pH	6.5以上8.5以下	7.8	7.6	7.7	7.5	7.9	7.7	7.8	7.7	7.9	7.6	7.8	7.6
BOD (mg/l)	2以下	1.7	1.0	1.4	1.2	1.4	1.6	1.8	2.1	1.1	1.4	1.1	1.1
COD (mg/l)	—	1.5	1.5	1.9	1.9	1.9	1.8	1.7	2.2	1.3	1.5	1.1	1.4
SS (mg/l)	25以下	3	3	3	3	3	3	4	4	2	2	2	2
DO (mg/l)	7.5以上	10.3	10.0	10.3	9.2	9.5	8.6	9.5	8.7	9.3	7.8	8.8	7.9
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	2.3×10 ²	—	1.1×10 ³	—	1.3×10 ³	—	1.4×10 ³	—	1.7×10 ²	—	4.9×10 ³	—
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.5	—	—	—
全りん (mg/l)	—	0.096	—	0.027	—	0.025	—	0.021	—	0.023	—	0.024	—
りん酸性りん (mg/l)	—	0.067	—	—	—	0.012	—	—	—	0.019	—	—	—
全窒素 (mg/l)	—	1.0	—	1.0	—	0.89	—	1.2	—	1.2	—	1.3	—
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.06	—	—	—	<0.04	—	—	—	0.06	—	—	—
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—
硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.96	—	0.91	—	0.84	—	1.1	—	1.0	—	1.1	—
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
銅 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	0.1	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	0.96	—	0.91	—	0.84	—	1.1	—	1.0	—	1.1	—
塩化物イオン (mg/l)	—	3	—	2	—	2	—	3	—	2	—	3	—
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—

16.9

項目	河川名	中 津 川											
	測定地点	第一鮎津橋											
	年月日	14.10.16	14.11.6	14.12.3	15.1.8	15.2.4	15.3.5	10:20	22:00	10:00	22:00	10:00	22:00
環境基準 ^{※1}	10:20	22:00	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	22:00	10:00	22:00	
水温 (°C)	—	20.2	14.1	14.5	14.0	13.2	13.3	8.5	8.6	8.2	8.5	7.2	8.5
透視度 (cm)	—	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
pH	6.5以上8.5以下	7.7	7.6	7.7	7.6	7.9	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.5
BOD (mg/l)	2以下	0.7	0.7	0.8	0.8	1.1	1.4	1.5	1.8	1.6	2.9	1.7	1.5
COD (mg/l)	—	1.3	1.1	0.9	0.8	1.2	1.2	1.5	1.8	1.3	2.5	1.1	1.4
SS (mg/l)	25以下	2	2	<1	<1	1	2	<1	3	4	4	1	2
DO (mg/l)	7.5以上	9.3	8.8	10.5	9.8	11.3	9.4	11.4	10.6	11.2	10.8	12.0	11.3
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	2.2×10 ⁴	—	3.3×10 ²	—	3.3×10 ²	—	4.9×10 ²	—	4.9×10 ²	—	7.0×10 ²	—
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.5	—	—	—
全りん (mg/l)	—	0.034	—	0.035	—	0.054	—	0.043	—	0.077	—	0.026	—
りん酸性りん (mg/l)	—	0.027	—	—	—	0.036	—	—	—	0.026	—	—	—
全窒素 (mg/l)	—	1.9	—	2.3	—	2.4	—	1.9	—	1.7	—	1.4	—
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.06	—	—	—	0.15	—	—	—	0.12	—	—	—
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—
硝酸性窒素 (mg/l)	—	1.6	—	2.1	—	1.8	—	1.9	—	1.6	—	1.2	—
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
銅 (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.12	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	1.6	—	2.1	—	1.8	—	1.9	—	1.6	—	1.2	—
塩化物イオン (mg/l)	—	3	—	4	—	4	—	4	—	4	—	3	—
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—

16.5

項目	河川名	小 鮎 川											
	測定地点	第二鮎津橋											
	年月日	14. 4. 16		14. 5. 8		14. 6. 4		14. 7. 2		14. 8. 6		14. 9. 3	
環境基準 ^{*1}	11:20	23:20	11:00	23:00	11:05	23:00	11:40	23:10	11:00	23:00	10:30	22:30	
水温 (°C)	—	18.5	15.6	15.7	17.0	23.6	19.2	20.2	19.3	27.0	23.6	25.6	23.6
透視度 (cm)	—	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
pH	6.5以上8.5以下	8.1	7.6	7.9	7.6	8.2	7.7	7.8	7.7	8.3	7.7	8.0	7.7
BOD (mg/l)	2以下	2.5	1.6	4.0	1.7	2.0	1.3	2.5	2.0	1.1	1.0	1.2	1.1
COD (mg/l)	—	3.2	2.3	4.4	2.9	2.8	2.4	2.5	2.4	2.2	1.9	1.9	1.7
SS (mg/l)	25以下	4	3	8	5	4	4	3	4	3	4	2	3
DO (mg/l)	7.5以上	10.0	9.5	10.1	8.9	9.2	8.5	9.1	9.0	9.0	8.0	8.6	8.0
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	1.3×10 ²	—	3.3×10 ²	—	7.9×10 ²	—	7.9×10 ²	—	3.3×10 ²	—	7.0×10 ³	—
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.5	—	—	—
全りん (mg/l)	—	0.34	—	0.38	—	0.19	—	0.16	—	0.14	—	0.16	—
りん酸性りん (mg/l)	—	0.28	—	—	—	0.16	—	—	—	0.12	—	—	—
全窒素 (mg/l)	—	3.5	—	3.2	—	3.1	—	2.4	—	2.2	—	2.3	—
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.26	—	—	—	0.11	—	—	—	0.15	—	—	—
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.09	—	0.10	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.8	—	2.6	—	2.5	—	2.2	—	1.8	—	1.9	—
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
銅 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	2.9	—	2.7	—	2.5	—	2.2	—	1.8	—	1.9	—
塩化物イオン (mg/l)	—	7	—	7	—	7	—	5	—	5	—	7	—
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—

項目	河川名	小 鮎 川													
	測定地点	第二鮎津橋													
	年月日	14.10.16	14.11.6	14.12.3	15.1.8	15.2.4	15.3.5	11:00	23:00	10:30	22:30	10:30	22:30	10:30	22:30
	環境基準 ^{*1}	11:00	23:00	10:30	22:30	10:30	22:30	10:30	22:30	10:30	22:30	10:30	22:30	10:30	22:30
水温 (°C)	—	20.2	17.5	14.0	12.5	12.7	12.6	6.5	6.9	6.8	8.0	8.5	9.0		
透視度 (cm)	—	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	16.0	
pH	6.5以上8.5以下	7.7	7.7	7.9	7.6	8.0	7.7	7.6	7.6	7.7	7.5	7.6	7.7		
BOD (mg/l)	2以下	1.1	1.0	4.3	1.5	2.3	1.9	4.3	2.6	4.2	1.5	3.0	2.6		30.3
COD (mg/l)	—	2.3	1.8	3.5	1.8	3.1	3.2	4.7	3.3	4.0	1.1	2.2	2.6		
SS (mg/l)	25以下	9	4	5	2	4	5	5	4	6	2	6	29		
DO (mg/l)	7.5以上	9.8	8.9	10.9	9.5	11.1	9.8	11.9	11.6	11.4	10.1	11.6	11.1		
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	1.7×10 ⁴	—	7.9×10 ³	—	4.9×10 ²	—	1.3×10 ³	—	7.9×10 ²	—	3.3×10 ³	—		
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.6	—	—	—		
全りん (mg/l)	—	0.14	—	0.27	—	0.33	—	0.40	—	0.37	—	0.16	—		
りん酸性りん (mg/l)	—	0.10	—	—	—	0.23	—	—	—	0.27	—	—	—		
全窒素 (mg/l)	—	2.7	—	4.1	—	3.7	—	4.1	—	3.8	—	2.7	—		
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.24	—	—	—	0.25	—	—	—	0.71	—	—	—		
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	—	0.06	—	0.07	—	0.05	—	<0.05	—	<0.05	—		
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.3	—	3.0	—	2.9	—	2.6	—	2.6	—	2.2	—		
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—		
鉛 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—		
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
ひ素 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—		
総水銀 (mg/l)	0.005以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—		
銅 (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
亜鉛 (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
溶解性鉄 (mg/l)	—	0.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
溶解性マンガン (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
総クロム (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
ふっ素 (mg/l)	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—		
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
フェノール類 (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	2.3	—	3.1	—	3.0	—	2.7	—	2.6	—	2.2	—		
塩化物イオン (mg/l)	—	5	—	6	—	6	—	7	—	6	—	5	—		
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05	—	—	—		

項目	河川名	玉 川											
	測定地点	相川水位観測所											
	年月日	14.4.16	14.5.8	14.6.4	14.7.2	14.8.6	14.9.3						
	環境基準 ^{*1}	12:04	23:55	11:45	23:40	11:50	23:50	12:30	23:50	11:45	23:30	11:10	23:10
水温 (°C)	—	18.5	17.0	19.0	18.7	22.6	21.2	21.5	21.2	27.5	26.2	26.5	25
透視度 (cm)	—	>30	>30	>30	>30	>30	>30	20.0	>30	>30	>30	>30	>30
pH	6.5以上8.5以下	8.0	7.8	7.8	7.7	8.0	7.7	7.8	7.8	8.2	7.7	8.0	7.7
BOD (mg/l)	2以下	1.5	1.7	2.6	2.3	1.9	2.0	2.4	2.9	1.2	1.8	1.6	1.3
COD (mg/l)	—	2.9	3.2	3.2	3.6	3.1	3.4	5.0	3.1	2.6	3.2	3.3	2.5
SS (mg/l)	25以下	2	2	11	14	7	9	28	5	5	7	19	7
DO (mg/l)	7.5以上	10.2	8.7	9.9	8.9	9.2	8.0	8.6	8.3	9.3	7.2	8.6	7.4
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	1.7×10 ³	—	7.0×10 ³	—	7.9×10 ²	—	2.4×10 ⁴	—	1.7×10 ⁴	—	3.1×10 ⁴	—
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.5	—	—	—
全りん (mg/l)	—	0.17	—	0.12	—	0.081	—	0.11	—	0.064	—	0.088	—
りん酸性りん (mg/l)	—	0.14	—	—	—	0.044	—	—	—	0.045	—	—	—
全窒素 (mg/l)	—	4.0	—	2.6	—	1.8	—	2.3	—	1.5	—	2.0	—
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.84	—	—	—	<0.04	—	—	—	0.06	—	—	—
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.14	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.9	—	1.9	—	1.6	—	1.8	—	1.1	—	1.6	—
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
銅 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	3.0	—	1.9	—	1.6	—	1.8	—	1.1	—	1.6	—
塩化物イオン (mg/l)	—	12	—	7	—	8	—	8	—	6	—	7	—
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—

23.2

項目	河川名	玉川												
	測定地点	相川水位観測所												
	年月日	14.10.16	14.11.6	14.12.3	15.1.8	15.2.4	15.3.5	11:50	23:30	11:00	23:00	11:00	23:00	11:00
環境基準*	11:50	23:30	11:00	23:00	11:00	23:00	11:00	23:00	11:00	23:00	11:00	23:00	11:00	23:00
水温 (°C)	—	22.6	17.9	13.0	13.0	12.8	13.3	7.8	7.8	7.5	9.0	9.0	9.0	8.6
透視度 (cm)	—	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	18.0	>30	>30	>30	>30
pH	6.5以上8.5以下	7.8	7.7	7.9	7.7	7.9	7.7	7.7	7.8	7.8	7.7	7.7	7.7	7.7
BOD (mg/l)	2以下	1.8	2.0	1.2	1.7	3.8	3.4	2.7	3.5	3.8	4.9	2.5	2.7	3.4
COD (mg/l)	—	3.3	3.0	2.3	2.6	3.8	4.5	3.6	5.4	3.3	3.7	2.3	2.7	3.4
SS (mg/l)	25以下	12	6	2	3	3	4	47	33	2	4	3	4	3
DO (mg/l)	7.5以上	11.1	8.3	11.4	10.1	10.8	8.6	11.8	10.5	11.2	10.0	11.7	10.7	10.7
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	2.4×10 ⁵	—	1.1×10 ³	—	7.9×10 ²	—	1.3×10 ³	—	1.7×10 ³	—	7.9×10 ²	—	—
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.5	—	—	—	—
全りん (mg/l)	—	0.11	—	0.30	—	0.24	—	0.31	—	0.31	—	0.14	—	—
りん酸性りん (mg/l)	—	0.066	—	—	—	0.21	—	—	—	0.31	—	—	—	—
全窒素 (mg/l)	—	3.2	—	3.8	—	5.9	—	4.9	—	4.5	—	3.7	—	—
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.60	—	—	—	1.7	—	—	—	1.6	—	—	—	—
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.06	—	0.08	—	0.11	—	<0.05	—	0.10	—	0.06	—	—
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.3	—	2.9	—	2.9	—	2.6	—	2.7	—	2.3	—	—
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
銅 (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	0.05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	ND	—	—	—	0.4	—	—	—	0.3	—	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	—	0.04	—	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	2.4	—	3.0	—	3.0	—	2.6	—	2.8	—	2.4	—	—
塩化物イオン (mg/l)	—	7	—	15	—	5	—	4	—	20	—	16	—	—
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05	—	—	—	—

34

(3) 河川水質調査

本市における水系は、大部分の河川が相模川に流入するが、笠張川などごく一部が相模川以外の河川に流入する。

平成14年度は、相模川本流を含め6流域の一級河川と、恩曾川などの3準用河川、都市下水路など6箇所について、年4回の水質調査を実施した。

調査日（採水日）

第1回（春季） 平成14年5月22日 第2回（夏季） 平成14年8月12日

第3回（秋季） 平成14年11月11日 第4回（冬季） 平成15年2月13日

採水場所

NO	調査箇所名	種類	場 所 名	流入河川名
1	中津川上流	一級河川	厚木市三田3198番地北	相模川
2	荻野川上流	一級河川	厚木市上荻野5755番地東	小鮎川
3	荻野川中流 1	一級河川	厚木市中荻野929番地北	小鮎川
4	荻野川中流 2	一級河川	厚木市及川912-1番地東側	小鮎川
5	荻野川下流	一級河川	厚木市妻田西2丁目22番52号西側	小鮎川
6	小鮎川上流	一級河川	厚木市飯山5747-2番地東	相模川
7	小鮎川中流 1	一級河川	厚木市飯山4265番地北	相模川
8	小鮎川中流 2	一級河川	厚木市飯山860-1番地北	相模川
9	恩曾川上流	準用河川	厚木市上古沢1711番地南	玉川
10	恩曾川中流 1	準用河川	厚木市温水1534番地東	玉川
11	恩曾川中流 2	準用河川	厚木市温水570番地西	玉川
12	恩曾川下流	準用河川	厚木市酒井3070番地西	玉川
13	玉川上流	一級河川	厚木市七沢163番地南	相模川
14	玉川中流 1	一級河川	厚木市長谷840番地南	相模川
15	玉川中流 2	一級河川	厚木市酒井3026番地東	相模川
16	細田川	一級河川	厚木市小野2227番地南	玉川
17	尼寺都市下水路	都市下水路	厚木市恩名1522-1番地南	恩曾川
18	真弓川	水路	厚木市上荻野6104番地北	荻野川
19	干無川	都市下水路	厚木市妻田東1丁目2番26号東	小鮎川
20	善明川	準用河川	厚木市関口字西河原地内	中津川
21	山際川	準用河川	厚木市関口字棧敷地内	相模川
22	境田川	都市下水路	厚木市岡田5丁目地内	相模川
23	華巖排水路	水路	厚木市飯山5779-2番地南	小鮎川
24	笠張川	雨水幹線	厚木市下津古久279-1番地東	金目川

○中津川（なかつがわ）【一級河川】

中津川は丹沢山塊の唐沢堰、布川、本谷川、塩水川、青藤沢、矢田沢、川音川、宮ヶ瀬金沢、早戸川等の集水を源としており、清川村、愛川町を経て厚木市に入り、途中で善明川を合流し厚木市の相模大橋の上流地点で相模川に合流する延長32.8kmの河川である。このうち、市内を流れる区間は約7.5kmであり、相模川支流の中では最も水量が豊富で、水質状況も良好なため、漁業や、農業用水等に利用されている。

調査は、三田地区（上流）で実施したが、人の健康の保護に関する項目はすべて基準を満足していた。

生活環境の保全に関する項目も、大腸菌群数が夏にやや高い傾向はあるが、常時監視の結果（下流部）とあわせても、中津川は清澄な川であるといえる。

※ 環境基準は相模川に設定されているものであるが、当市の河川はいずれも相模川に流入しているため、環境基準を目標値として比較したもの。以下同じ。

○荻野川（おぎのがわ）【一級河川】

荻野川は厚木市北部と清川村境の経ヶ岳付近が源となり途中で柄沢川、真弓川が合流し南東へ流下し、林地区で小鮎川に流入する延長約8.9kmの河川である。この河川は昔砂鉄が取れ、古来より鋳物が盛んで、当時の鋳物が妻田薬師や中津八菅神社に残っている。

現在は、農業用水に利用されるが、上流は水量も少なく、魚影も見られない。

調査は、上荻野地区（上流）と下荻野地区（中流1）及川地区（中流2）妻田西地区（下流）の4箇所を実施した。

人の健康の保護に関する調査結果は、下流で調査しており、環境基準を満足する良好な結果であった。

生活環境の保全に関する調査結果は、4箇所ともBODが2mg/リットルを下回るなど全体的に良好な結果であるが、大腸菌群数は年間を通じ、上流、中流1、中流2で高い結果であった。

○小鮎川（こあゆがわ）【一級河川】

小鮎川は清川村の三峰山塊の8か所の沢と、谷太郎川、柿の木平川、法論川の3河川を源として東に流下して厚木市に入り、途中荻野川、干無川と合流して相模川へ流入する延長13.8kmの河川で、その名の示すように昔からたくさんの鮎が棲むきれいな川であった。大正元年には、当市初の水力発電が飯山5115番地付近尾台橋下流で行われていた。当時は、農業水や生活用水、木材を運ぶ水路などに活用されていたが、現在は農業用水に使用されておりいる。この地区は公共下水道の処理区域以外の区域であり、有機性の水質汚濁が見受けられる。

調査は、飯山華巖橋地区（上流）と飯山久保橋地区（中流1）飯山小鮎橋地区（中流2）の3箇所を実施した。

人の健康の保護に関する調査結果は、下流における常時監視業務で調査しており、環境基準を満足する良好な結果であった。

生活環境の保全に関する調査結果は、全ての調査場所で大腸菌群数が高いほか、BODが上流、中流で高く下流が低いという現象が生じている。

○恩曾川（おんぞがわ）〔準用河川・普通河川〕

恩曾川は厚木市内、白山を水源として南東へ流下し、相川地区の八木間で玉川に合流する延長約7kmの準用河川であり、中流部は農業用水として利用され、平成3年度から神奈川県相模川西部用水右岸幹線から相模川の水が、温水字三反町及び温水字上耕地に供給されるようになり水田耕作期間のみ水量が増加し、水質の良化が見られるようになった。

調査は、上古沢地区（上流）と温水高坪堰地区（中流1）温水地藏橋地区（中流2）酒井地区（下流）の4箇所を実施した。

人の健康の保護に関する調査結果は、下流で調査しており、環境基準を満足する良好な結果であった。

生活環境の保全に関する調査結果は、温水高坪堰で汚染が大きく、他はきれいな状況にある。

○玉川（たまがわ）〔一級河川〕

玉川は厚木市の二の足沢、山の神沢を源に七沢川となり、七沢の奨学橋付近で大山北部からの日向川、玉川地区で細田川と合流、愛甲を経て相川地区の八木間で恩曾川と合流し、下流の酒井橋下で相模川に流入する約8kmの河川であり、主に農業用水として利用されるほか小野橋付近では、アヒルの放し飼いが行われるなど、観光地に近い憩いの場として親しまれている。

調査地点は、七沢地区（奨学橋・上流）、長谷地区（川久保橋・中流1）、酒井地区（八木間橋・中流2）の3地点で実施しており、常時監視の下流部と併せて4箇所の調査を実施している。

人の健康の保護に関する調査結果は、調査4箇所とも良好な結果であった。

生活環境の保全に関する調査結果は、大腸菌群数以外ではすべて良好な状況にあるが、BOD濃度が下流の酒井橋で一番高くなっており、公共下水道未接続の事業所排水等による影響があるものと考えられる。

○細田川（ほそだがわ）〔一級河川〕

細田川は、「ニューシティ」森の里の開発以前は、開発中央の谷を流れる普通河川であったが、公共下水道事業として整備され、主に開発区域内の雨水が流入する一級河川になった。厚木市上古沢字丸山を源として南に流下し、小野字榎田で玉川に合流する延長2.1kmの河川である。

生活環境の保全に関する調査結果は、5月のBODが高いことと、大腸菌群数が四季を通じて高い傾向にある。

○尼寺排水路（あまでらはいすいろ）〔都市下水路〕

緑ヶ丘5丁目えひめ飲料東京工場北側から南東に流下し、恩名字沖原の恩曾川に流入する延長約1.6kmの都市下水路で、尼寺工業団地の雨水が流入する。以前は、工場排水が流入していたが現在工場排水は公共下水道に排除されており、一般家庭等雑排水が流れており、BODも10ppmを超えることがあり汚れが目立つ下水路である。

大腸菌群数が四季を通じて高い状況にある。

○真弓川(まゆみがわ) [水路]

厚木市上荻野字真弓を源として南東に流下し、上荻野字横林で荻野川に合流する延長2.3kmの水路である。

生活環境の保全に関する調査結果は、春季にpHが高く、大腸菌群数が四季を通じて高いほかは全て良好な結果であった。

pHの異常値については、透視度が高くBOD濃度も低いことから、水草による光合成によるものと思われる。

○千無川(ひなしがわ) [水路]

厚木市三田字屋際を源として南に流下し、妻田南1丁目で小鮎川に合流する約2.3kmの都市下水路である。

生活環境の保全に関する調査結果は、大腸菌群数以外ではすべて良好な状況にある。

○善明川(ぜんみょうがわ) [準用河川]

善明川は、愛川町中津から厚木市棚沢を経て、厚木市関口で中津川に合流する延長2.4kmの河川であり、毎年4月上旬から9月末まで愛川町字坂本の中津川から農業用水として取水されるため、この時期水量が増加する。

生活環境の保全に関する調査結果のうち、尿尿による汚染と言われる亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の結果が冬季で5.3mg/リットルと全調査場所の中で一番高い結果であり、大腸菌群数も四季を通じて高濃度である。

○山際川(やまぎわがわ) [準用河川、普通河川]

山際川は、愛川町中津原大地東側のすそ野を源とし、厚木市関口字棧敷所で相模川に流入する延長1.97kmの河川で、毎年5月から10月までは相模川小沢頭首工からの農業用水が流入するほか、内陸工業団地の工場排水が流入する。

近年公共下水道の急激な普及に伴い工場排水が流入しなくなり、農業用水が流入しない時期は河川水が流れていない状況にあるため、春季と夏季の調査を実施した。

生活環境の保全に関する調査結果は、夏季のpHが8.9と高く、年間を通じての大腸菌群数も高い結果であった。

pHの異常値については、透視度が高くBOD濃度も低いことから、昨年と同様水草による光合成によるものと思われた。

○境田川(さかいだがわ) [公共下水道雨水路]

公共下水道相模川右岸水系第6排水区の第1号幹線及び第2号幹線を境田川と称している。第1号幹線は岡田3丁目から相模川までの約1kmの水路であり、第2号幹線は岡田4丁目から岡田5丁目までの約1.2kmの水路で、一部事業場排水も流入する。

生活環境の保全に関する基準との比較は、四季を通じてpHが高い。この原因として透視度が50以上あり、BODも2ppm以下であり水路の水深も20cm程度と浅く水草が多量に繁茂していることから光合成によるものと判断される。

○華巖排水路（けごんはいすいろ）〔水路〕

清川村煤ヶ谷を源として南東に流下し、厚木市飯山字砂場で小鮎川に合流する約1kmの砂防水路である。以前畜産排水が放流されていたが、現在は菓子製造業工場の排水が放流されている。

生活環境の保全に関する調査結果は、大腸菌群数以外ではすべて良好な状況にある。

○笠張川（かさはりがわ）〔公共下水道雨水路〕

笠張川は小野地区の玉川、竹の内堰から取水され、農業用水路、都市下水路、公共下水道雨水幹線と名称を変え、平塚市大神地区から花水川に流入する水路で、厚木市上落合地区から下流の公共下水道雨水幹線部分約1.8kmを示す。

生活環境の保全に関する調査結果は、大腸菌群数以外ではすべて良好な状況にある。

(表-3-1)

	河川名	中 津 川				小 鮎 川			
	測定地点	上 流 (松 羅 公 園 北)				上 流 (相 模 華 厳 橋)			
	年月日	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13
項 目	環境基準*1	—	—	—	—	—	—	—	—
水温 (°C)	—	17.5	23.3	12.1	7.2	16.5	23.2	11.3	7.5
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	7.9	7.7	7.7	7.4	7.8	7.7	7.8	7.4
BOD (mg/l)	2以下	1.8	1.0	1.0	1.2	2.6	3.9	5.2	4.2
COD (mg/l)	—	1.5	1.5	0.8	0.9	2.4	5.0	4.4	3.1
SS (mg/l)	25以下	3	1	<1	<1	7	7	4	4
DO (mg/l)	7.5以上	10.2	8.2	10.1	11.8	9.6	7.8	11.5	11.1
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	1.3×10^3	2.4×10^3	2.3×10^2	3.3×10^2	7.0×10^2	3.3×10^4	2.8×10^4	2.8×10^3
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.025	0.012	0.011	0.028	0.20	<0.5	0.28	0.31
りん酸性りん (mg/l)	—	0.007	<0.005	0.007	0.008	0.18	0.50	0.21	0.25
全窒素 (mg/l)	—	0.88	1.2	2.6	1.8	2.5	3.2	3.2	3.1
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	<0.04	<0.04	<0.04	0.10	0.39	0.73	0.88	1.3
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.11	0.29	0.07	<0.05
硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.84	0.96	1.9	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
銅 (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	0.10	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	0.03	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
シマジン (mg/l)	0.03以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
チウラム (mg/l)	0.006以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
セレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	ND	—	ND	—	0.02	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	0.84	0.96	1.9	1.5	1.7	1.9	1.7	1.6

(表-3-2)

項目	河川名	小 鮎 川								
		測定地点	中 流 1				中 流 2			
			(久 保 橋)				(小 鮎 橋)			
年月日	環境基準	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13	
水温 (°C)	—	17.2	24.0	10.8	7.0	16.8	21.0	11.3	7.6	
透視度 (cm)	—	>50	>50	35	>50	>50	>50	35	>50	
pH	6.5以上8.5以下	7.7	7.7	7.7	7.4	7.5	7.2	7.5	7.3	
BOD (mg/l)	2以下	3.2	4.7	8.4	7.2	4.4	0.7	7.6	10	
COD (mg/l)	—	3.3	5.4	6.1	5.1	3.3	1.5	6.5	6.0	
SS (mg/l)	25以下	10	7	8	5	5	<1	9	6	
DO (mg/l)	7.5以上	9.0	7.4	11.1	11.4	9.0	7.7	11.0	11.0	
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	1.1×10 ⁴	1.7×10 ⁴	4.6×10 ³	7.9×10 ³	2.3×10 ³	1.7×10 ⁴	2.2×10 ³	1.1×10 ⁴	
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	0.6	
全りん (mg/l)	—	0.41	0.85	0.53	0.57	0.39	0.15	0.53	0.69	
りん酸性りん (mg/l)	—	0.32	0.74	0.37	0.44	0.34	0.15	0.34	0.51	
全窒素 (mg/l)	—	2.7	3.7	3.6	4.6	3.2	2.3	3.9	4.6	
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.46	0.39	0.66	1.8	0.58	<0.04	0.34	1.6	
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.14	0.36	0.12	0.07	0.14	<0.05	0.10	0.09	
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.1	2.0	1.9	1.9	2.1	2.1	2.3	2.3	
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
銅 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
ふっ素 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND	
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND	
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND	
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND	
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	—	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	2.2	2.4	2.0	2.0	2.2	2.1	2.4	2.4	

(表-3-3)

項目	河川名	荻野川							
	測定地点	上流 (横林橋下)				中流 (権現堂橋)			
	年月日	14.5.22	14.8.12	14.11.11	15.2.13	14.5.22	14.8.12	14.11.11	15.2.13
環境基準	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水温 (°C)	—	20.4	20.5	14.8	11.5	19.9	25.0	15.1	12.3
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	8.3	8.5	7.8	7.0	8.0	7.7	8.1	7.1
BOD (mg/l)	2以下	2.9	1.0	1.5	2.6	1.9	0.8	1.4	1.7
COD (mg/l)	—	2.7	1.9	1.6	2.3	1.7	2.3	1.3	0.9
SS (mg/l)	25以下	2	2	1	<1	3	4	1	<1
DO (mg/l)	7.5以上	10.6	11.2	10.5	11.7	10.4	9.6	10.8	12.1
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	4.9×10 ³	4.9×10 ⁴	1.3×10 ⁴	9.4×10 ²	2.3×10 ³	3.3×10 ⁴	7.9×10 ²	1.3×10 ³
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.12	0.057	0.086	0.14	0.057	0.027	0.058	0.055
りん酸性りん (mg/l)	—	0.095	0.034	0.071	0.12	0.032	0.007	0.054	0.047
全窒素 (mg/l)	—	2.4	3.2	3.4	3.0	3.2	2.6	3.3	3.0
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.12	0.12	0.11	0.22	0.05	<0.04	0.04	0.05
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.06	<0.05	<0.05	0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.0	3.0	2.8	2.3	2.8	2.2	3.1	2.7
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	—	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
銅 (mg/l)	—	—	0.01	—	—	—	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	2.1	3.0	2.8	2.4	2.8	2.2	3.1	2.7

(表-3-4)

項目	河川名	荻野川							
	測定地点	中流 (十二天橋)				下流 (小點川合流前)			
	年月日	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13
環境基準	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水温 (°C)	—	21.4	28.1	15.8	13.2	21.8	29.5	15.9	13
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	7.9	7.6	8.2	7.2	8.2	8.4	8.5	7.3
BOD (mg/l)	2以下	1.7	1.0	1.3	1.3	1.6	0.8	1.3	1.8
COD (mg/l)	—	1.5	1.7	1.4	1.0	1.9	2.5	1.6	1.1
SS (mg/l)	25以下	3	3	1	<1	3	4	1	1
DO (mg/l)	7.5以上	9.7	8.2	11.3	10.4	9.7	9.0	11.0	10.5
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	1.7×10 ³	3.3×10 ⁴	4.9×10 ²	1.1×10 ³	4.9×10 ³	2.4×10 ⁴	3.3×10 ³	7.9×10 ²
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.042	0.033	0.044	0.042	0.068	0.058	0.059	0.057
りん酸性りん (mg/l)	—	0.028	0.018	0.044	0.036	0.053	0.047	0.044	0.050
全窒素 (mg/l)	—	3.5	1.5	3.6	3.4	3.2	1.6	3.8	3.7
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.30	<0.04	0.06	0.06	0.08	<0.04	0.12	0.16
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
硝酸性窒素 (mg/l)	—	3.2	1.4	3.5	3.2	2.9	1.5	3.5	3.3
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	ND	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
銅 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	ND	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	3.2	1.4	3.5	3.2	2.9	1.5	3.5	3.3

(表-3-5)

項目	河川名	恩 曾 川							
	測定地点	上 流				中 流 1 (高 坪 堰)			
	年月日	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13
環境基準	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水温 (°C)	—	17.9	23.9	13	9.8	19.7	25.6	12.8	8.8
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	7.3	7.7	7.7	7.4	7.6	6.9	7.7	7.0
BOD (mg/l)	2以下	1.2	0.6	1.2	1.7	11	4.2	7.4	13
COD (mg/l)	—	1.0	1.5	1.0	0.8	6.6	3.4	7.2	4.6
SS (mg/l)	25以下	<1	<1	1	<1	5	3	8	5
DO (mg/l)	7.5以上	9.4	11.0	10.8	11.0	8.0	7.6	8.1	10.0
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	7.9×10^2	3.3×10^3	3.3×10^3	4.9×10^2	2.3×10^4	1.7×10^4	2.4×10^4	1.4×10^4
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.024	0.018	0.034	0.031	0.44	0.067	0.40	0.30
りん酸性りん (mg/l)	—	0.014	0.009	0.025	0.023	0.32	0.044	0.21	0.21
全窒素 (mg/l)	—	2.1	1.0	2.0	2.0	10	0.41	14	11
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.17	0.08	0.06	0.08	5.8	0.09	9.7	7.0
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.32	<0.05	0.34	0.18
硝酸性窒素 (mg/l)	—	1.7	0.86	1.7	1.8	2.8	0.17	2.8	2.7
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	—	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
銅 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	1.7	0.86	1.7	1.8	3.1	0.17	3.1	2.9

(表-3-6)

	河川名	恩 曾 川							
	測定地点	中 流 (地藏橋親水広場)				下 流 (新八木間橋)			
	年月日	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13
項 目	環境基準	—	—	—	—	—	—	—	—
水温 (°C)	—	17.8	25.0	12.4	8.7	19.5	27.9	16.0	12.7
透視度 (cm)	—	>50	>50	37	>50	>50	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	7.6	7.6	7.6	7.1	7.7	8.0	7.8	7.2
BOD (mg/l)	2以下	3.1	1.2	4.9	15	2.7	1.1	2.2	4.4
COD (mg/l)	—	3.0	3.5	6.8	4.0	3.3	3.1	3.6	3.1
SS (mg/l)	25以下	8	13	21	8	14	9	3	4
DO (mg/l)	7.5以上	9.1	7.8	8.1	9.7	9.1	9.1	8.8	9.8
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	4.9×10^3	7.9×10^3	1.3×10^4	1.4×10^3	3.3×10^4	4.9×10^4	1.1×10^3	1.1×10^3
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.14	0.11	0.35	0.24	0.12	0.075	0.19	0.17
りん酸性りん (mg/l)	—	0.10	0.077	0.20	0.17	0.069	0.069	0.15	0.13
全窒素 (mg/l)	—	3.1	2.1	14	17	2.4	1.9	7.6	9.5
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.72	0.05	6.2	10	0.22	0.08	2.5	5.2
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.10	0.11	0.25	0.15	0.06	<0.05	0.22	0.13
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.2	1.7	3.5	3.4	1.9	1.5	4.1	3.8
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	ND	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
銅 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	0.09	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	ND	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	2.3	1.8	3.8	3.6	2.0	1.5	4.3	3.9

(表-3-7)

項目	河川名	玉川							
	測定地点	上流 (奨学橋)				中流 (川久保橋)			
	年月日	14.5.22	14.8.12	14.11.11	15.2.13	14.5.22	14.8.12	14.11.11	15.2.13
環境基準	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水温 (°C)	—	19.5	22.9	12.6	8.2	21.0	28.1	15.4	11.2
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	7.8	7.9	8.0	7.4	7.8	7.9	8.5	7.4
BOD (mg/l)	2以下	1.6	3.6	1.4	2.3	2.2	0.7	1.2	2.5
COD (mg/l)	—	1.7	1.8	1.2	1.7	2.1	2.5	1.7	1.7
SS (mg/l)	25以下	5	2	1	2	6	4	1	2
DO (mg/l)	7.5以上	9.4	8.7	10.4	11.8	9.3	9.0	10.9	10.9
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	2.8×10^3	4.9×10^4	7.9×10^3	7.9×10^2	4.9×10^3	2.2×10^4	7.9×10^2	7.0×10^2
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.13	0.095	0.084	0.12	0.095	0.069	0.069	0.089
りん酸性りん (mg/l)	—	0.11	0.092	0.068	0.096	0.089	0.054	0.060	0.088
全窒素 (mg/l)	—	3.3	2.7	2.4	2.7	3.0	1.8	2.5	2.8
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.08	0.16	0.09	0.20	0.19	<0.04	0.07	0.23
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.5	2.4	2.2	2.2	2.5	1.7	2.3	2.2
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	—	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
銅 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	0.02	—	—	—	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	2.5	2.4	2.2	2.2	2.5	1.7	2.3	2.2

(表-3-8)

項目	河川名	玉川				細田川			
	測定地点	中流 2 (八木間橋)				玉川合流前			
	年月日	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13
環境基準	環境基準	—	—	—	—	—	—	—	—
水温 (°C)	—	21.0	30.3	15.6	12.8	20.5	22.9	13.8	10.5
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	8.0	8.2	8.6	7.4	7.5	7.6	7.8	7.4
BOD (mg/l)	2以下	1.9	0.8	1.0	1.9	3.0	4.8	1.4	1.6
COD (mg/l)	—	2.5	2.8	1.7	1.7	3.8	3.1	1.7	1.9
SS (mg/l)	25以下	13	4	<1	3	4	4	2	<1
DO (mg/l)	7.5以上	9.5	9.0	11.0	10.7	11.6	8.7	11.1	11.7
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	3.3×10 ³	2.4×10 ⁴	4.9×10 ²	4.9×10 ²	7.9×10 ³	4.6×10 ⁴	2.8×10 ³	1.1×10 ³
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.095	0.046	0.061	0.11	0.076	0.069	0.052	0.027
りん酸性りん (mg/l)	—	0.083	0.035	0.054	0.10	0.009	0.047	0.041	0.008
全窒素 (mg/l)	—	2.5	1.2	2.3	3.1	3.0	2.4	2.1	1.6
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.04	<0.04	<0.04	0.10	0.06	<0.04	0.07	0.20
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.3	1.0	2.2	2.3	2.6	2.0	1.8	1.2
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	ND
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	ND	—	ND
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	ND
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	—	—	—	ND	—	ND
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	ND
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	—	—	—	—	ND	—	ND
銅 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	0.02	—	ND
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	0.02
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	0.10
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	0.17
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	ND
ふっ素 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	ND
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	ND
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	ND
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	ND	—	ND
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	ND	—	ND
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	ND
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	ND	—	ND
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	ND	—	ND
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	ND	—	ND
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	ND	—	ND
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	ND	—	ND
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	ND
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	ND	—	ND
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	ND	—	ND
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
シマジン (mg/l)	0.03以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
チウラム (mg/l)	0.006以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	ND
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	0.02	—	0.03
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	2.3	1.0	2.2	2.3	2.6	2.0	1.8	1.2

(表-3-9)

	河川名	尼 寺 排 水 路				真 弓 川			
	測定地点	恩曾川合流前				荻野川合流前			
	年月日	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13
項 目	環境基準	—	—	—	—	—	—	—	—
水温 (°C)	—	19.8	23.8	15.8	12.2	17.7	20.4	12.5	8.5
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	7.4	7.3	7.5	7.3	8.0	8.2	8.1	7.4
BOD (mg/l)	2以下	2.7	1.9	2.6	2.2	2.0	1.0	1.3	2.2
COD (mg/l)	—	3.0	5.2	2.8	2.4	2.4	2.2	1.3	1.4
SS (mg/l)	25以下	1	4	1	<1	1	1	<1	<1
DO (mg/l)	7.5以上	9.9	4.8	8.7	9.0	9.9	9.0	10.7	11.7
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	3.3×10^4	1.3×10^5	4.9×10^3	2.3×10^4	2.3×10^3	4.9×10^4	4.9×10^3	1.1×10^3
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.033	0.040	0.042	0.033	0.076	0.064	0.060	0.082
りん酸性りん (mg/l)	—	0.009	0.009	0.036	<0.005	0.060	0.059	0.057	0.068
全窒素 (mg/l)	—	4.2	5.8	4.9	5.5	3.4	2.6	2.5	2.2
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	<0.04	0.06	0.15	0.08	0.05	<0.04	<0.04	0.12
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	0.30	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
硝酸性窒素 (mg/l)	—	3.4	4.8	4.4	4.5	2.0	2.2	2.3	2.0
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
銅 (mg/l)	—	—	0.01	—	0.04	—	ND	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	ND	—	0.06	—	ND	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	0.11	—	0.20	—	0.06	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	0.04	—	0.05	—	ND	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
シマジン (mg/l)	0.03以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
チウラム (mg/l)	0.006以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
セレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	3.4	5.1	4.4	4.5	2.0	2.2	2.3	2.0

(表-3-10)

	河川名	干 無 川				善 明 川			
	測定地点	小鮎川合流前				長坂青少年広場南			
	年月日	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13
項 目	環境基準	—	—	—	—	—	—	—	—
水温 (°C)	—	20.3	27.0	14.6	11.5	22.0	26.1	14.2	9.5
透視度 (cm)	—	14	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	7.9	8.3	8.6	7.4	7.8	7.6	7.9	7.4
BOD (mg/l)	2以下	2.0	4.3	1.0	1.9	2.2	0.6	1.9	3.2
COD (mg/l)	—	5.1	2.1	1.6	1.5	3.3	2.6	1.4	1.7
SS (mg/l)	25以下	53	3	<1	<1	14	4	<1	<1
DO (mg/l)	7.5以上	9.8	8.2	11.8	11.9	9.5	7.6	10.3	10.6
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	3.3×10^2	1.1×10^4	3.3×10^3	1.4×10^3	1.3×10^3	3.3×10^4	1.3×10^4	3.5×10^4
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.13	0.035	0.067	0.064	0.086	0.041	0.054	0.12
りん酸性りん (mg/l)	—	0.051	0.021	0.054	0.053	0.053	0.021	0.050	0.093
全窒素 (mg/l)	—	1.9	1.9	4.1	3.5	1.4	1.8	4.7	6.1
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.08	<0.04	<0.04	0.08	0.06	0.09	0.14	0.52
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.07
硝酸性窒素 (mg/l)	—	1.6	1.6	3.6	2.9	1.1	1.6	4.1	4.8
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	ND	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
銅 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	ND	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
シマジン (mg/l)	0.03以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
チラウム (mg/l)	0.006以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
セレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	1.6	1.6	3.6	2.9	1.1	1.6	4.1	2.9

(表-3-11)

項目	河川名	境 田 川				華厳排水路			
	測定地点	相模川合流前				小鮎川合流前			
	年月日	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13
	環境基準	—	—	—	—	—	—	—	—
水温 (°C)	—	20.4	26.8	14.2	11.7	16.6	24.0	13.8	10.0
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	>50	>50	40	>50
pH	6.5以上8.5以下	9.0	8.8	9.0	8.3	8.0	8.0	7.9	7.5
BOD (mg/l)	2以下	3.7	0.9	1.1	2.4	1.4	6.8	8.2	3.7
COD (mg/l)	—	4.1	2.4	3.1	3.6	2.6	8.5	15	7.4
SS (mg/l)	25以下	<1	3	<1	6	9	5	8	6
DO (mg/l)	7.5以上	11.5	8.7	12.1	13.3	9.6	7.9	9.7	10.6
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	1.7×10 ³	3.3×10 ⁴	1.7×10 ³	2.3×10 ²	7.9×10 ³	7.9×10 ⁴	3.5×10 ⁵	2.1×10 ³
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.060	0.061	0.077	0.088	0.30	0.46	0.40	0.19
りん酸性りん (mg/l)	—	0.053	0.041	0.062	0.071	0.30	0.36	0.26	0.17
全窒素 (mg/l)	—	1.6	1.3	2.2	2.5	2.6	3.5	2.8	3.0
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	<0.04	<0.04	0.06	<0.04	0.08	1.4	0.12	0.46
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	0.11	<0.05	<0.05	0.12	<0.05	0.11
硝酸性窒素 (mg/l)	—	1.4	1.1	1.8	2.1	2.1	1.8	1.2	1.9
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	ND	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
銅 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	1.1	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	ND	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	0.12	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	1.4	1.1	1.9	2.1	2.1	1.9	1.2	2.0

(表-3-12)

	河川名	山 際 川				笠 張 川			
	測定地点	相模川合流前				下津古久地内			
	年月日	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13	14. 5. 22	14. 8. 12	14. 11. 11	15. 2. 13
項 目	環境基準	—	—	—	—	—	—	—	—
水温 (°C)	—	22.0	27.5	—	—	18.5	28.1	13.9	9.2
透視度 (cm)	—	>50	>50	—	—	>50	>50	>50	47
pH	6.5以上8.5以下	8.7	8.9	—	—	7.9	7.5	8.1	7.5
BOD (mg/l)	2以下	2.4	1.2	—	—	2.4	1.2	1.6	3.8
COD (mg/l)	—	3.3	3.2	—	—	2.8	3.0	2.5	4.2
SS (mg/l)	25以下	10	9	—	—	16	6	1	3
DO (mg/l)	7.5以上	9.5	8.8	—	—	9.5	7.9	12.9	9.0
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	7.9×10^3	4.9×10^4	—	—	1.7×10^3	5.4×10^4	7.9×10^2	1.3×10^3
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	—	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.088	0.059	—	—	0.11	0.073	0.23	0.38
りん酸性りん (mg/l)	—	0.066	0.036	—	—	0.072	0.069	0.21	0.30
全窒素 (mg/l)	—	1.3	0.94	—	—	1.8	0.98	3.8	5.4
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.07	<0.04	—	—	0.06	0.08	0.08	0.83
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	—	—	<0.05	<0.05	<0.05	0.10
硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.95	0.68	—	—	1.4	0.74	3.2	3.8
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	ND	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
銅 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	0.06	—	—	—	0.06	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	0.1	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	ND	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.04以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	—	ND	—	—	ND	ND	ND	ND
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	ND	—	—	ND	ND	ND	ND
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	ND	—	—	ND	ND	ND	ND
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	ND	ND	ND	ND
セレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	0.95	0.68	—	—	1.4	0.74	3.2	3.9

(表-4)

項 目	定量下限値
水温	—
透視度	—
pH	—
BOD	0.1 mg/L
COD	0.1 mg/L
SS	0.1 mg/L
DO	0.1 mg/L
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1 MPN/100ml
n-ヘキサン抽出物質	0.5 mg/L
全りん	0.001 mg/L
りん酸性りん	0.001 mg/L
全窒素	0.1 mg/L
アンモニア性窒素	0.1 mg/L
亜硝酸性窒素	0.1 mg/L
硝酸性窒素	0.1 mg/L
亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素	—
カドミウム	0.001 mg/L
全シアン	0.01 mg/L
鉛	0.005 mg/L
6価クロム	0.02 mg/L
ひ素	0.005 mg/L
総水銀	0.0005 mg/L
銅	0.01 mg/L
亜鉛	0.01 mg/L
溶解性鉄	0.02 mg/L
溶解性マンガン	0.01 mg/L
総クロム	0.02 mg/L
ふっ素	0.1 mg/L
ニッケル	0.008 mg/L
フェノール類	0.005 mg/L
PCB	0.0005 mg/L
アルキル水銀	0.0005 mg/L
トリクロロエチレン	0.002 mg/L
テトラクロロエチレン	0.0005 mg/L
1,1,1-トリクロロエタン	0.0005 mg/L
四塩化炭素	0.0002 mg/L
1,1-ジクロロエチレン	0.002 mg/L
ジクロロメタン	0.002 mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.004 mg/L
ベンゼン	0.001 mg/L
1,2-ジクロロエタン	0.0004 mg/L
1,1,2-トリクロロエタン	0.0006 mg/L
1,3-ジクロロプロパン	0.0002 mg/L
シマジン	0.0003 mg/L
チウラム	0.0006 mg/L
チオベンカルブ	0.002 mg/L
セレン	0.002 mg/L
ほう素	0.02 mg/L

*…結果表中の“ND”は、定量下限値以下を示す。

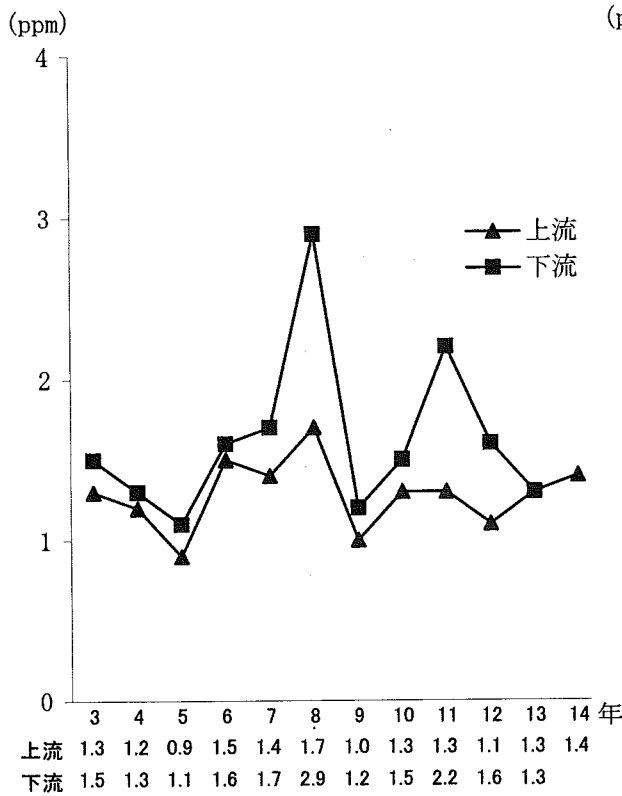
BOD(生物化学的酸素要求量)の経年変化

一級河川名	調査場所	環境基準	BOD生物化学的酸素要求量(年平均値 単位:mg/L)						
			8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
相模川	上依知・水道橋	2mg/L以下	1.7	1.0	1.3	1.3	1.1	1.3	1.4
	戸田地内	2mg/L以下	2.9	1.2	1.5	2.2	1.6	1.3	-
中津川	三田地内・才戸橋	適用なし	1.4	1.0	1.4	1.2	0.8	1.0	1.3
	妻田東・第一鮎津橋	適用なし	1.6	1.0	1.5	1.3	1.1	0.9	1.4
荻野川	上荻野地内	適用なし	3.1	1.0	3.0	1.4	1.1	1.4	2.0
	中荻野・権現堂橋	適用なし	2.1	1.1	1.3	1.6	1.5	1.0	1.5
	及川地内・十二天橋	適用なし	1.6	1.1	1.1	1.3	1.0	1.0	1.3
	妻田西2丁目	適用なし	2.2	1.3	1.2	1.8	1.4	1.2	1.4
小鮎川	飯山地内・旧華厳橋	適用なし	4.9	3.5	3.6	5.6	3.4	4.1	4.0
	飯山地内・久保橋	適用なし	10.0	5.9	6.2	10.6	6.2	6.2	5.9
	飯山地内・小鮎橋	適用なし	5.3	4.7	3.3	4.3	5.6	6.3	5.7
	第二鮎津橋	適用なし	2.5	1.8	1.5	2.4	2.8	3.9	2.2
玉川	七沢地内	適用なし	1.5	1.3	1.5	1.7	1.3	1.4	2.2
	長谷・川久保橋	適用なし	2.4	1.0	1.6	1.4	1.3	1.4	1.7
	酒井・八木間橋	適用なし	2.3	2.0	1.3	1.6	1.2	1.1	1.4
	酒井・酒井橋	適用なし	2.3	2.0	3.4	2.5	2.4	2.3	2.4
細田川	小野地内	適用なし	1.8	1.4	1.8	2.5	2.2	1.3	2.7

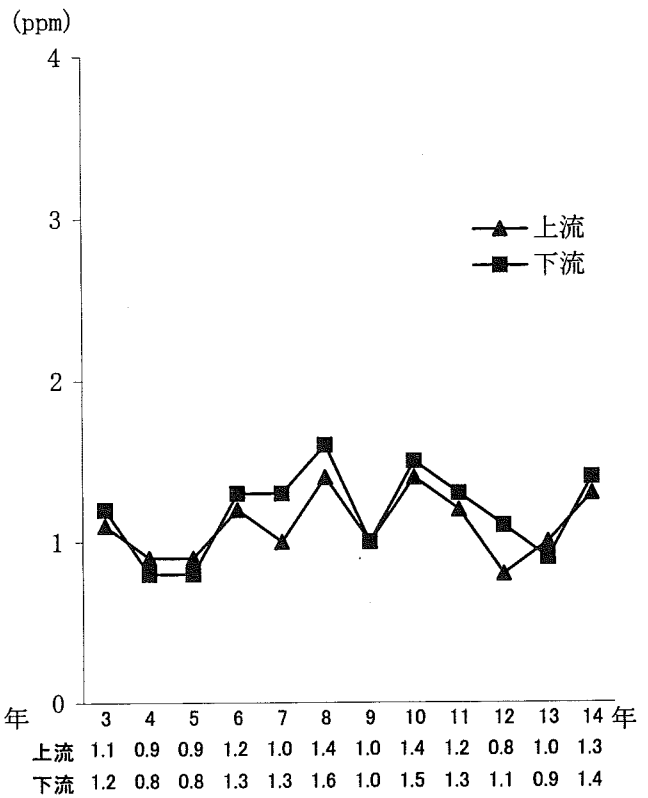
準用河川名	調査場所	環境基準	BOD生物化学的酸素要求量(年平均値 単位:mg/L)						
			8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
恩曾川	上古沢地内	適用なし	0.9	0.9	0.7	1.0	0.9	0.9	1.2
	温水1534	適用なし	8.7	5.9	6.4	8.5	7.3	4.9	8.9
	温水570	適用なし	8.6	4.7	2.2	3.3	3.7	2.5	6.0
	酒井地内	適用なし	3.2	1.8	1.7	2.3	1.7	3.0	2.6
山際川	小平橋下流	適用なし	2.9	1.8	2.2	5.0	1.6	1.9	1.8

○…2.0mg/Lを超えるもの

相模川のBODの経年変化(図-2-1)

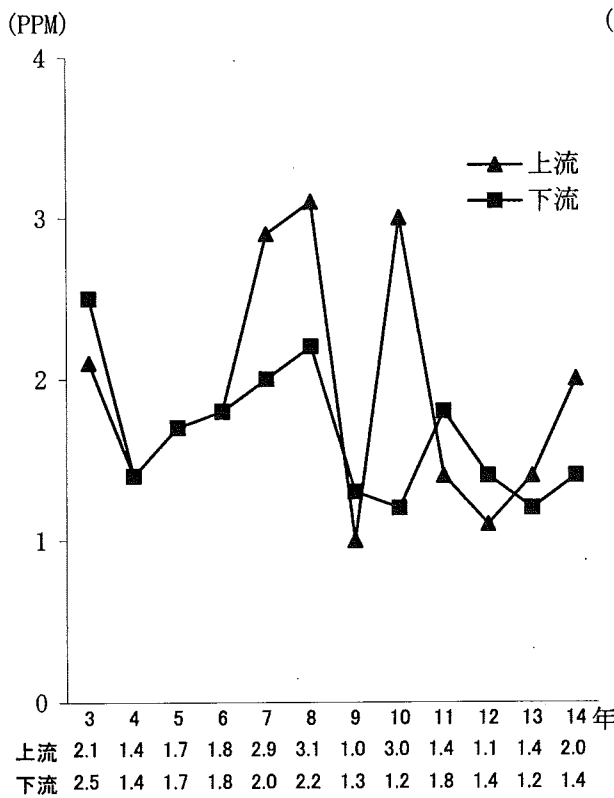


中津川のBODの経年変化(図-2-2)

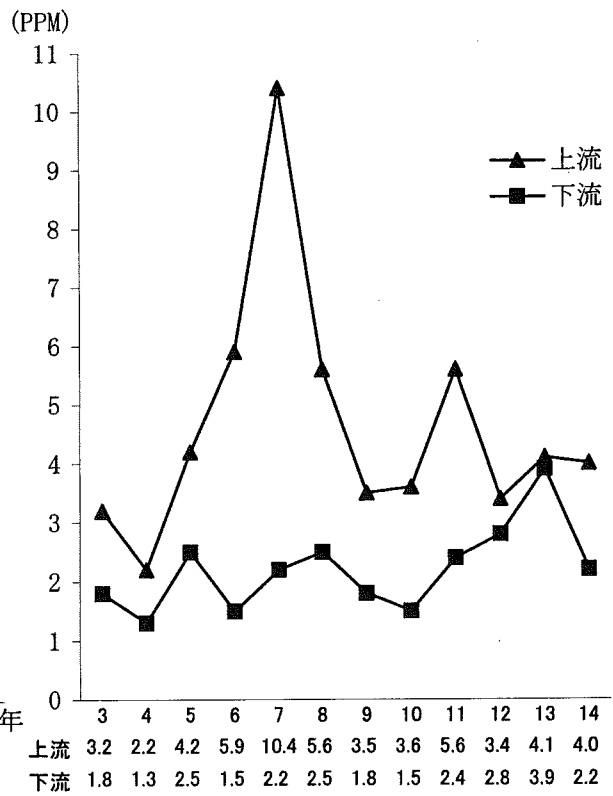


※相模川下流は平成14年度以降調査を実施しておりません。

荻野川のBODの経年変化(図-2-3)

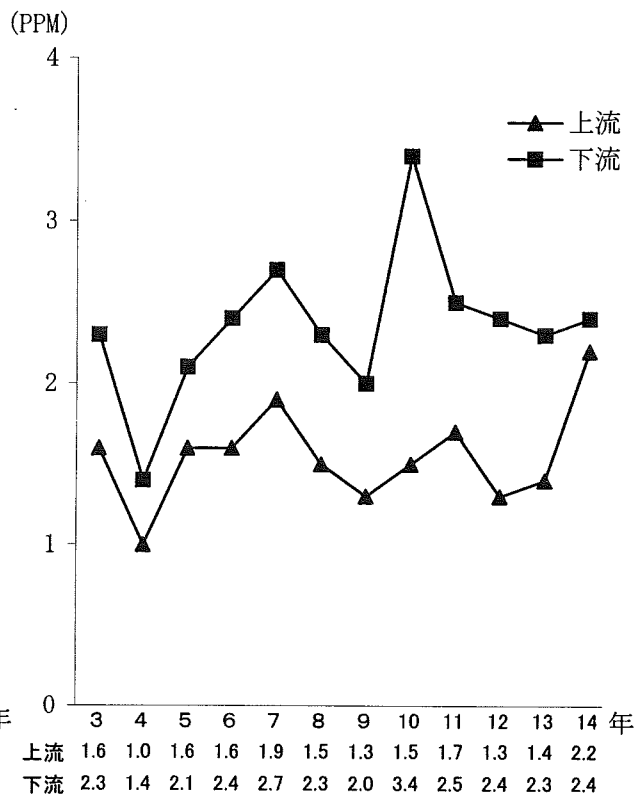
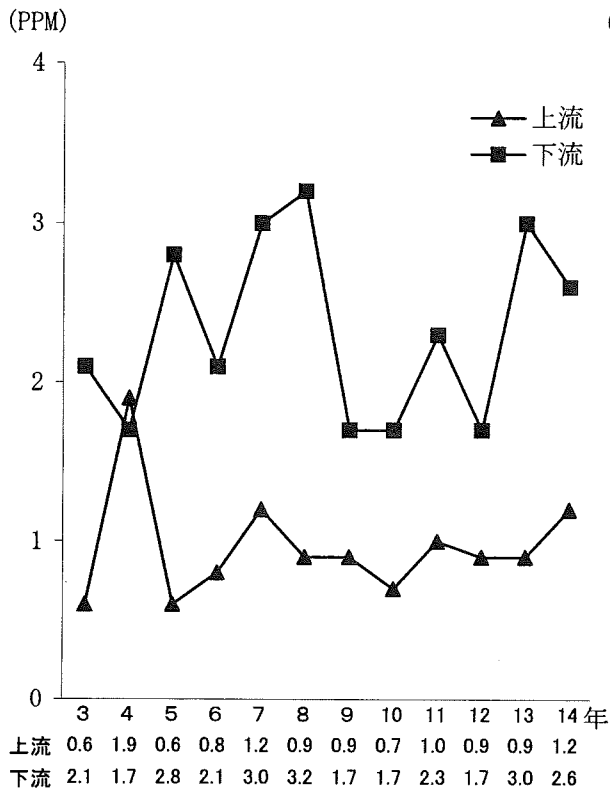


小鮎川のBODの経年変化(図-2-4)



恩曾川のBODの経年変化(図-2-5)

玉川のBODの経年変化(図-2-6)



(4) 恩曾川及び小鮎川の連続水質調査

恩曾川及び小鮎川は、10月から翌年4月までの渇水期に汚れが目立つため、1時間毎の水質調査を実施した。

① 恩曾川連続水質調査

ア 調査年月日

平成14年11月27日(木) 午前4時～午前8時30分

イ 採水地点

上流：恩曾川上流(厚木市上古沢1711番地南側)

中流1：本禅寺付近(厚木市下古沢738番地南側)

中流2：青木牧場付近(厚木市下古沢324番地南側)

中流3：高坪堰(厚木市温水1534番地付近)

下流：高浅橋(厚木市温水1773番地付近)

ウ 採水頻度

1時間ごとに一回採水し、計4回採水した。

エ 分析項目

水温、透視度、外観、臭気、pH、SS、BOD、COD、DO、大腸菌群数
ノルマルヘキササン抽出物質含有量

オ 分析方法

JIS K 0102 工場排水試験法ほか

カ 調査結果

有機性汚濁の指標であるBODについて各調査場所毎に結果を比較すると、最上流の上古沢1711番地南側は、4回調査の平均値が2.2mg/lと良好な結果で、この付近及び上流からの有機性汚濁はみられなかった。

中流1の本禅寺付近では午前5時台に最高濃度を示し、平均値も7.3mg/lという結果であり、上流にある養豚場の有機性汚濁の影響がみられた。

中流2の下古沢738番地付近では、平均値が8.2mg/lと中流1よりも濃度が高く、特に午前4時30分に採取した大腸菌群数が異常に高い結果であった。

午前4時30分から午前5時35分まで、BODが中流1よりも高濃度であることについて、午前4時30分の濃度は上流から流れてきた物質によるものと考えられるが午前5時35分の結果については、近くに汚染源があることが考えられた。

中流3の高坪堰では、午前5時50分に今回調査の最高値36mg/lが記録されたほか、午前8時30分までBODが10mg/l以上の濃度で記録された。

下流の高浅橋では、高坪堰と同様のBOD濃度が記録され、早朝通行人から恩曾川が汚れているという通報についても結果が裏付けられた。

高坪堰及び高浅橋でBODが午前5時50分ころに高いことについては、上流から発生した有機性汚水によるものであり、今後は午前4時以前から調査を実施し汚染原因を調査する必要があると考えられた。

調査場所 上流：恩曾川上流（厚木市上古沢1711番地南側）

採取時間	気温 [°C]	水温 [°C]	透視度	pH	BOD [mg/L]	COD [mg/L]	SS [mg/L]	DO [mg/L]	n-ヘキ サン	大腸菌 群数	臭気
4:00	2.2	10.4	50以上	7.8	2.6	2.2	2	10	0.5未満	13000	藻臭
5:15	2.2	10.8	50以上	7.8	2.4	2.1	2	10	0.5未満	7000	藻臭
6:15	2.0	11	50以上	7.8	1.6	1.8	1	9.9	0.5未満	1700	土臭
7:20	3.3	10.4	50以上	7.8	2.2	2.3	1	10.3	0.5未満	4900	土臭
平均値				7.8	2.2	2.1	1.5	10	0.5未満	6650	

調査場所 中流1：本禅寺付近（厚木市下古沢738番地南側）

採取時間	気温 [°C]	水温 [°C]	透視度	pH	BOD [mg/L]	COD [mg/L]	SS [mg/L]	DO [mg/L]	n-ヘキ サン	大腸菌 群数	臭気
4:15	2.4	10.2	32	7.7	5.0	7.4	10	8.1	0.7	79000	藻臭
5:25	2.6	10.8	23	7.8	8.8	10	13	8.2	0.9	110000	藻臭
6:30	2.2	10.2	27	7.8	8.4	9.5	12	8.3	1.1	24000	土臭
8:05	4.7	10.8	27	7.8	6.8	8.4	10	8.6	1.0	70000	土臭
平均値				7.8	7.3	8.2	11.3	8.3	0.9	70750	

調査場所 中流2：青木牧場付近（厚木市下古沢324番地南側）

採取時間	気温 [°C]	水温 [°C]	透視度	pH	BOD [mg/L]	COD [mg/L]	SS [mg/L]	DO [mg/L]	n-ヘキ サン	大腸菌 群数	臭気
4:30	2.2	10.5	19	7.8	17	14	17	8	1.1	240000	下水様臭
5:35	2.7	9.5	20	7.8	14	11	18	8.7	1.0	24000	下水様臭
6:40	3.0	9.9	23	7.7	10	8.3	14	8.5	0.8	33000	下水様臭
8:20	6.0	10.5	24	7.8	6.3	10	14	8.7	0.9	31000	下水様臭
平均値				7.7	8.2	4.7	15.8	8.5	1.0	82000	

調査場所 中流3：高坪堰（厚木市温水1534番地付近）

採取時間	気温 [°C]	水温 [°C]	透視度	pH	BOD [mg/L]	COD [mg/L]	SS [mg/L]	DO [mg/L]	n-ヘキ サン	大腸菌 群数	臭気
4:45	2.3	10.3	9	7.7	6.8	8.3	9	8.3	0.7	4600	下水様臭
5:50	2.2	10.4	38	7.8	36	28	38	7.5	1.3	49000	下水様臭
6:50	2.8	10.2	22	7.8	23	20	22	7.4	1.0	49000	下水様臭
8:30	6.2	10.8	14	7.7	10	9.9	14	8.2	1.6	33000	下水様臭
平均値				7.8	19	17	20.8	7.9	1.2	33900	

調査場所 下流：高浅橋（厚木市温水1773番地付近）

採取時間	気温 [°C]	水温 [°C]	透視度	pH	BOD [mg/L]	COD [mg/L]	SS [mg/L]	DO [mg/L]	n-ヘキ サン	大腸菌 群数	臭気
5:00	2.0	9.8	11	7.6	4.7	10	98	9.1	0.5	14000	下水様臭
6:00	2.0	10.0	9	7.7	21	20	29	7.8	1.2	17000	下水様臭
7:00	3.3	10.1	9	7.8	25	24	30	7.9	1.2	130000	下水様臭
8:00	7.2	11.2	17	7.7	21	15	23	8.3	4.6	33000	下水様臭
平均値				7.7	18	17	45	8.3	1.9	48500	



恩曾川連続水質調査 地点図

②小鮎川連続水質調査

ア 調査年月日

平成15年2月3日(月) 午前4時～午前9時00分

イ 採水地点

上流：相模華巖橋（厚木市飯山5747-2番地東側）

中流：田野崎橋（厚木市飯山5411番地付近）

下流：久保橋（厚木市飯山4265番地北側）

ウ 採水頻度

1時間ごとに一回採水し、計5回採水した。

エ 分析項目

水温、透視度、外観、臭気、pH、SS、BOD、COD、DO、大腸菌群数
全りん、全窒素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

オ 分析方法

JIS K 0102 工場排水試験法ほか

カ 調査結果

有機性汚濁の指標であるBODについて各調査場所毎に結果を比較すると、最上流の相模華巖橋は、5回の調査結果が8～10mg/lとほぼ一定の数値であった。最高値は午前5時の10mg/lであった。

中流の田野崎橋では午前5時台に最高濃度31mg/lを示し、その後は時間経過とともに濃度は低下した。平均値も15.4mg/lという結果であった。

下流の久保橋では、午前7時台に最高濃度20mg/lを示し、午前8時台には濃度は低下していた。平均値は10.8mg/lという結果であった。

上流の相模華巖橋と中流の田野崎橋との間に大きな汚染源がないことを考えると、午前5時台における田野崎橋の濃度は、上流から流れてきた物質によるものと考えられる。また、上流の相模華巖橋では午前4時以前に高濃度を示す可能性が高い。

相模華巖橋は、厚木市と清川村の境界にある橋で、これより上流は清川村となっている。そのため、引き続き冬季の水質状況を監視するとともに、清川村及び清川村内で水質汚濁防止法の事務権限を有する県中央行政センター環境部と協力して汚染原因を調査する必要があると思われる。

調査場所 上流：相模華巖橋（厚木市飯山5747-2番地南側）

採取時間	気温 [°C]	水温 [°C]	透視度	pH	BOD [mg/L]	COD [mg/L]	SS [mg/L]	DO [mg/L]	全窒素	全りん	硝酸 亜硝酸	大腸菌 群数
4:00	0.0	4.8	50以上	7.6	8.6	4.7	7	11.6	3.7	0.52	1.6	1100
5:00	1.5	4.8	28	7.6	10	6.1	9	11.4	3.9	0.65	1.6	790
6:00	2.0	4.8	50以上	7.6	9.0	5.5	8	11.8	3.4	0.57	1.6	2200
7:00	2.0	4.8	50以上	7.6	8.2	4.8	7	11.6	3.7	0.47	1.6	2200
8:00	2.0	4.8	41	7.6	8.6	5.7	7	11.6	3.0	0.52	1.6	1300
平均値				7.6	8.9	5.4	8	11.6	3.5	0.55	1.6	1518

調査場所 中流：田野崎橋（厚木市飯山5411番地付近）

採取時間	気温 [°C]	水温 [°C]	透視度	pH	BOD [mg/L]	COD [mg/L]	SS [mg/L]	DO [mg/L]	全窒素	全りん	硝酸 亜硝酸	大腸菌 群数
4:15	0.8	4.5	24	7.5	11	7.9	13	11.1	4.3	0.76	1.8	940
5:15	1.1	4.8	13	7.5	31	16	26	10.9	6.6	1.5	1.8	1100
6:15	1.4	4.8	19	7.5	18	9.5	18	11.0	4.7	0.97	1.8	700
7:15	1.5	4.8	50以上	7.5	9.4	6.7	10	11.2	4.1	0.63	1.8	1300
8:15	1.5	4.8	41	7.6	7.6	5.7	8	11.6	3.4	0.56	1.8	4900
平均値				7.52	15	9.2	15	11.2	4.6	0.88	1.8	1788

調査場所 下流：久保橋（厚木市飯山4265番地北側）

採取時間	気温 [°C]	水温 [°C]	透視度	pH	BOD [mg/L]	COD [mg/L]	SS [mg/L]	DO [mg/L]	全窒素	全りん	硝酸 亜硝酸	大腸菌 群数
4:35	0.0	4.8	50以上	7.6	4.3	3.1	4	11.6	2.9	0.32	2.0	4900
5:35	0.8	4.8	50以上	7.6	5.2	4.3	6	11.7	2.8	0.40	1.9	11000
6:35	1.2	4.8	30	7.6	10	8.7	13	11.4	4.3	0.77	2.0	3300
7:35	1.2	4.8	15	7.5	20	11	20	11.6	5.5	1.1	2.0	13000
8:35	1.5	4.9	30	7.6	9.6	7.2	11	11.8	3.7	0.69	1.9	13000
平均値				7.58	9.8	6.9	11	11.6	3.8	0.66	2.0	9040



上流・相模華厳橋

中流・田野崎橋

小鮎川連続水質調査 地点図

下流・久保橋

06

93.7

246.6

280.6

283.9

231.6

235.8

188.2

116.4

99.2

96.5

73.5

69.0

59.3

53.8

105.8

66.9

62.9

70.3

80.5

93.7

96.2

100.4

57.5

54.8

50.4

49.5

58.3

65.9

65.9

70.0

70.0

89.0

100.0

68.2

68.2

58.7

46.0

43.9

石倉

志田原

葛見

田野

飯山

金剛台

山内

山岸

厚木総合

馬込谷

宮の里三丁目

外宮の里二丁目

飯山

飯山

飯山

山岸

山岸

山岸

中荻野

宮の里四丁目

宮の里一丁目

飯山

飯山

飯山

飯山

飯山

飯山

中荻野

宮の里二丁目

飯山

飯山

飯山

飯山

飯山

飯山

飯山

飯山

飯山

飯山

飯山

飯山

飯山

飯山

飯山

飯山

(5) 工場排水調査

本市の工場、事業所から排出される排水は、近くの水路等を経て相模川に流入し、相模大堰や寒川取水堰で上水道水として取水されるため、水質汚濁防止法や神奈川県生活環境の保全等に関する条例により厳しい排水規制が行われている。

平成14年度から本市が水質汚濁防止法上の政令市になったことから、従来の条例に基づく立入調査に加え、水質汚濁防止法に基づく工場等への立入調査を実施し、工場排水の監視測定と指導を行った。

①工場排水調査

調査期間 平成14年10月3日～平成14年12月6日
対象工場 県条例上の指定事業所や水質汚濁防止法の特定施設をもつ事業所のうち排水量の多い事業所及び、環境上の影響が大きいと考えられる事業所
調査工場数 20社 (24箇所採取)
排水基準違反工場数 4社 (違反率20.0%)
違反項目数 5項目 (BOD、SS、大腸菌群数、フェノール類、アンモニア・アンモニア化合物・亜硝酸化合物及び硝酸化合物)
調査結果 排水を採取した20社のうち4社が県条例および水質汚濁防止法に定める基準を満足できなかった。
37項目の物質を分析し、5項目に基準超過が見られた。分析検体数は458検体で、このうち7検体に基準超過が見られた。

②工場排水調査 (2回目)

調査期間 平成15年1月28日～平成15年3月31日
対象工場 県条例上の指定事業所や水質汚濁防止法の特定施設をもつ事業所のうち排水量の多い事業所、もしくは1回目の調査で排水基準違反がみられた事業所
調査工場数 12社 (15箇所採取)
排水基準違反工場数 3社 (違反率25.0%)
違反項目数 4項目 (pH、SS、BOD、大腸菌群数)
調査結果 排水を採取した12社のうち3社が水質汚濁防止法に定める基準を満足できなかった。
37項目の物質を分析し、4項目に基準超過が見られた。分析検体数は284検体で、このうち6検体に基準超過が見られた。

平成14年度 工場・事業場排水調査結果 (既設)

(単位: pHは水素指数、大腸菌群数は個/cm³、その他の項目はmg/l)

調査番号	地区	項目 基準値	pH	SS	BOD	COD	n-ヘキサン	フェノール	ふっ素	シアン	水銀
			5.8~8.6	70	25	25	5	0.05	8	0.5	0.005
1の1	上依知	-	8.1	<2.0	<1.0	<1.0	<1.0	<0.005	<0.1	<0.01	<0.0005
1の2	上依知	-	7.6	<2.0	<1.0	7.9	<1.0	-	-	-	-
4	上依知	-	7.0	8.4	1.6	9.9	<1.0	0.008	<0.1	<0.01	<0.0005
5	上依知	-	7.5	15	20	13	<1.0	0.006	<0.1	<0.01	<0.0005
6	七沢	-	7.5	3.8	<1.0	4.5	<1.0	<0.005	<0.1	<0.01	<0.0005
7の1	七沢	-	7.5	<2.0	<1.0	2.4	<1.0	0.011	<0.1	<0.01	<0.0005
7の2	七沢	-	7.2	2.0	<1.0	3.3	<1.0	-	-	-	-
8	上古沢	-	7.4	3.0	3.3	20	<1.0	<0.005	1.4	<0.01	<0.0005
9	酒井	-	7.5	4.6	16	6.2	<1.0	0.007	5.4	<0.01	<0.0005

調査番号	地区	項目 基準値	カドミウム	鉛	ヒ素	6価クロム	クロム	亜鉛	銅	マンガン	鉄
			0.05	0.1	0.1	0.5	1	1	1	1	1
1の1	上依知	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.02	<0.05
1の2	上依知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	上依知	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	0.05	<0.05	0.03	0.06
5	上依知	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.04	0.06
6	七沢	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.02	<0.05
7の1	七沢	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.02	<0.05
7の2	七沢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	上古沢	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	0.07	<0.05	<0.02	<0.05
9	酒井	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.03	<0.05

調査番号	地区	項目 基準値	ニッケル	ほう素	アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	大腸菌群数	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン
			1	10	100	3000	0.3	0.1	3
1の1	上依知	-	<0.05	<0.1	2.8	0	<0.002	<0.0005	<0.0005
1の2	上依知	-	-	-	-	0	-	-	-
4	上依知	-	<0.05	<0.1	13	0	<0.002	<0.0005	<0.0005
5	上依知	-	<0.05	<0.1	7.1	100	<0.002	<0.0005	<0.0005
6	七沢	-	<0.05	<0.1	2.8	430	<0.002	<0.0005	<0.0005
7の1	七沢	-	<0.05	<0.1	2.9	0	<0.002	<0.0005	<0.0005
7の2	七沢	-	-	-	-	0	-	-	-
8	上古沢	-	<0.05	<0.1	110	75	0.015	<0.0005	<0.0005
9	酒井	-	<0.05	0.2	2.4	5	<0.002	<0.0005	<0.0005

調査番号	地区	項目 基準値	四塩化炭素	1,1-ジクロロエチレン	ジクロロメタン	シス-1,2-ジクロロエチレン	ベンゼン	1,2-ジクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロパン	セレン
			0.02	0.2	0.2	0.4	0.1	0.04	0.06	0.02	0.1
1の1	上依知	-	<0.0002	<0.02	0.05	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
1の2	上依知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	上依知	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
5	上依知	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
6	七沢	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
7の1	七沢	-	<0.0002	<0.02	0.05	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
7の2	七沢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	上古沢	-	<0.0002	<0.02	0.05	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
9	酒井	-	0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01

平成14年度 工場・事業場排水調査結果（新設）

（単位：pHは水素指数、大腸菌群数は個/cm³、その他の項目はmg/l）

調査番号	地区	項目	pH	SS	BOD	COD	n-ヘキサン	フェノール	ふっ素	シアン	水銀
		基準値	5.8~8.6	35	15	15	3	0.005	0.8	検出されないこと	0.005
2	上依知	-	6.9	<2.0	1.4	10	<1.0	<0.005	0.1	<0.01	<0.0005
3	上依知	-	7.8	<2.0	<1.0	2.1	<1.0	-	0.1	<0.01	-
11の1	上萩野	-	7.2	22	7.2	15	<1.0	0.005	<0.1	<0.01	<0.0005
11の2	上萩野	-	7.1	15	14	22	1.2	0.007	<0.1	<0.01	<0.0005
12	下萩野	-	7.3	8.3	6.8	14	<1.0	-	-	-	-
13	下萩野	-	7.3	<2.0	<1.0	4.3	<1.0	-	-	-	-
14	上萩野	-	7.7	3.0	1.3	4.7	<1.0	-	-	-	-
15	下古沢	-	7.3	16	1.6	5.7	<1.0	-	-	-	-
17	七沢	-	7.1	<2.0	<1.0	4.6	<1.0	-	-	-	-

調査番号	地区	項目	銅	鉛	ひ素	6価クロム	クロム	亜鉛	銅	マンガン	鉄
		基準値	検出されないこと	0.05	0.01	0.05	0.1	1	1	0.3	0.3
2	上依知	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	0.10	<0.05	0.05	0.05
3	上依知	-	-	-	-	<0.05	-	<0.05	<0.05	<0.02	<0.05
11の1	上萩野	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	0.07	<0.05	<0.02	0.08
11の2	上萩野	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	0.06	<0.05	<0.02	0.09
12	下萩野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	下萩野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	上萩野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	下古沢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	七沢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

調査番号	地区	項目	ニッケル	ほう素	アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	大腸菌群数	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン
		基準値	0.3	10	100	3000	0.3	0.1	3
2	上依知	-	<0.05	<0.1	16	0	<0.002	<0.0005	<0.0005
3	上依知	-	<0.05	-	1.2	0	-	-	-
11の1	上萩野	-	<0.05	<0.1	7.6	2800	<0.002	<0.0005	<0.0005
11の2	上萩野	-	<0.05	<0.1	12	1000	<0.002	<0.0005	<0.0005
12	下萩野	-	-	-	-	4700	-	-	-
13	下萩野	-	-	-	-	640	-	-	-
14	上萩野	-	-	-	-	460	-	-	-
15	下古沢	-	-	-	-	0	-	-	-
17	七沢	-	-	-	-	0	-	-	-

調査番号	地区	項目	四塩化炭素	1,1-ジクロロエチレン	ジクロロメタン	シス-1,2-ジクロロエチレン	ベンゼン	1,2-ジクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロパン	セレン
		基準値	0.02	0.2	0.2	0.4	0.1	0.04	0.06	0.02	0.1
2	上依知	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
3	上依知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11の1	上萩野	-	<0.0002	<0.02	0.05	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
11の2	上萩野	-	<0.0002	<0.02	0.05	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
12	下萩野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	下萩野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	上萩野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	下古沢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	七沢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

平成14年度 工場・事業場排水調査結果（し尿その他生活に起因する下水のみを排出する事業所・既設）

（単位：pHは水素指数、大腸菌群数は個/cm³、その他の項目はmg/l）

調査 番号	地区	項目	pH	SS	BOD	COD	n-ヘキサン	大腸菌群数
		基準値	5.8~8.6	160	130	130	3	3000
10	下荻野	-	7.4	5.3	4.0	18	1.2	0

* n-ヘキサンにあつては新設の基準

平成14年度 工場・事業場排水調査結果（旅館業・既設100m³未満）

（単位：pHは水素指数、大腸菌群数は個/cm³、その他の項目はmg/l）

調査 番号	地区	項目	pH	SS	BOD	COD	n-ヘキサン	大腸菌群数
		基準値	5.8~8.6	200	130	130	5	3000
16	七沢	-	6.8	18	16	53	2.8	2900
18の1	飯山	-	7.8	<2.0	1.3	1.7	<1.0	0
18の2	飯山	-	7.3	12	5.5	20	<1.0	0
19	飯山	-	7.3	11	2.5	20	1.1	0

平成14年度 工場・事業場排水調査結果（畜産業）

（単位：pHは水素指数、大腸菌群数は個/cm³、その他の項目はmg/l）

調査 番号	地区	項目	pH	SS	BOD	COD	n-ヘキサン	大腸菌群数
		基準値	5.8~8.6	200	160	160	-	3000
20の1	飯山	-	7.9	110	63	95	2.0	5700
20の1	飯山	-	7.9	2200	870	820	29	130000
20の2	飯山	-	8	8.8	46	41	1.1	660

平成14年度 工場・事業場排水調査結果（農薬関係）

（単位：pHは水素指数、大腸菌群数は個/cm³、その他の項目はmg/l）

調査 番号	地区	項目	チウラム	シマジン	チオベンカルブ
		基準値	0.06	0.03	0.2
9	酒井	-	<0.006	<0.003	<0.02
12	下荻野	-	<0.006	<0.003	<0.02

平成14年度 工場・事業場排水調査結果2回目（既設）（単位：pHは水素指数、大腸菌群数は個/cm³、その他の項目はmg/l）

調査番号	地区	項目	pH	SS	BOD	COD	n-ヘキサン	フェノール	ふっ素	シアン	水銀
		基準値	5.8~8.6	70	25	25	5	0.05	8	0.5	0.005
1の1	上依知	-	7.8	<2.0	1.0	3.9	<1.0	<0.005	0.3	<0.01	<0.0005
1の2	上依知	-	7.5	12	3.8	9.9	<1.0	-	-	-	-
2	上依知	-	7.6	2.6	3.1	9.6	<1.0	0.014	0.2	<0.01	<0.0005
3	小野	-	7.1	<2.0	5.0	7.0	1.2	<0.005	<0.1	<0.01	<0.0005
5	上古沢	-	7.7	3.0	4.6	9.3	2.7	<0.005	<0.1	<0.01	<0.0005
6	酒井	-	7.6	2.7	25	8.6	<1.0	0.013	3.8	<0.01	<0.0005

調査番号	地区	項目	銅	鉛	ひ素	6価クロム	クロム	亜鉛	銅	マンガン	鉄
		基準値	0.05	0.1	0.1	0.5	1	1	1	1	1
1の1	上依知	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.02	<0.05
1の2	上依知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	上依知	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	0.05	<0.05	0.02	<0.05
3	小野	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	0.30	<0.05	0.04	<0.05
5	上古沢	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	0.30	<0.05	<0.02	0.08
6	酒井	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.06	0.08

調査番号	地区	項目	ニッケル	ほう素	アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	大腸菌群数	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン
		基準値	1	10	100	3000	0.3	0.1	3
1の1	上依知	-	<0.05	<0.1	7.5	36	<0.002	<0.0005	0.0005
1の2	上依知	-	-	-	-	0	-	-	-
2	上依知	-	<0.05	<0.1	7.5	0	<0.002	<0.0005	<0.0005
3	小野	-	<0.05	<0.1	5.5	140	0.024	<0.0005	0.0079
5	上古沢	-	<0.05	<0.1	1.1	1	<0.002	<0.0005	<0.0005
6	酒井	-	<0.05	0.2	2.9	46	<0.002	<0.0005	<0.0005

調査番号	地区	項目	四塩化炭素	1,1-ジクロロエチレン	ジクロロメタン	シス-1,2-ジクロロエチレン	ベンゼン	1,2-ジクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロパン	セレン
		基準値	0.02	0.2	0.2	0.4	0.1	0.04	0.06	0.02	0.1
1の1	上依知	-	<0.0002	<0.02	0.07	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
1の2	上依知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	上依知	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
3	小野	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
5	上古沢	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
6	酒井	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01

平成14年度 工場・事業場排水調査結果 2回目 (新設)

(単位：pHは水素指数、大腸菌群数は個/cm³、その他の項目はmg/l)

調査 番号	地区	項目	pH	SS	BOD	COD	n-ヘキサン	フェノール	ふっ素	シアン	水銀
		基準値	5.8~8.6	35	15	15	3	0.005	0.8	検出されないこと	0.005
4	上依知	-	7.2	23	9.3	21	<1.0	<0.005	<0.1	検出されず	<0.0005
7	上依知	-	7.9	11	10	14	<1.0	-	-	-	-
8	下荻野	-	7.5	2.0	1.0	7.2	<1.0	-	-	-	-

調査 番号	地区	項目	カドミウム	鉛	ひ素	6価クロム	クロム	亜鉛	銅	マンガン	鉄
		基準値	検出されないこと	0.05	0.01	0.05	0.1	1	1	0.3	0.3
4	上依知	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.02	0.11
7	上依知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	下荻野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

調査 番号	地区	項目	ニッケル	ほう素	アモニア、アモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	大腸菌群数	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1.1.1-トリクロロエタン
		基準値	0.3	10	100	3000	0.3	0.1	3
4	上依知	-	<0.05	<0.1	9.5	2300	<0.002	<0.0005	<0.0005
7	上依知	-	-	-	-	2	<0.002	<0.0005	<0.0005
8	下荻野	-	-	-	-	0	-	-	-

調査 番号	地区	項目	四塩化炭素	1.1-ジクロロエチレン	ジクロロメタン	シス-1.2-ジクロロエチレン	ベンゼン	1.2-ジクロロエタン	1.1.2-トリクロロエタン	1.3-ジクロロプロペン	セレン
		基準値	0.02	0.2	0.2	0.4	0.1	0.04	0.06	0.02	0.1
4	上依知	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
7	上依知	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
8	下荻野	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

平成14年度 工場・事業場排水調査結果 2回目 (畜産業)

(単位：pHは水素指数、大腸菌群数は個/cm³、その他の項目はmg/l)

調査 番号	地区	項目	pH	SS	BOD	COD	n-ヘキサン	アノール、アノール化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	大腸菌群数
		基準値	5.8~8.6	200	160	160	-	1500	
9の1	飯山	-	8.2	270	1000	490	12.0	290	9200
9の2	飯山	-	8.8	7.4	6	7.4	<1.0	16	12
10	三田	-	7.6	35	53	46	3.2	8.2	4500
11の1	中荻野	-	6.4	240	83	260	2.3	110	110
11の2	上荻野	-	6.7	93	130	330	6.5	170	2000
12	上依知	-	7.2	92	44	56	5.7	16	47

平成14年度 工場・事業場排水調査結果 2回目 (農薬関係)

(単位：pHは水素指数、大腸菌群数は個/cm³、その他の項目はmg/l)

調査 番号	地区	項目	チウラム	シマジン	チオベンカルブ
		基準値	0.06	0.03	0.2
4	酒井	-	<0.006	<0.003	<0.02
7	下荻野	-	<0.006	<0.003	<0.02
8	下荻野	-	<0.006	<0.003	<0.02

(6) 地下水水質調査

①内陸工業団地周辺地下水水質調査

平成13年11月に行なった定期調査で、内陸工業団地（厚木市上依知）内の事業所の井戸から、環境基準を超えるトリクロロエチレンが検出された。その後、神奈川県との協力を得て、周辺地域の地下水水質調査を行ってきたが、その都度環境基準を超える物質が検出されている。

今回の調査は、周辺地域調査として厚木市山際地区及び下川入地区で行なった。

調査期間 平成14年4月24日及び平成14年5月9日

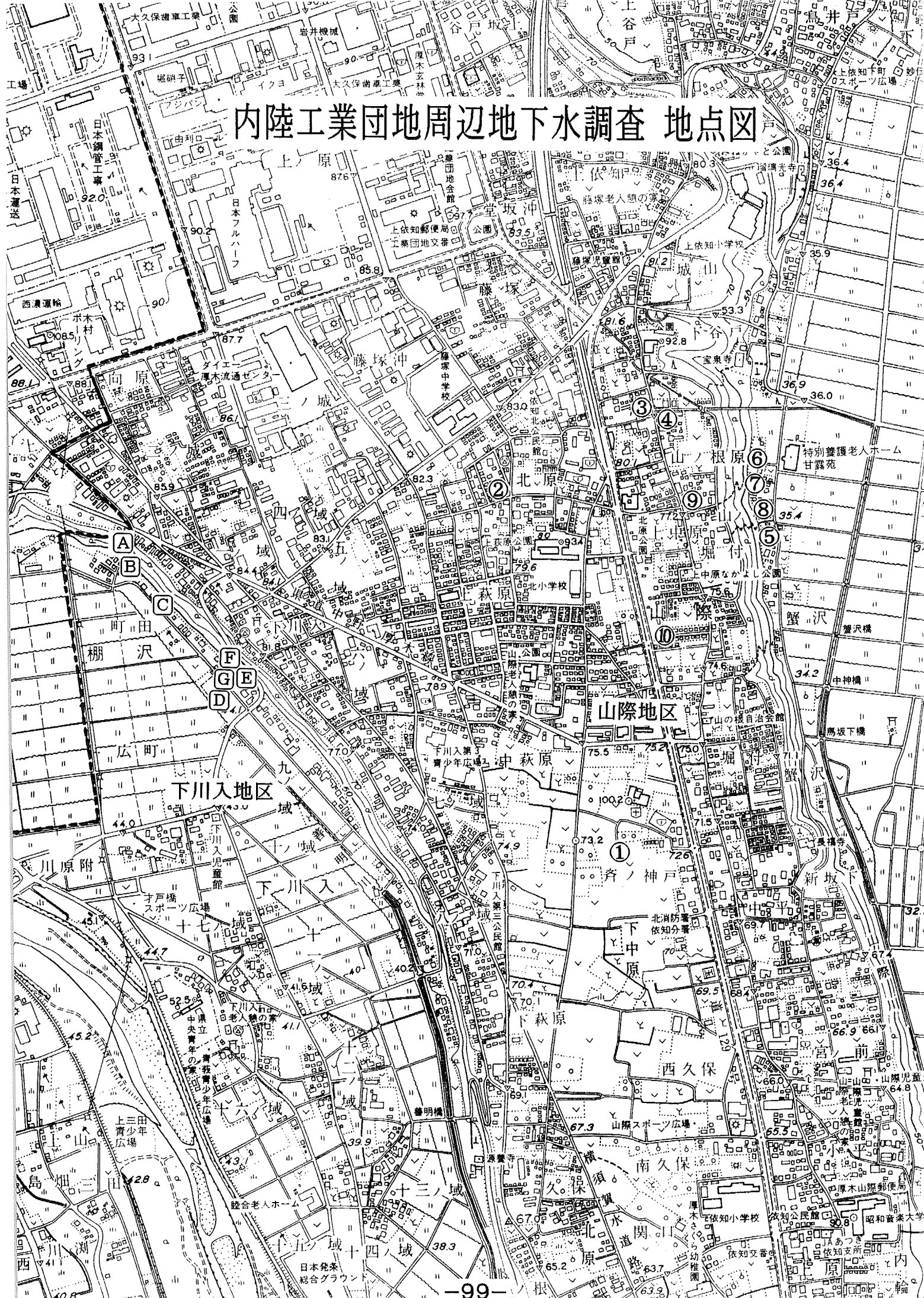
調査項目 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン
ほか一般項目

調査結果 各調査場所の分析結果は表-1のとおりである。山際地区の3箇所の井戸で、環境基準を超える1,1-ジクロロエチレンが検出された。また、下川入地区の2箇所の井戸で、環境基準を超えるテトラクロロエチレンが検出された。

表-1 (単位はmg/L)

分析結果	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1-ジクロロエチレン
環境基準	0.03 以下	0.01 以下	0.02 以下
山際地区	No.1	0.011	0.008
	No.2	0.003	0.002 未満
	No.3	0.003	0.0005 未満
	No.4	0.002 未満	0.0005 未満
	No.5	0.002 未満	0.0005 未満
	No.6	0.002 未満	0.0005 未満
	No.7	0.002 未満	0.0005 未満
	No.8	0.002 未満	0.0005 未満
	No.9	0.002 未満	0.0005 未満
	No.10	0.011	0.0005 未満
下川入地区	A	0.010	0.002 未満
	B	0.006	0.003
	C	0.003	0.002
	D	0.003	0.037 未満
	E	0.015	0.003
	F	0.003	0.002 未満
	G	0.002	0.022 未満

内陸工業団地周辺地下水調査 地点図



②内陸工業団地周辺地下水水質調査（2回目）

①の調査結果を受けて、厚木市上依知地区、関口地区、下川入地区の井戸について調査範囲を広げて調査を行なった。

調査期間 平成14年6月25日及び平成14年6月27日

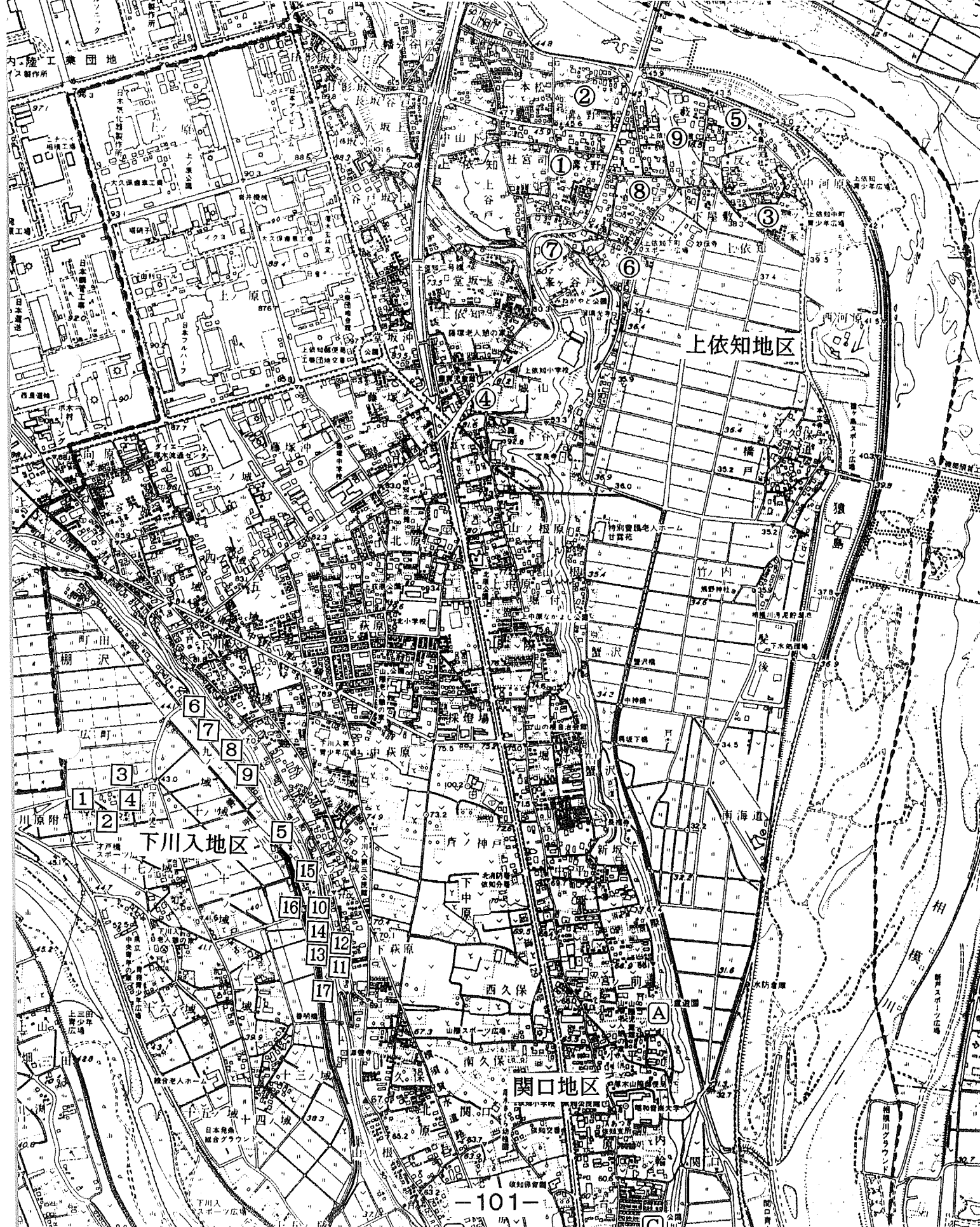
調査項目 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン
ほか一般項目

調査結果 各調査場所の分析結果は表-2のとおりである。全ての井戸で環境基準を満足する結果だった。

表-2 (単位はmg/L)

分析結果	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1-ジクロロエチレン
環境基準	0.03 以下	0.01 以下	0.02 以下
上依知地区	No.1	-	0.002 未満
	No.2	-	0.002 未満
	No.3	-	0.002 未満
	No.4	-	0.002 未満
	No.5	-	0.002 未満
	No.6	-	0.002 未満
	No.7	-	0.002 未満
	No.8	-	0.002 未満
	No.9	-	0.002 未満
関口地区	A	0.002 未満	0.0005 未満
	B	0.002 未満	0.0005 未満
	C	0.002 未満	0.0005 未満
下川入地区	1	0.002 未満	0.0005 未満
	2	0.002 未満	0.0005 未満
	3	0.002 未満	0.0005 未満
	4	0.002 未満	0.0005 未満
	5	0.007	0.0011
	6	0.005	0.0020
	7	0.006	0.0021
	8	0.009	0.0029
	9	0.011	0.0015
	10	0.005	0.0010
	11	0.005	0.0005 未満
	12	0.004	0.0005 未満
	13	0.005	0.0005 未満
	14	0.005	0.0006
	15	0.005	0.0033
	16	0.003	0.0058
	17	0.004	0.0027

内陸工業団地周辺地下水調査(2回目) 地点図



③油流出事故に伴う周辺地下水水質調査

厚木市上依知地区の事業所において灯油が流出する事故があり、地下水への影響を調査するため、上依知地区及び山際地区で地下水水質調査を行なった。

調査期間 平成14年9月27日

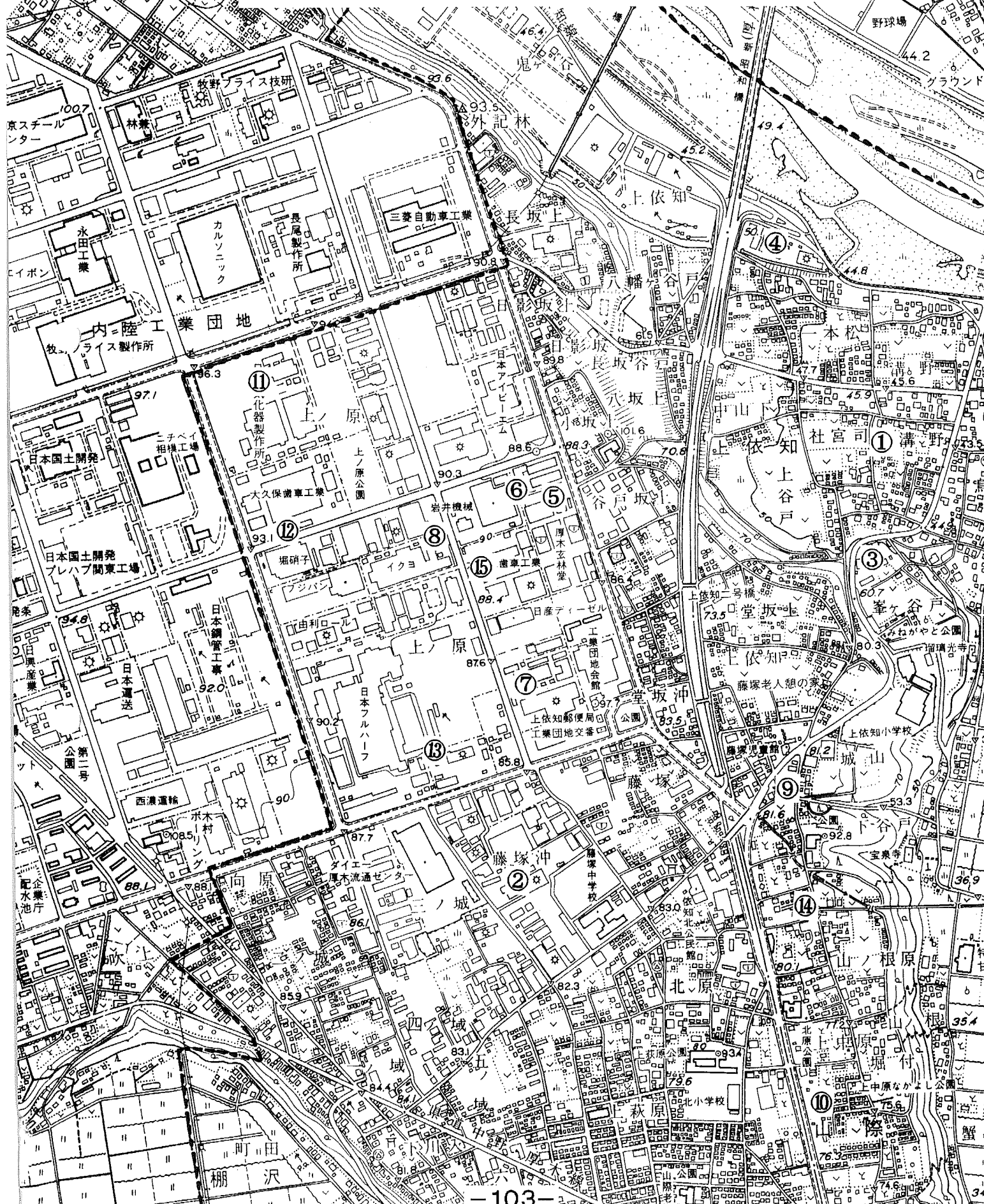
調査項目 ベンゼン

調査結果 各調査場所の分析結果は表-3のとおりである。原因事業所の井戸で環境基準を超過したが、周辺井戸では基準を満足する結果だった。

表-3 (単位はmg/L)

分析結果		ベンゼン	
環境基準		0.01	以下
No.1	上依知	0.001	未満
No.2	上依知	0.001	未満
No.3	上依知	0.001	未満
No.4	上依知	0.001	未満
No.5	上依知	0.001	未満
No.6	上依知	0.001	未満
No.7	上依知	0.001	未満
No.8	上依知	0.001	未満
No.9	上依知	0.001	未満
No.10	山際	0.001	未満
No.11	上依知	0.001	未満
No.12	上依知	0.001	未満
No.13	上依知	0.001	未満
No.14	山際	0.001	未満
No.15	上依知	0.11	

油流出事故に伴う地下水調査 地点図



④旭町地区地下水水質調査

平成13年に厚木市旭町でみつかった地下水汚染について、夏季に神奈川県が、冬季に厚木市がモニタリング調査を行なった。

調査期間 平成15年2月20日

調査項目 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、cis-1,2-ジクロロエチレン

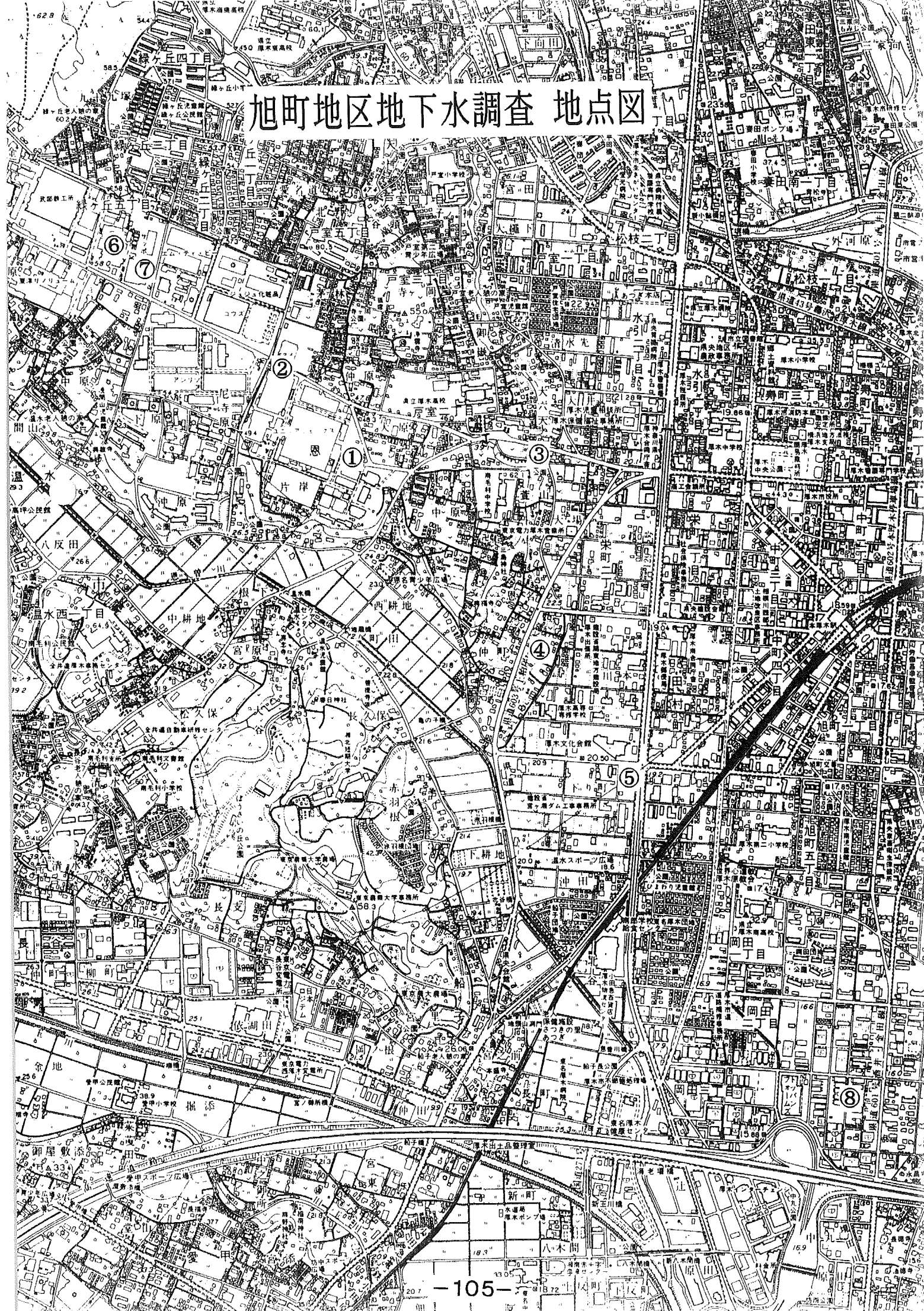
調査結果 各調査場所の分析結果は表-4のとおりである。4箇所の井戸でトリクロロエチレン、5箇所の井戸でテトラクロロエチレン、1箇所の井戸でcis-1,2-ジクロロエチレンが環境基準を超過した。

表-4 (単位はmg/L)

分析結果		トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン
環境基準		0.03 以下	0.01 以下
No.1	恩名	0.024	0.0042
No.2	恩名	0.023	0.019
No.3	恩名	0.020	0.029
No.4	恩名	0.10	0.015
No.5	恩名	0.049	0.0075
No.6	緑ヶ丘	0.011	0.019
No.7	緑ヶ丘	0.032	0.022
No.8	岡田	0.050	0.0034

分析結果		1,1,1-トリクロロエタン	cis-1,2-ジクロロエチレン
環境基準		1 以下	0.04 以下
No.1	恩名	0.0015	0.017
No.2	恩名	0.002	0.015
No.3	恩名	0.0009	0.004 未満
No.4	恩名	0.024	0.025
No.5	恩名	0.0052	0.017
No.6	緑ヶ丘	0.0005 未満	0.037
No.7	緑ヶ丘	0.0005 未満	0.047
No.8	岡田	0.0037	0.023

旭町地区地下水調査 地点図



(7) ダイオキシン類環境調査

ダイオキシン類対策特別措置法が平成11年7月に制定され、大気、水質及び土壌に係る環境基準が定められ、平成12年1月15日から基準が適用されている。また、平成14年7月22日からは、底質に係る環境基準が適用となっている。

ダイオキシン類については、県市が協力して河川水及び地下水の調査を実施している。平成14年度は、河川水については市が10箇所、地下水については県が2箇所調査し、いずれも環境基準を下回る結果であった。

なお、善明川については、測定値が0.97pg - TEQ/Lと、国が定めた環境水中の環境基準値 (1pg - TEQ/L) に迫る値であったため、周辺調査を実施した。

善明川周辺調査は平成14年12月16日及び平成15年2月9日に13箇所15検体の調査を実施したが、このうち2箇所 (延べ3検体) が環境基準値を超過する結果 (最高2.3倍) であった。周辺調査については平成15年度にも実施する予定である。

平成14年度河川調査結果 (市調査分)

単位 : pg-TEQ/L

調査年月日	河川名	調査場所	水質
H14. 8. 29	荻野川	十二天橋	0.79
H14. 8. 29	小鮎川	相模華厳橋	0.42
H14. 8. 29	小鮎川	小鮎橋	0.83
H14. 8. 29	恩曾川	地藏橋親水広場	0.50
H14. 8. 29	玉川	八木間橋	0.42
H14. 8. 29	真弓川	荻野川合流前	0.42
H14. 8. 29	干無川	小鮎川合流前	0.69
H14. 8. 29	善明川	長坂青少年広場東側	0.97
H14. 8. 29	境田川	相模川合流前	0.28
H14. 8. 29	笠張川	厚木市下津古久地内	0.79

ダイオキシン類環境調査 地点図

真弓川・荻野川合流前

善明川・長坂青少年広場南側

小鮎川・相模華厳橋

荻野川・十二天橋

小鮎川・小鮎橋

干無川・小鮎川合流前

恩曾川・地藏橋親水広場

玉川・八木間橋

境田川・相模川合流前

笠張川・下津古久地内

善明川周辺調査結果（市調査分）

単位：pg-TEQ/L（水質）、pg-TEQ/g（底質）

調査年月日	河川名	調査場所	水質	底質
H14.12.16	善明川	蟹沢橋	0.47	6.0
H14.12.16	善明川	中の橋	—	5.7
H14.12.16	善明川	長坂青少年広場東側	2.3	3.7
H15.2.9	善明川	長坂青少年広場東側	2.1	—
H15.2.9	善明川	市道C-83号線道路側溝 (善明川への流入水路)	0.34	—
H15.2.9	善明川	長坂緑地西側	0.31	—
H15.2.9	善明川	都市下水路（流入水路）	0.55	—
H15.2.9	善明川	農業用排水路（流入水路）	0.34	—
H15.2.9	善明川	都市下水路（流入水路）	0.64	—
H15.2.9	善明川	善明橋下流部	0.32	—
H15.2.9	善明川	農業用排水路（流入水路）	0.43	—
H15.2.9	善明川	市道2-44号線道路側溝 (流入水路)	1.5	—
H15.2.9	善明川	農業用排水路（流入水路）	0.54	—

※環境基準値は、水質：1pg-TEQ/L、底質：150pg-TEQ/gと定められている。

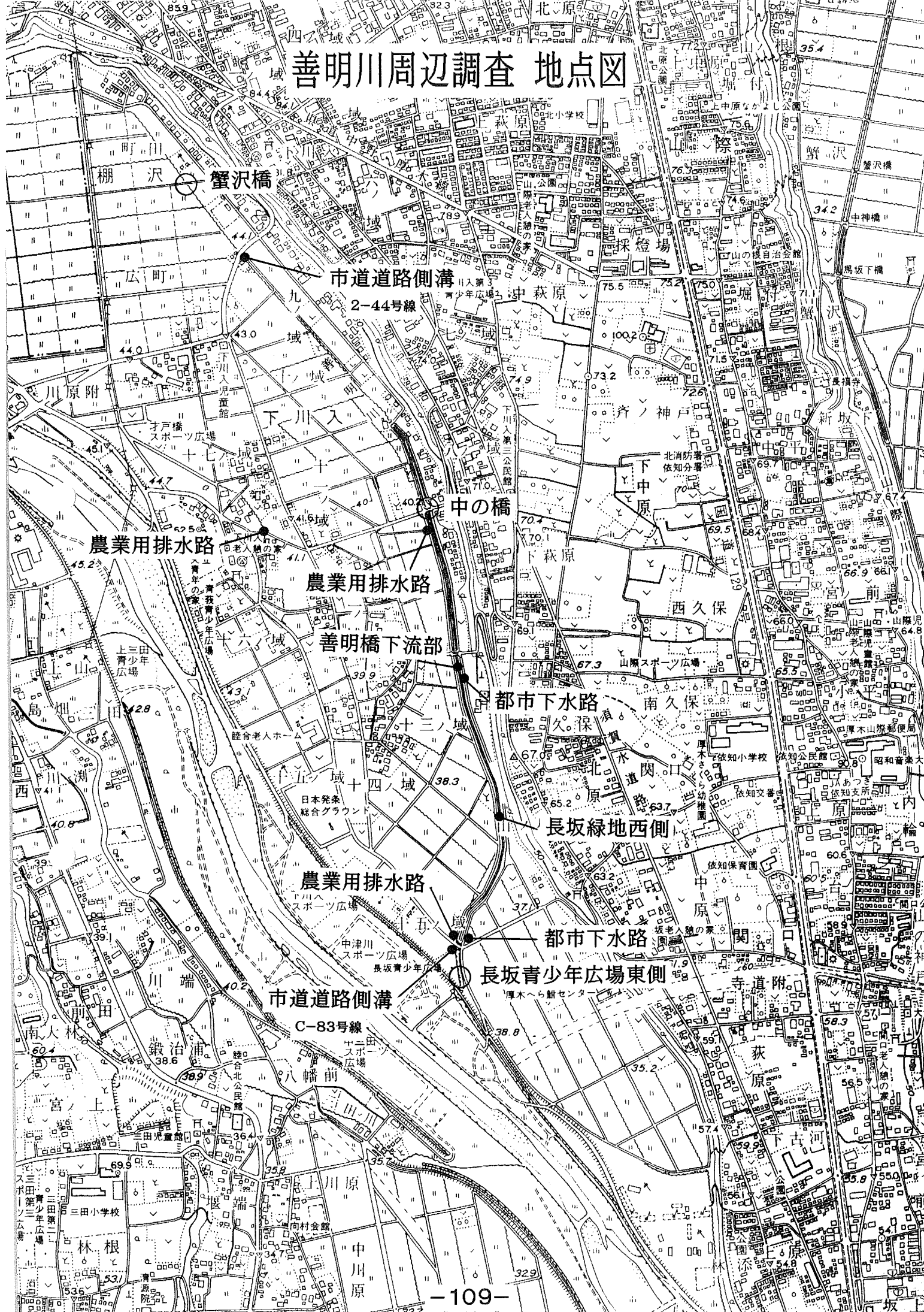
平成14年度地下水調査結果（県調査分）

単位：pg-TEQ/L（水質）

調査年月日	調査箇所名（井戸所在地）	水質
H14.10.30	厚木市上依知	0.039
H14.10.30	厚木市小野	0.041

※環境基準値は、地下水水質：1pg-TEQ/Lと定められている。

善明川周辺調査 地点図



蟹沢橋

市道道路側溝

2-44号線

中の橋

農業用排水路

農業用排水路

善明橋下流部

都市下水路

長坂緑地西側

農業用排水路

都市下水路

長坂青少年広場東側

市道道路側溝

C-83号線

(参考)

平成13年度河川調査結果 (県調査分) 単位: pg-TEQ/L (水質)、pg-TEQ/g (底質)

調査年月日	河川名	調査場所	水質	底質
H13. 11. 7	中津川	妻田東1-5-4東、第一鮎津橋	0.12	0.57
H13. 11. 7	小鮎川	妻田東1-3-2東、第二鮎津橋	0.12	0.29
H13. 11. 8	玉川	酒井2088-40南 酒井橋	0.098	0.32

平成13年度河川調査結果 (市調査分) 単位: pg-TEQ/L (水質)

調査年月日	河川名	調査場所	水質
H13. 7. 31	細田川	小野2227南	0.19
H13. 7. 31	荻野川	妻田西2-22-52西	0.15
H13. 7. 31	山際川	関口地内	0.4
H13. 7. 31	尼寺排水路	恩名1522-1南	0.25

平成13年度地下水調査結果 (県調査分) 単位: pg-TEQ/L (水質)

調査年月日	調査箇所名 (井戸所在地)	水質
H13. 10. 23	中荻野	0.048

平成12年度河川調査結果 (県調査分) 単位: pg-TEQ/L (水質)、pg-TEQ/g (底質)

調査年月日	河川名	調査場所	水質	底質
H12. 7. 28	小鮎川	及川816南、平成橋	0.15	0.99
H12. 7. 28	金田都市下水路	金田字新河原	0.42	5.1
H12. 7. 28	中津川	中依知字上古河	0.53	1.7

平成12年度河川調査結果 (市調査分) 単位: pg-TEQ/L (水質)

調査年月日	河川名	調査場所	水質
H12. 12. 6	中津川	妻田東1-5-4東、第一鮎津橋	0.12
H12. 12. 6	玉川	酒井2088-40南、酒井橋	0.13
H12. 12. 6	小鮎川	妻田東1-3-2東、第二鮎津橋	0.17
H12. 12. 6	恩曾川	酒井3070-40西、新八木間橋	0.17

平成12年度地下水調査結果 (県調査分) 単位: pg-TEQ/L (水質)

調査年月日	場所	水質
H12. 10. 19	飯山4235	0.15
H12. 10. 19	飯山1957	0.43